

2023 年度 神戸市子ども・子育て支援事業計画
及び神戸市次世代育成支援対策推進行動計画
「神戸っ子すこやかプラン 2024」の検証について

神戸市

もくじ

ページ

1 検証の概要	
(1) 神戸っ子すこやかプラン 2024 の概要	9
(2) 検証の方法	9
2 計画の検証	
(1) 教育・保育施設の利用状況 (2024 年度)	10
(2) 保育所・認定こども園・小規模保育等定員数・待機児童数の推移	11
(3) 市民 (保護者) 調査結果	12
(4) 施設利用者調査結果	21
(5) 「子育てしやすく働きやすい職場環境づくり」の状況	60
3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について	67
4 2023 年度 主な事業進捗状況	69

1 検証の概要

(1) 神戸っ子すこやかプラン 2024 の概要

2003 年 7 月に制定された次世代育成支援対策推進法及び 2012 年 8 月に制定された子ども・子育て支援法に基づき、2020 年 3 月に子ども・子育てに関する総合計画として「神戸っ子すこやかプラン 2024」を策定し、子育て支援を総合的に進めている。

(2) 検証の方法

本計画は、国の次世代育成支援対策推進法に基づく「行動計画策定指針」及び「教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の整備並びに子ども・子育て支援給付及び地域子ども・子育て支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針」に示されているとおり、各個別事業の進捗状況に加え、個別事業を束ねた施策や計画全体の成果について利用者側の視点に立った点検・評価を行うため、市民（保護者）調査、施設利用者調査を実施し、PDCA サイクルに基づいて、毎年度「神戸市子ども・子育て会議」において検証する。

〈検証資料〉

①教育・保育施設の利用状況

「住民基本台帳に基づく人口(町丁目別・年齢別)」(2024 年 4 月 1 日現在)の 0～5 歳の人口に占める、保育所、認定こども園、幼稚園、小規模保育、事業所内保育、家庭的保育を利用する児童数の割合を調査することで各種施設等の利用状況を把握するとともに、待機児童と上記施設等の定員の状況を確認する。

②「神戸っ子すこやかプラン 2024」検証アンケート

・市民（保護者）調査

3 歳児健診を受診する児童の保護者を対象に、個別事業・施策の「認知度、利用度、満足度」を調査

・施設利用者調査

施設利用者を対象に、各施設・施策の「満足度」を調査

〔実施施設〕

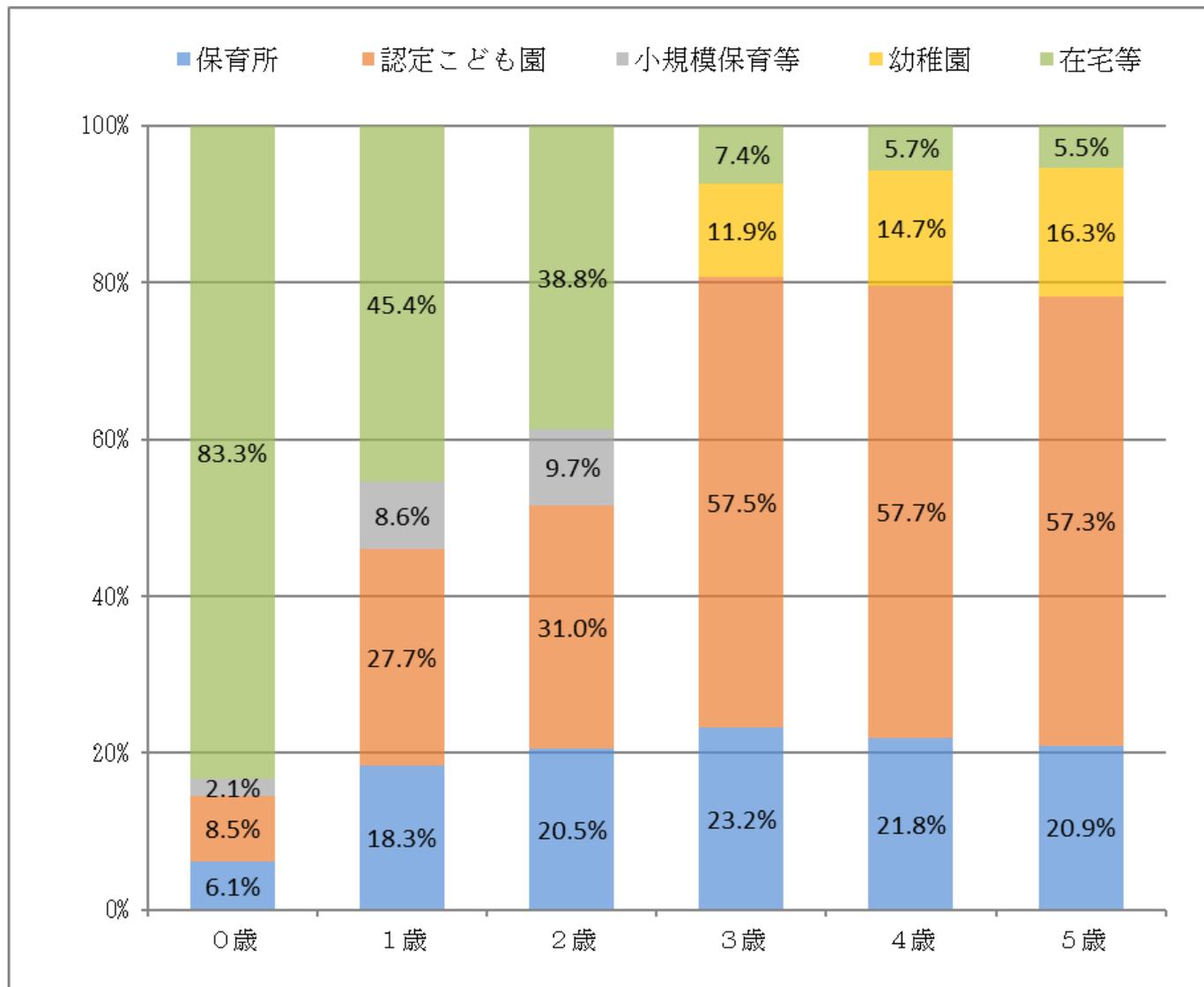
保育所、認定こども園、幼稚園、児童館、大学と連携した子育てひろば、学童保育、一時保育、子育てリフレッシュステイ、病児保育、ファミリー・サポート・センター、小規模保育、事業所内保育、家庭的保育、おやこふらっとひろば

③「子育てしやすく働きやすい職場環境づくり」の状況

関係機関が行う取組をまとめ、市内企業の利用状況等を確認する。

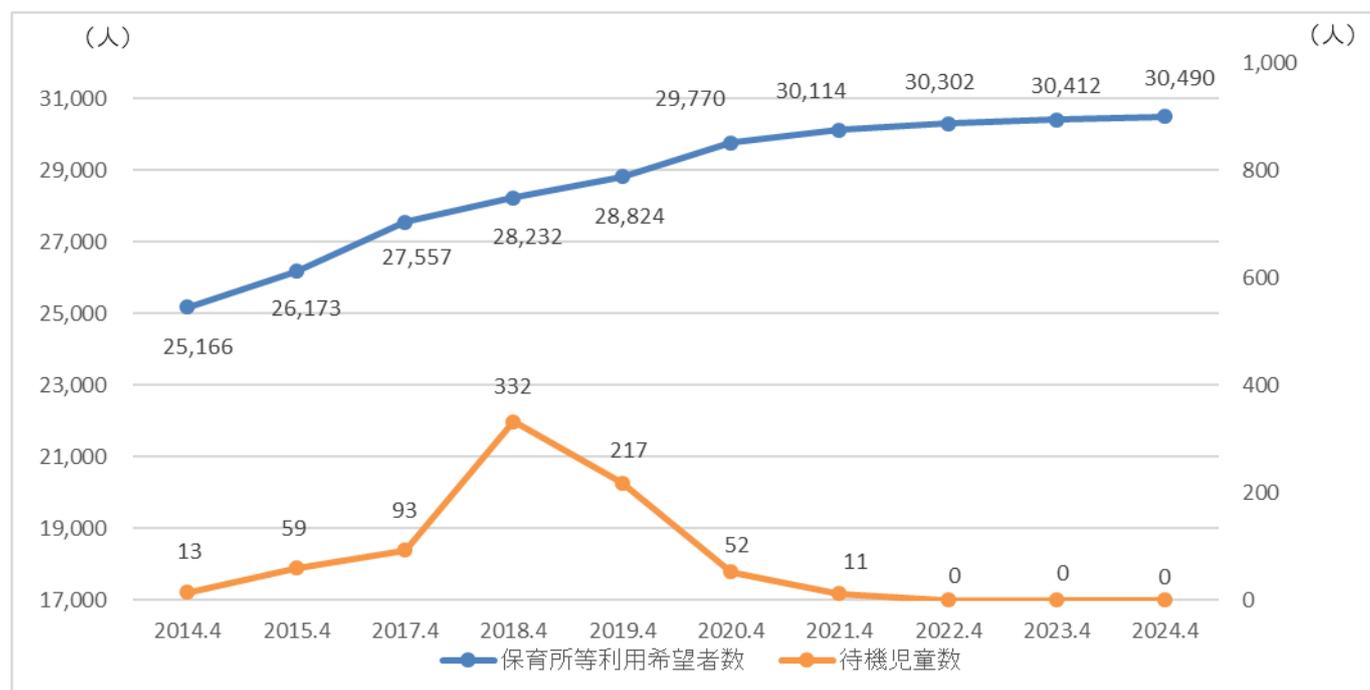
2 計画の検証

(1) 教育・保育施設の利用状況（2024年度）



就学前児童（0～5歳児）の教育・保育施設の利用状況を見てみると、0歳児は83.3%、1～2歳児では約40%～45%と在宅での育児比率が高い。3～5歳児は90%以上が幼稚園・認定こども園・保育所等へ入所している状況である。

(2) 保育所等利用希望者数・待機児童数の推移



保育所等利用希望者数と待機児童数の推移をみると、女性の就労機会の増加などを背景に保育所等の利用希望者数が増加し、2018年4月は332人、2019年4月の待機児童は217人という結果となっていた。これまで、毎年度、保育所等利用定員の拡大に取り組み、2019年度約1,400人、2020年度約900人、2021年度約600人分を拡大したことにより、2022年4月には待機児童数ゼロを達成した。以降3年連続で待機児童ゼロを維持し、地域毎の保育ニーズに対応した受け入れ枠を確保している。

引き続き、地域毎の保育ニーズをきめ細かく把握し、多様な保育ニーズへの対応や、保育人材の確保対策などに努めていく。

(3) 市民（保護者）調査結果

1 調査概要

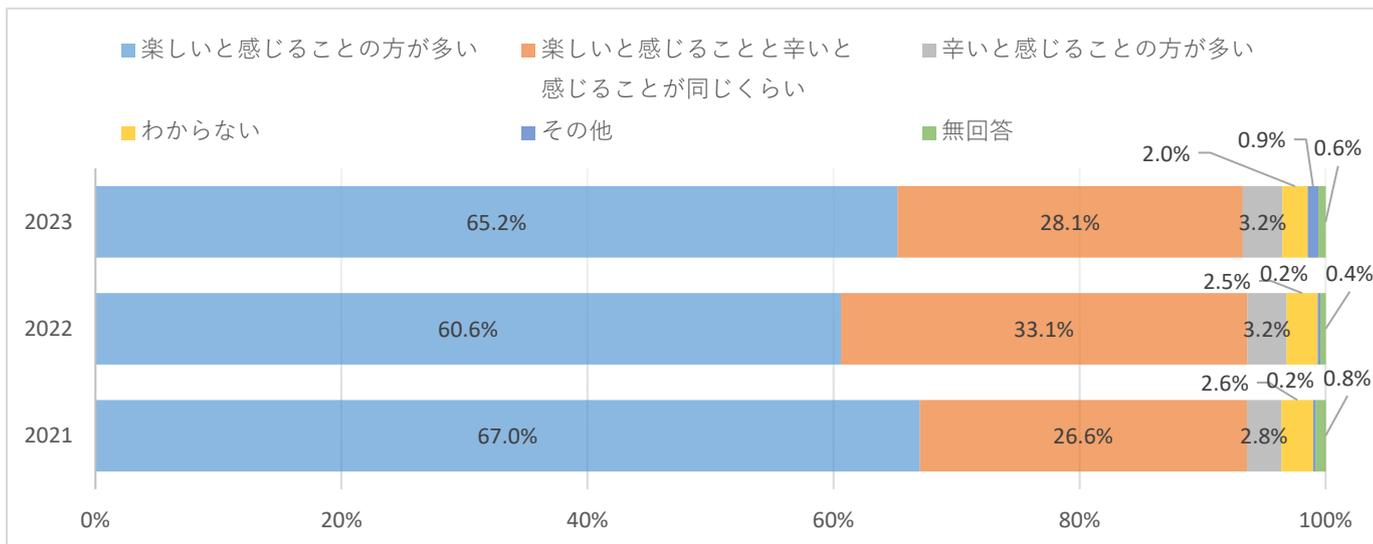
- ・2024年7月に3歳児健診を受診する児童の保護者に対し、問診票に調査票を同送し、健診の場で回収
- ・回収数 342／配布数 726（回収率 47.1%）

2 回答者の基本情報

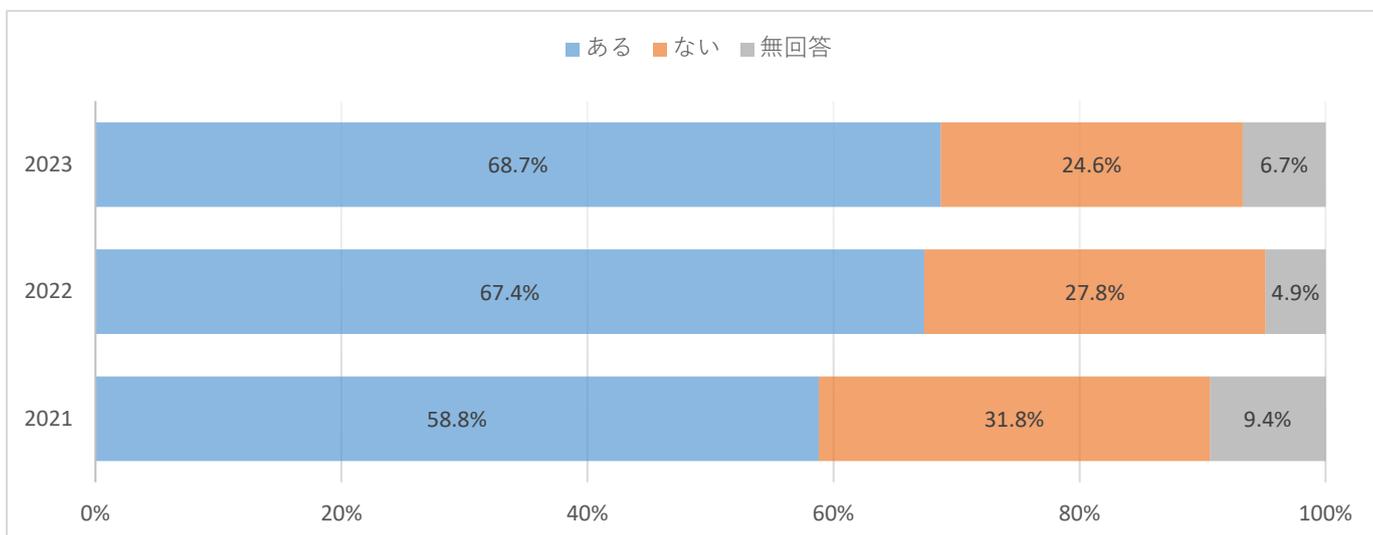
- ・母親の回答が大半であり、回答者全体の年代は30代が6割強、40代が3割弱、20代が約1割となっている。
- ・お子さんの数は、2人が5割強、1人が2割強、3人以上が約2割となっている。
- ・近居親族がいる方が約6割、近居親族がいない方が3割強となっている。
- ・3歳児健診を受診したこどものうち、7割弱が保育所や幼稚園などのいずれかの施設に入所（園）しており、3割弱が在宅育児をされている。

3 調査結果

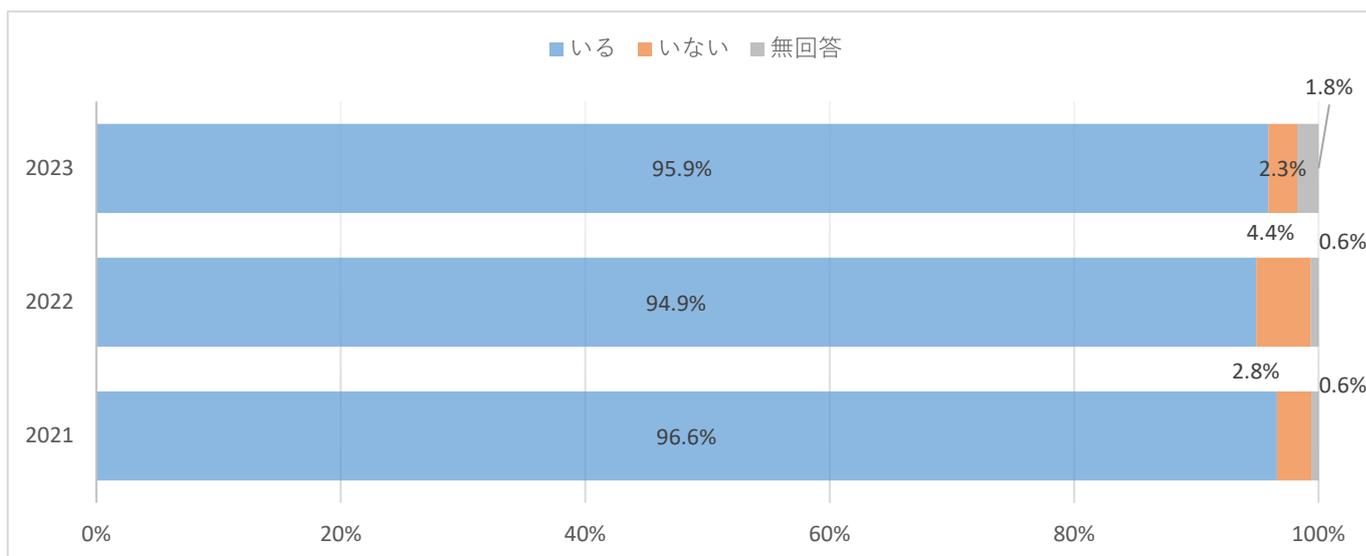
(1) 子育てを楽しんでいると感じることが多いかどうか



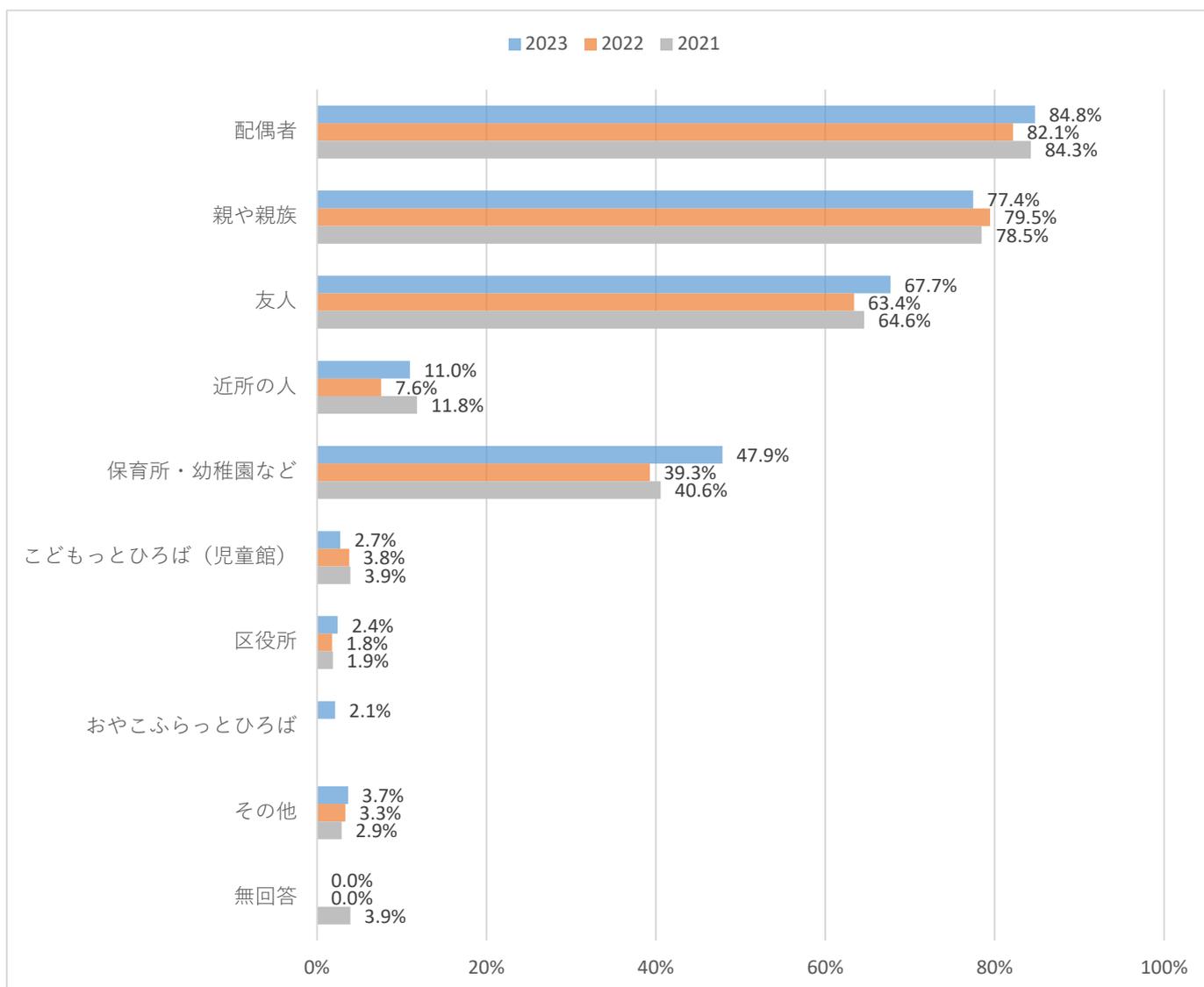
(2) こどもとの外出時に困ること・困ったことがあるか



(3) 子育てについて気軽に相談できる人がいるか

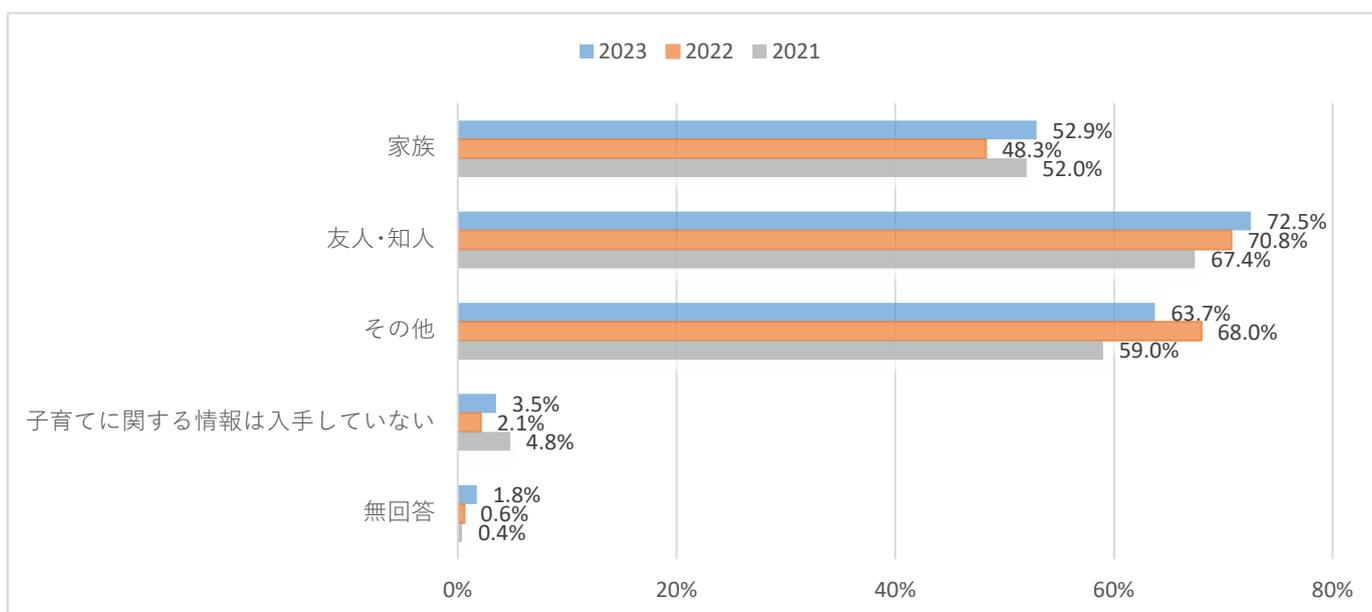


(3-2) 「いる」と答えた方の相談者の割合（複数回答）

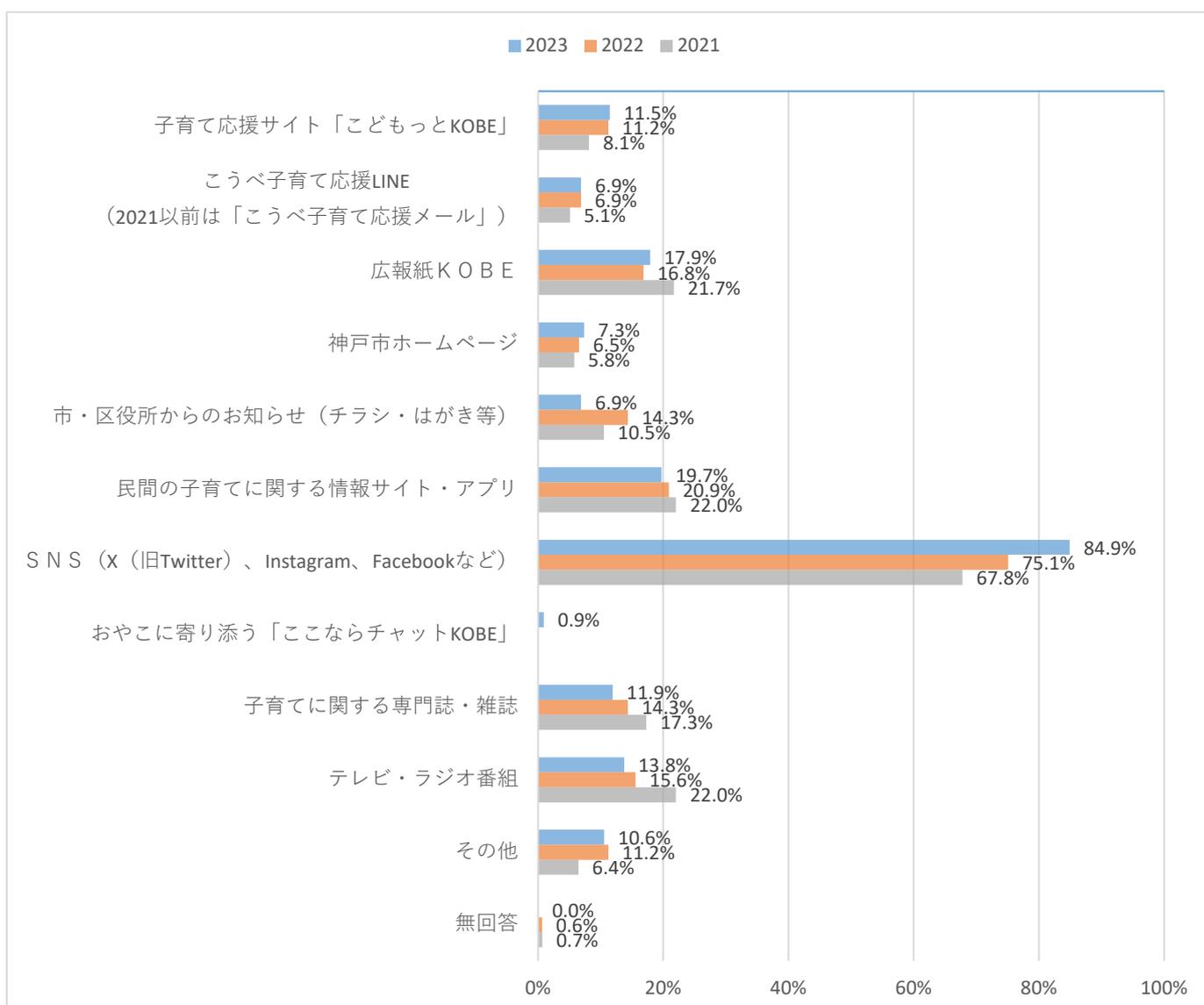


※「おやこふらっとひろば」の選択肢は、2023年度より追加

(4) 育児に関する情報についてどこから入手しているか（複数回答）

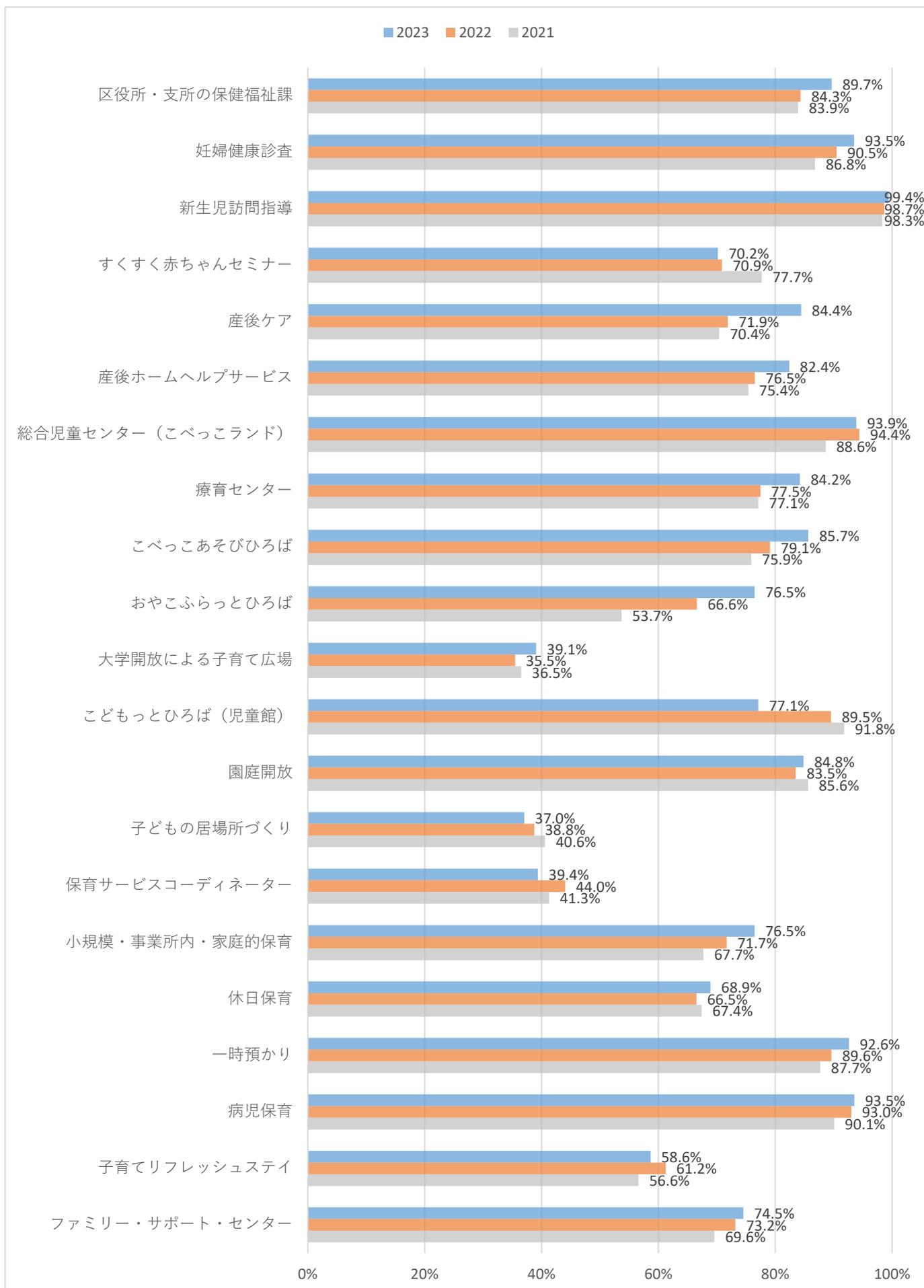


(4-2) 「その他」と回答した人のうち、育児に関する情報の主な入手先（複数回答）

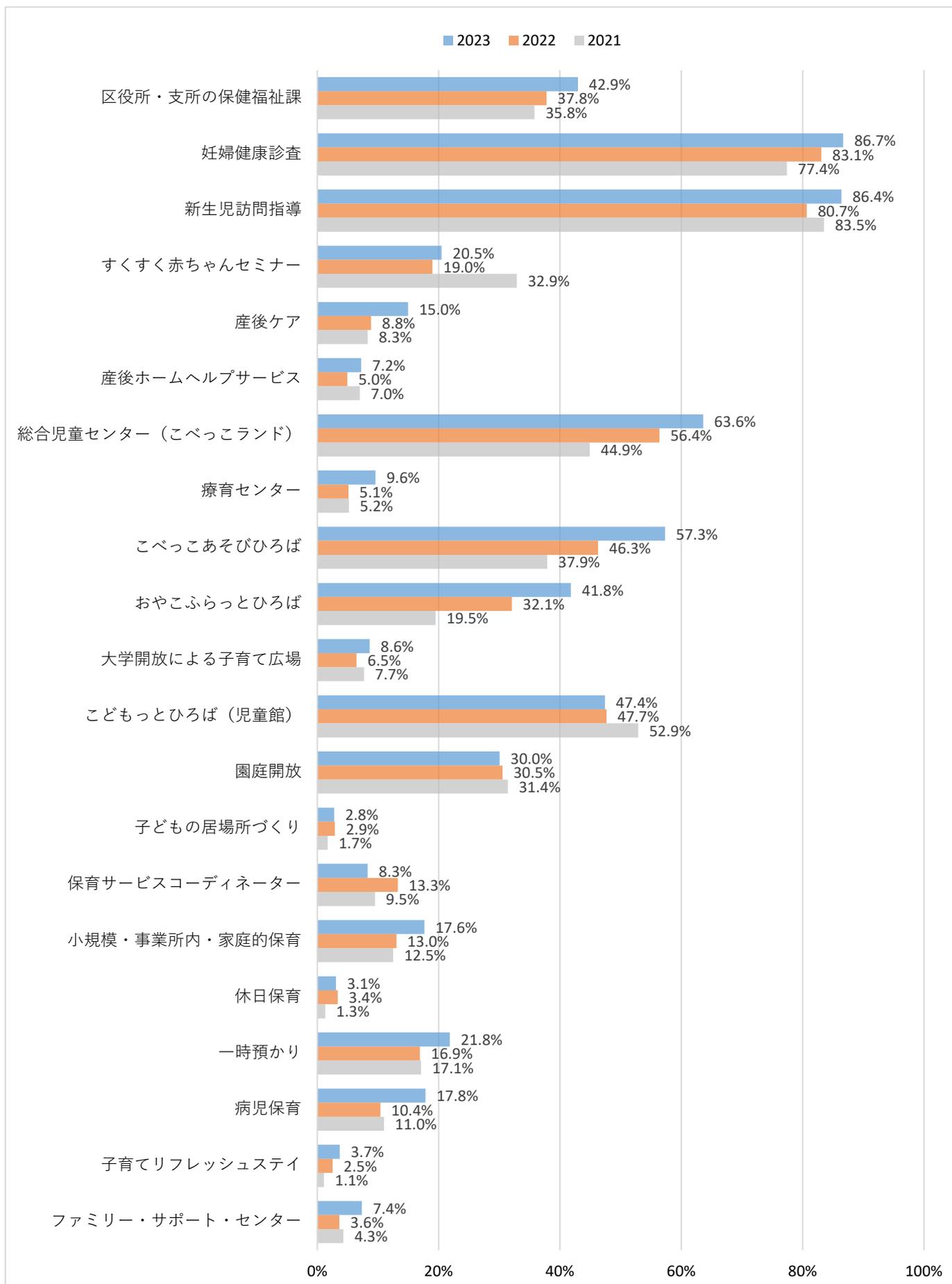


※「おやこに寄り添うここならチャットKOBE」の選択肢は、2023年度より追加

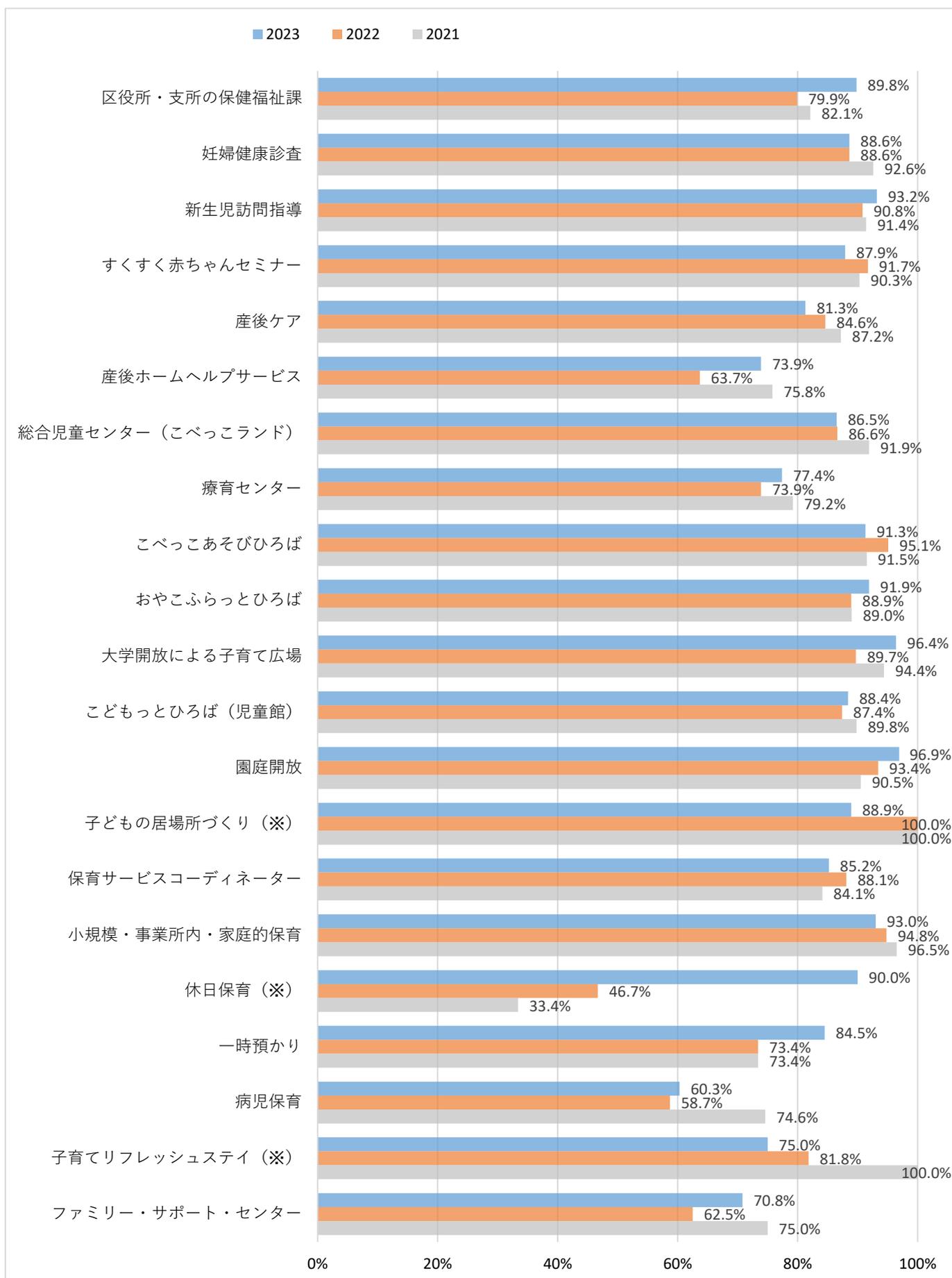
(5) 各事業における認知度



(6) 各事業における利用度

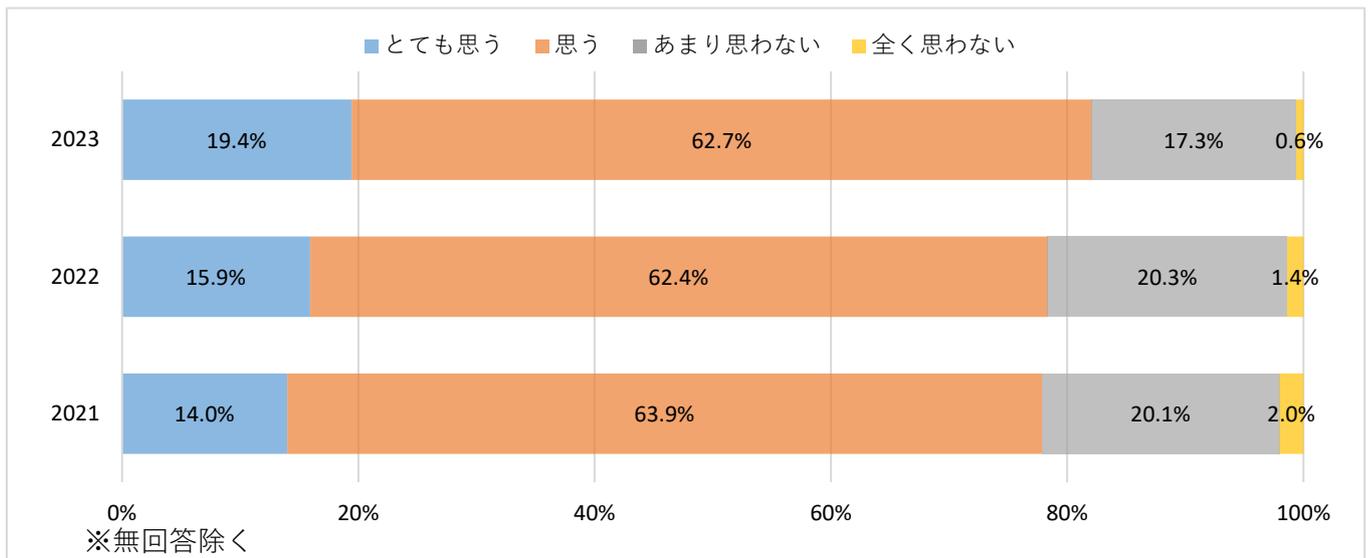


(7) 各事業における満足度



(※) 回答数10程度のため、調査結果の取り扱いに留意が必要

(8) 神戸で子育てして良かったと思いますか。



(8-2) 「とても思う」「思う」とお答えの方は、具体的にどのようなところが良かったと思いますか
(以下 30 項目のうち 3 つまで回答)

【生活環境】

- (1) 海や山などの自然の豊かさ
- (2) こべっこランド、こべっこあそびひろば、動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設
- (3) こども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、駐輪場や地下鉄海岸線の利用料減免等）
- (4) 交通の利便性の充実（通勤・通学に便利）
- (5) 子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援
- (6) 労働時間の短縮やフレックス制の推進など、就労環境

【結婚・妊娠・出産・子育て期にあたたかい街こうべの実現】

- (7) 子育てに関する講座の開催
- (8) 子育てに関する冊子の配布やインターネット等による情報提供
- (9) 子育てについて気軽に相談できる窓口
- (10) 健診や新生児訪問等の母子保健事業
- (11) HAT 神戸をはじめとする小児救急体制

【経済的支援の推進】

- (12) 多子世帯・ひとり親世帯等の保育料
- (13) こどもに関する医療費

【地域における子育て支援の充実と青少年の健全育成の推進】

- (14) 保育園・認定こども園や幼稚園の園庭開放
- (15) 子育てサークルや、保護者同士の交流の場
- (16) こどもっとひろば（児童館）、おやこふらっとひろばなど親子で気軽に集い、相談できる場
- (17) こどもを預けてリモートワークができるコワーキング施設 ※2023 年度より追加
- (18) 地域子育て支援センターなどでの子育て支援ネットワーク

【仕事と子育ての両立支援】

- (19) 保育園・認定こども園・学童保育所などの整備
- (20) 保育園・認定こども園の保育時間の延長や保育内容
- (21) 幼稚園の預かり保育、長時間・長期休暇中預かり保育
- (22) 子育てリフレッシュステイなど、一時的にこどもを預けられる保育サービス
- (23) 病児の児童を一時的に保育する病児保育

【教育環境の充実】

- (24) 防災教育や英語教育など特色ある神戸の教育内容

【特に支援が必要なこども・家庭への対応】

- (25) 児童虐待防止対策
- (26) 障がい児施策
- (27) 貧困の連鎖防止に向けた施策
- (28) ひとり親家庭等への支援
- (29) 里親委託などの社会的養育体制の充実

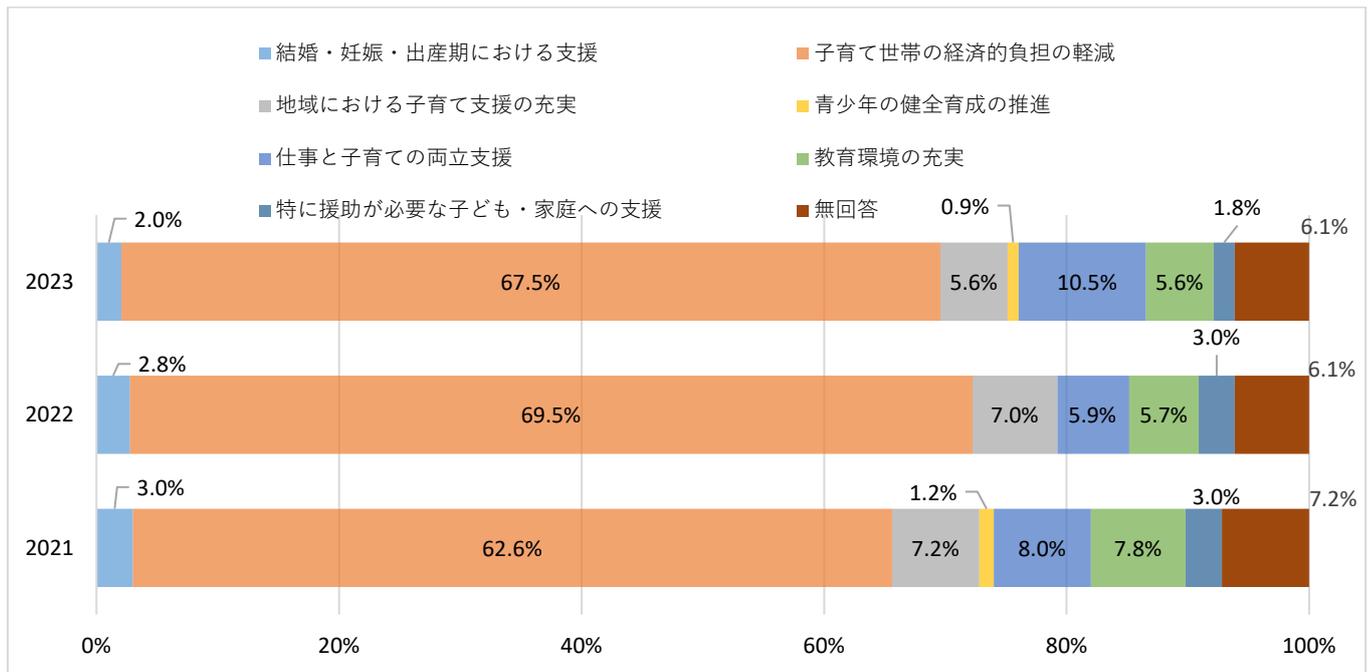
【その他】 (30) その他

順位	2023	2022	2021
1	こべっこランド、こべっこあそびひろば、動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設	動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設	動物園や水族園など家族で遊びに行ける施設
	54.9%	50.9%	54.5%
2	海や山などの自然の豊かさ	海や山などの自然の豊かさ	海や山などの自然の豊かさ
	38.4%	42.4%	48.0%
3	交通の利便性の充実（通勤・通学に便利）	交通の利便性の充実（通勤・通学に便利）	交通の利便性の充実（通勤・通学に便利）
	28.5%	27.3%	28.1%
4	HAT神戸をはじめとする小児救急体制	HAT神戸をはじめとする小児救急体制	HAT神戸をはじめとする小児救急体制
	18.3%	21.2%	16.9%
5	子ども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、駐輪場や地下鉄海岸線の利用料免除等）	子ども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等）	子ども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等）
	16.9%	17.0%	14.2%

（8-3）「あまり思わない」「全く思わない」とお答えの方は、具体的にどのようなところがよくないと思いますか（3つまで回答 ※選択肢は（8-2）と同じ）

順位	2023	2022	2021
1	子どもに関する医療費	子どもに関する医療費	子どもに関する医療費
	35.5%	44.5%	46.5%
2	労働時間の短縮やフレックス制の推進など、就労環境	子ども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等） 多子世帯・ひとり親世帯の保育料	子ども連れで外出しやすいまち（駅舎や歩道橋へのエレベーターの設置、歩道の段差解消等）
	17.1%	18.0%	16.1%
3	保育園・認定こども園・学童保育所などの整備	子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援	多子世帯・ひとり親世帯の保育料
	15.8%	17.2%	11.6%
4	子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援	保育園・認定こども園・学童保育所などの整備	保育園・認定こども園・学童保育所などの整備
	多子世帯・ひとり親世帯の保育料		
	14.5%	9.4%	10.3%
5	病児の児童を一時的に保育する病児保育	病児の児童を一時的に保育する病児保育	子育てに適した広さや間取りの住宅供給及び家賃の軽減制度など住宅に関する子育て支援
	11.8%	8.6%	9.0%

(9) 子育て支援策について、今後神戸市に期待すること



(4) 施設利用者調査結果

	ページ
①保育所	22
②認定こども園	24
③幼稚園	26
④児童館（こどもっとひろば）	29
⑤大学と連携した子育てひろば	32
⑥学童保育	35
⑦一時預かり（一時保育含む）	40
⑧子育てリフレッシュステイ（※）	43
⑨病児保育	46
⑩ファミリー・サポート・センター（※）	48
⑪小規模保育	51
⑫事業所内保育（※）	53
⑬家庭的保育（※）	55
⑭おやこふらっとひろば	57

（※）回収数が100未満のため、調査結果の取り扱いに留意が必要

①保育所

1 調査概要

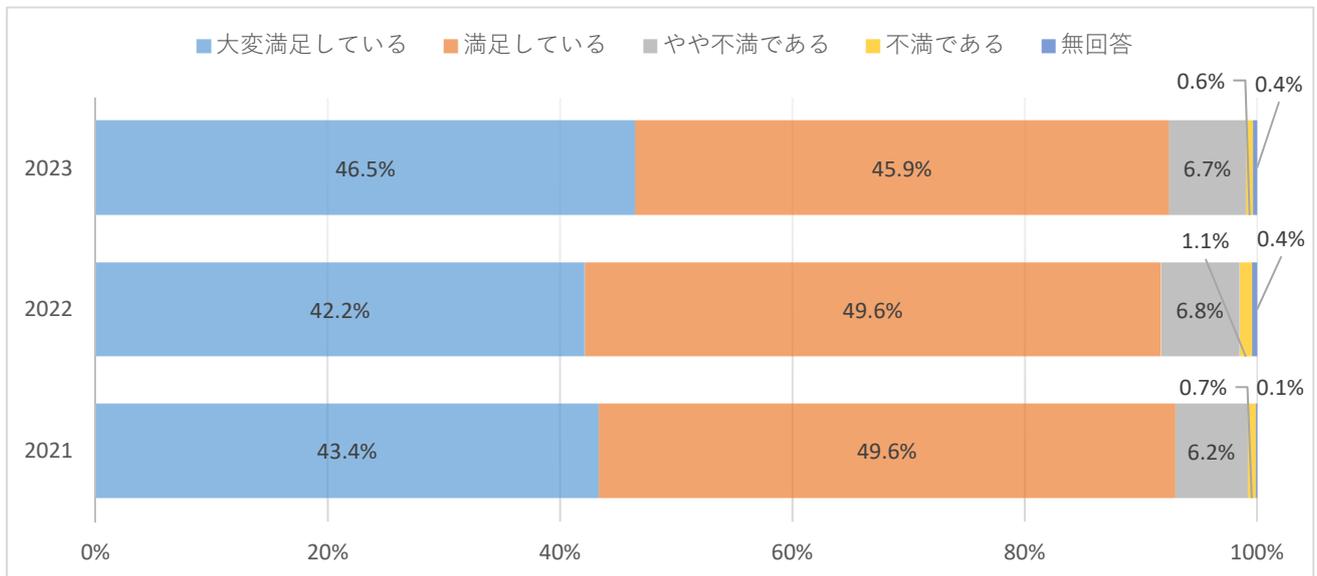
- ・2024年7月、公立保育所55箇所及び私立保育園73箇所計128箇所を通じて、保育所ごとに各年齢2名ずつ無作為抽出したこどもの保護者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数856／配布数1,149（回収率74.5%）

2 回答者の基本情報

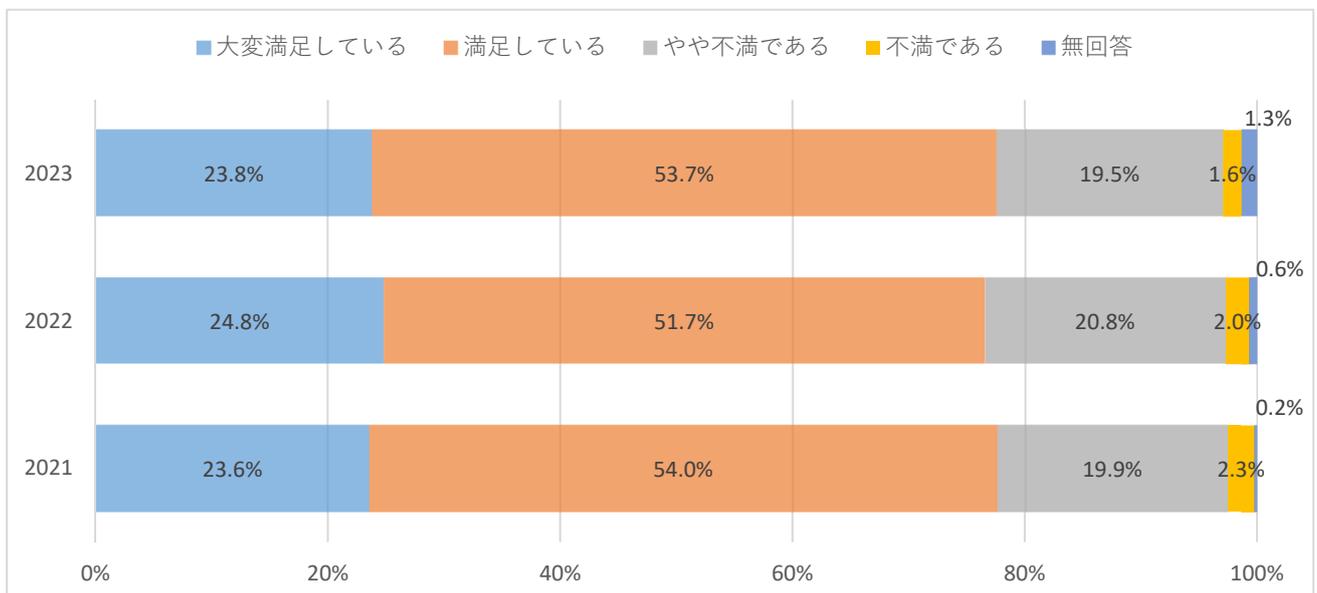
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が9割強を占め、母親は「フルタイム」が6割強、「パート」が3割弱となっている。

3 調査結果

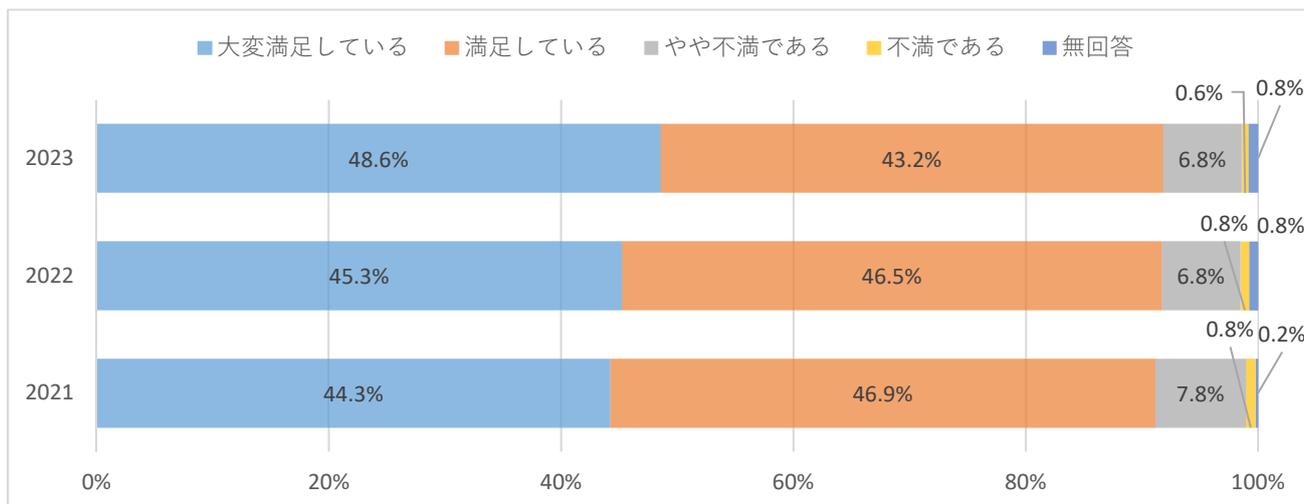
(1) 保育内容全般



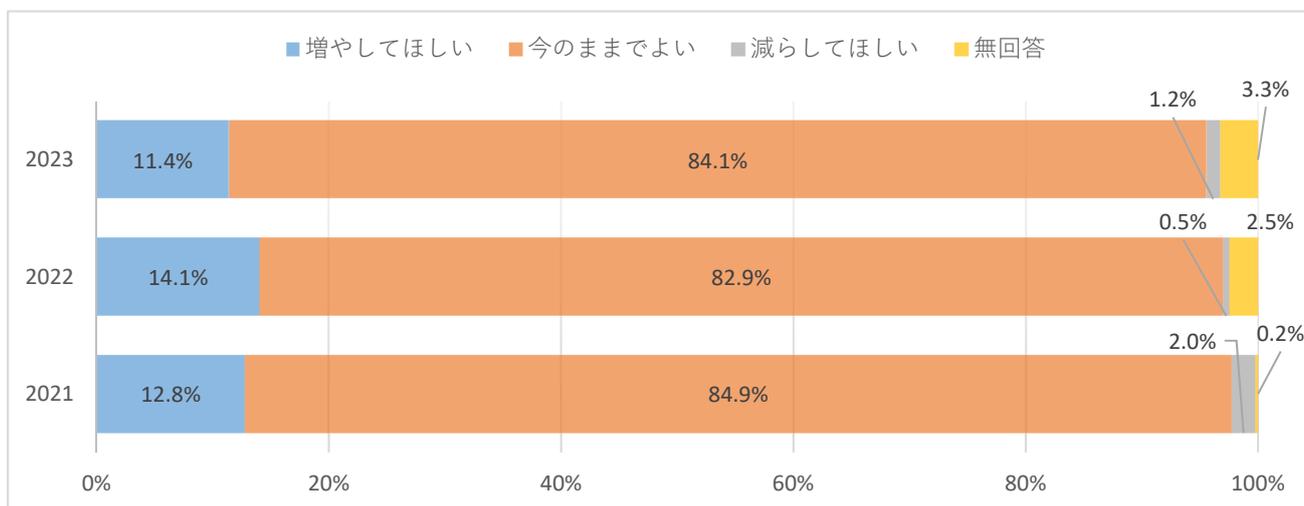
(2) 建物や園庭などの施設



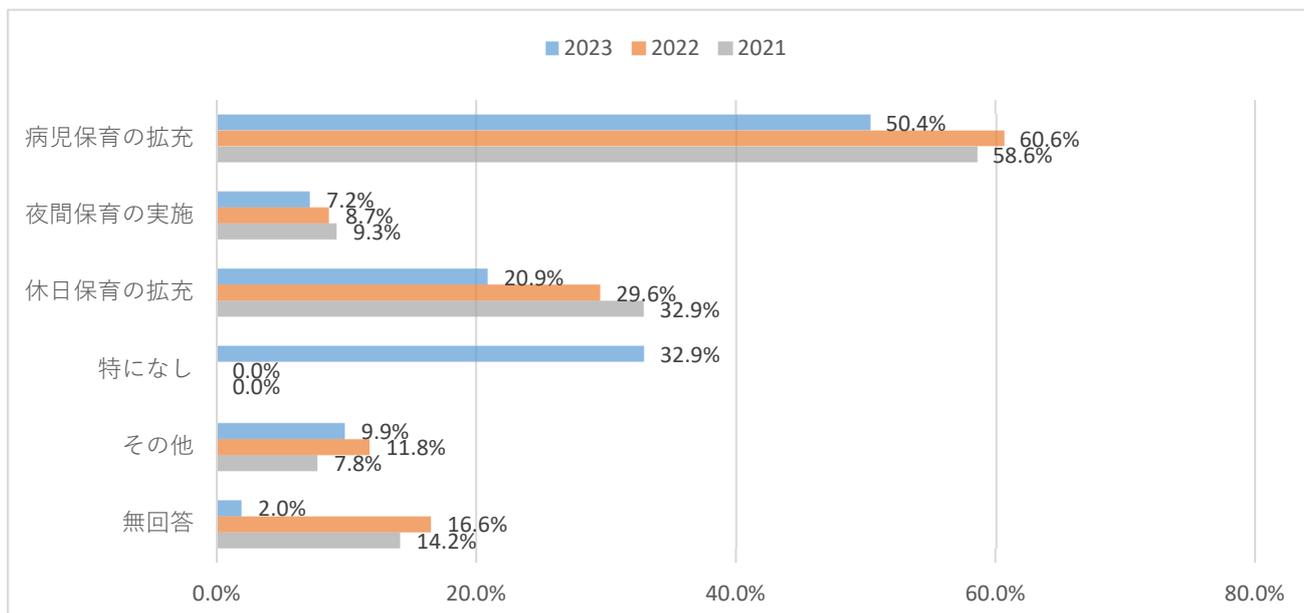
(3) 職員の対応



(4) 地域の親子との交流（園庭開放など）



(5) 今後、特に充実してほしい支援策について（複数回答）



※「特になし」の選択肢は、2023年度より追加

②認定こども園

1 調査方法

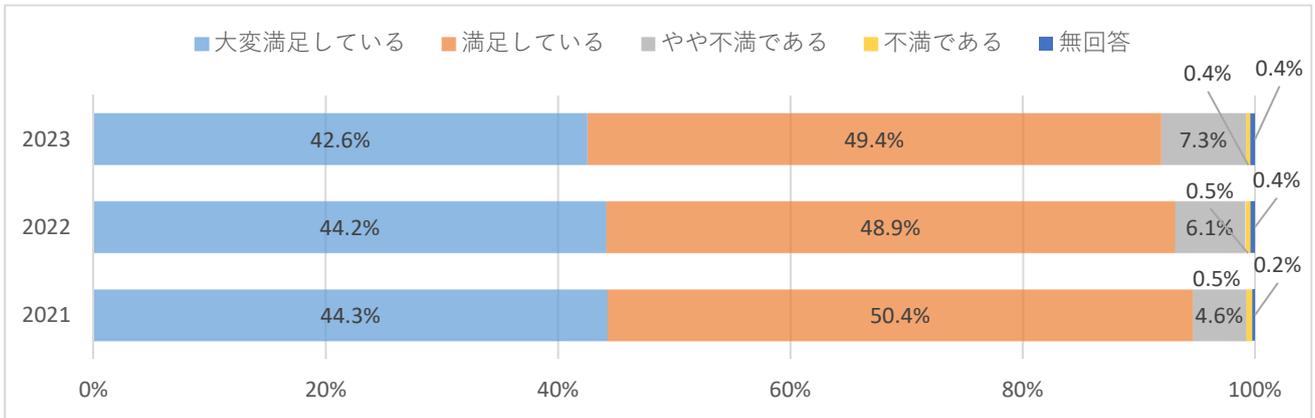
- ・2024年7月、幼保連携型認定こども園167箇所及び幼稚園型認定こども園24箇所計191箇所に通うこどもの中から、認定こども園ごとに各年齢2名ずつ無作為抽出し、こどもの保護者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数1,262／配布数2,085（回収率60.5%）

2 回答者の基本情報

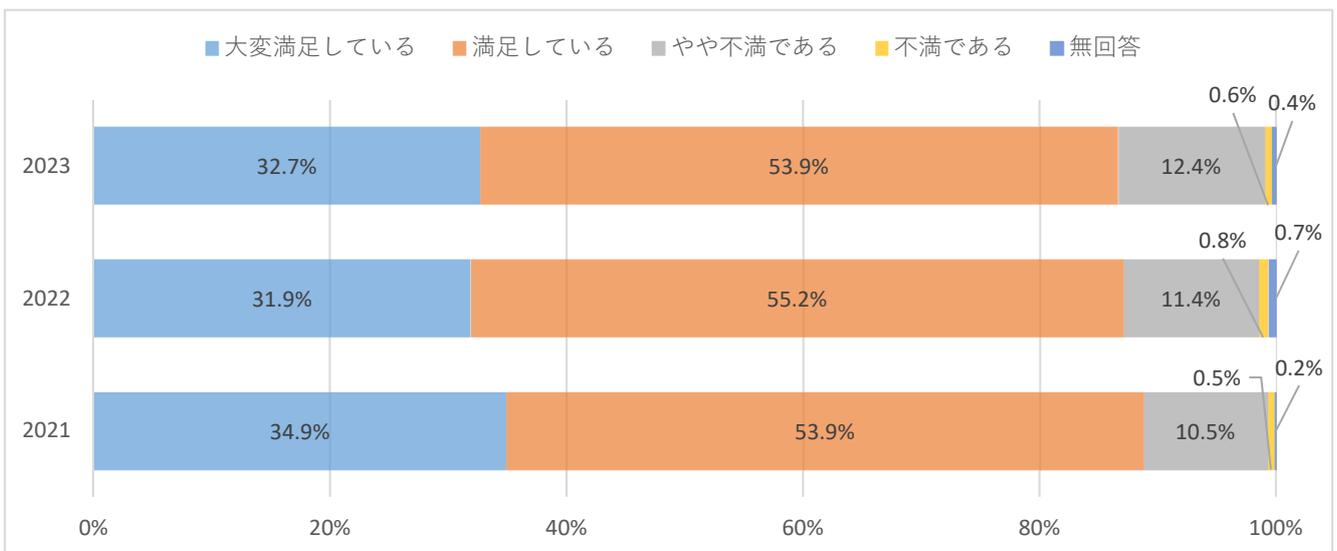
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が9割強、母親は「フルタイム」が6割弱、「パート」が3割弱となっている。

3 調査結果

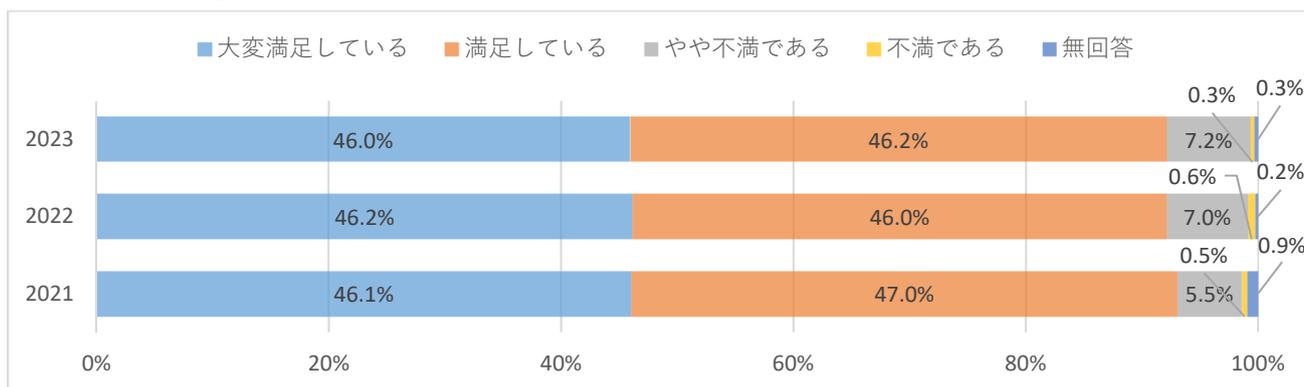
(1) 保育内容全般



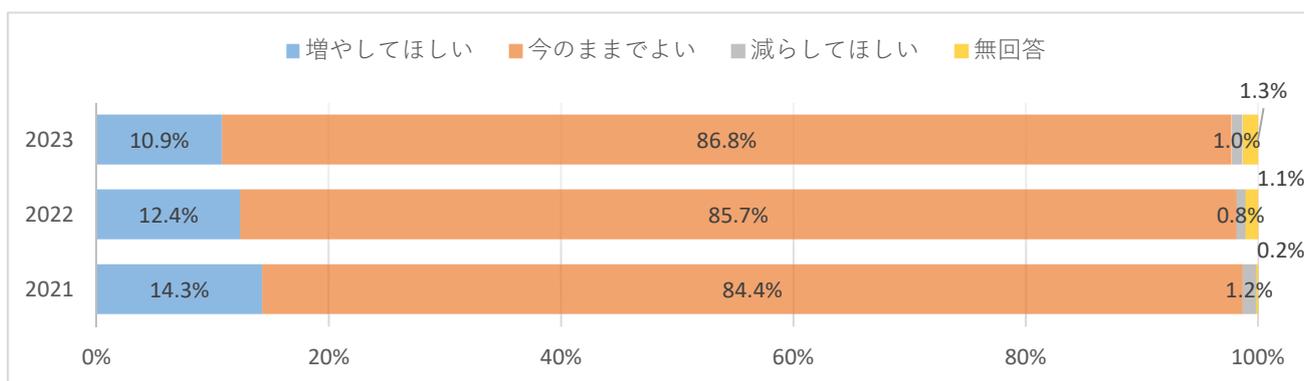
(2) 建物や園庭などの施設



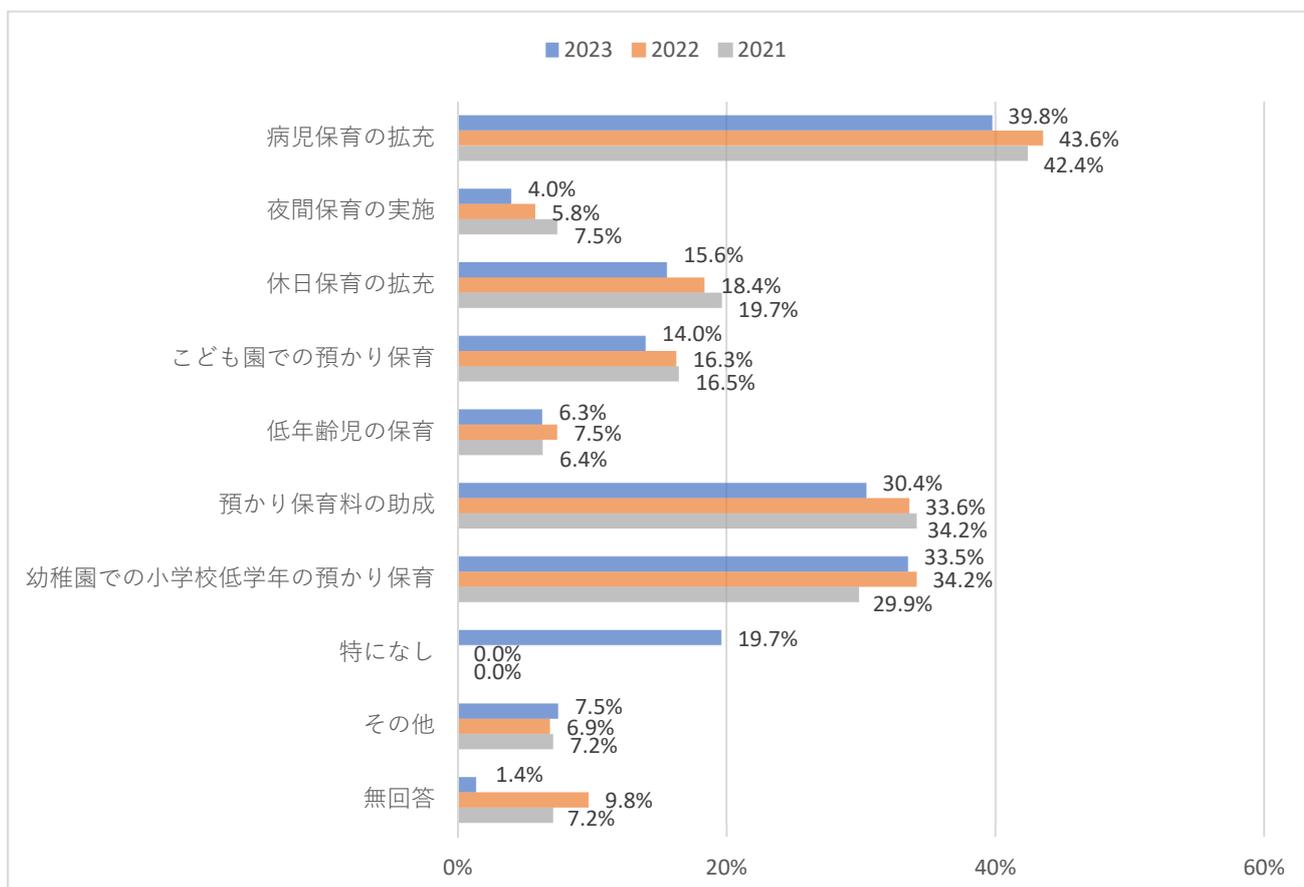
(3) 職員の対応



(4) 地域の親子との交流（園庭開放など）



(5) 今後、特に充実してほしい支援策について（複数回答）



※「特になし」の選択肢は、2023年度より追加。

③幼稚園

1 調査方法

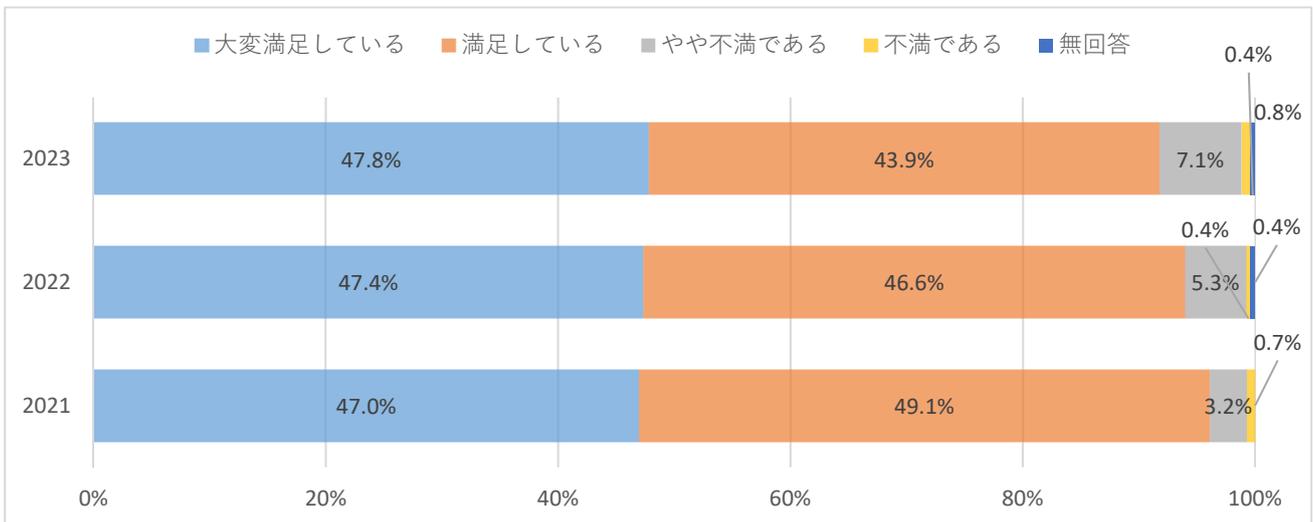
- ・2024年7月、公立幼稚園29箇所及び私立幼稚園40箇所計69箇所を通じて、幼稚園ごとに、各年齢2名ずつ無作為抽出されたこどもの保護者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数255／配布数336（回収率75.9%）

2 回答者の基本情報

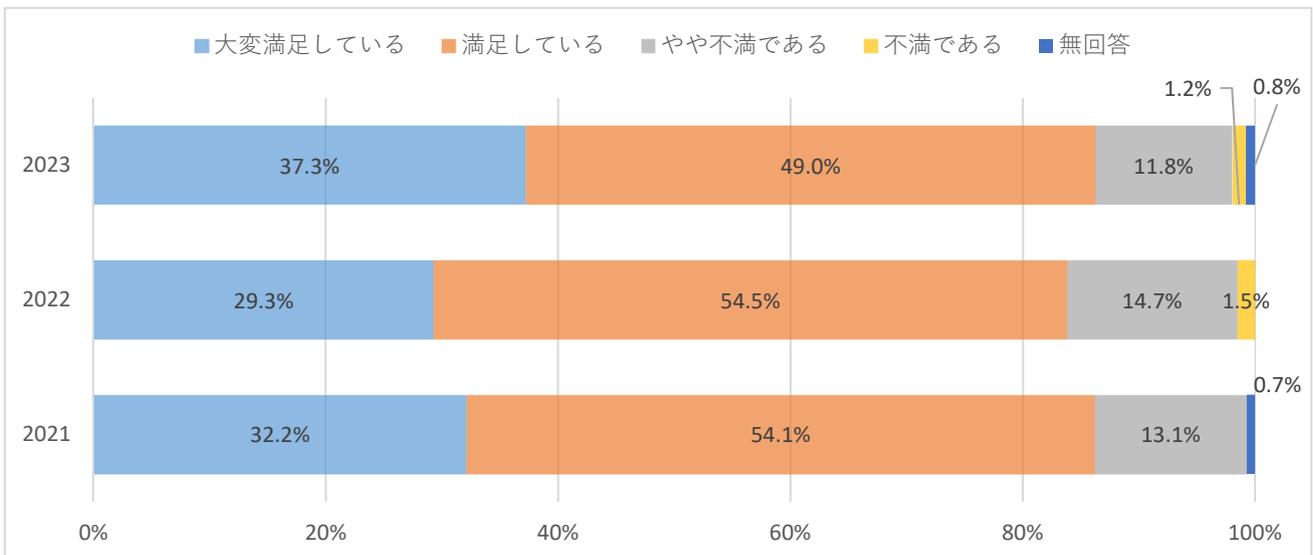
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「働いていない」が約5割、「パート」が4割強となっている。

3 調査結果

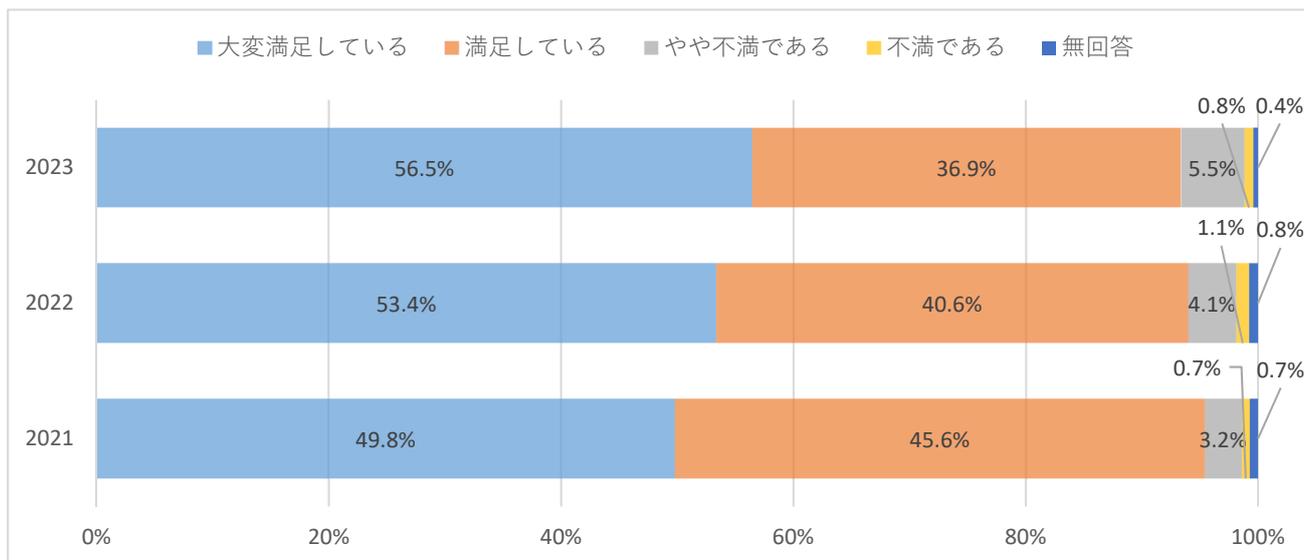
(1) 保育内容全般



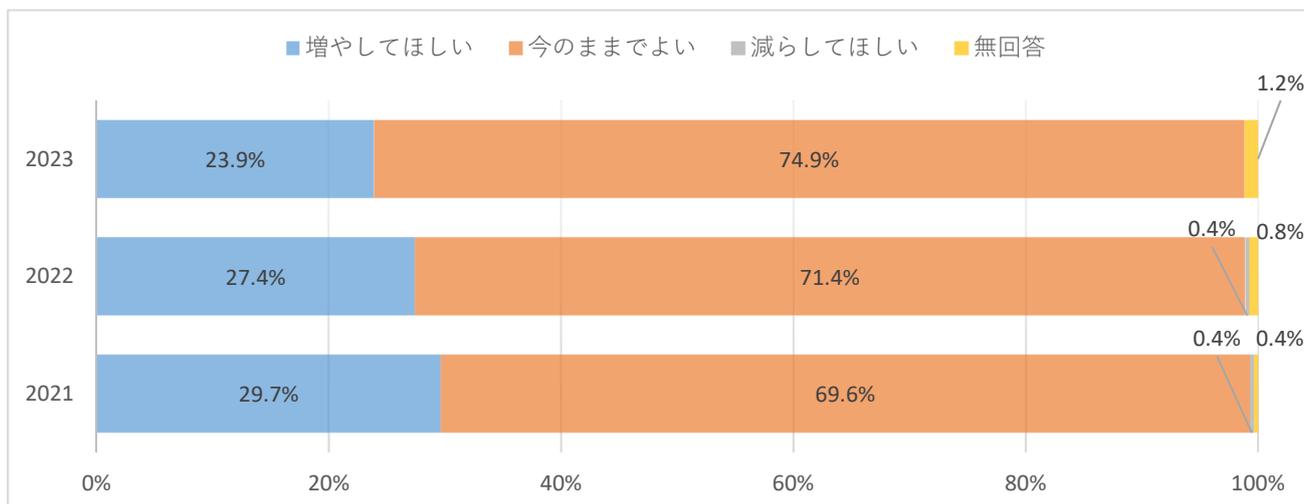
(2) 建物や園庭などの施設



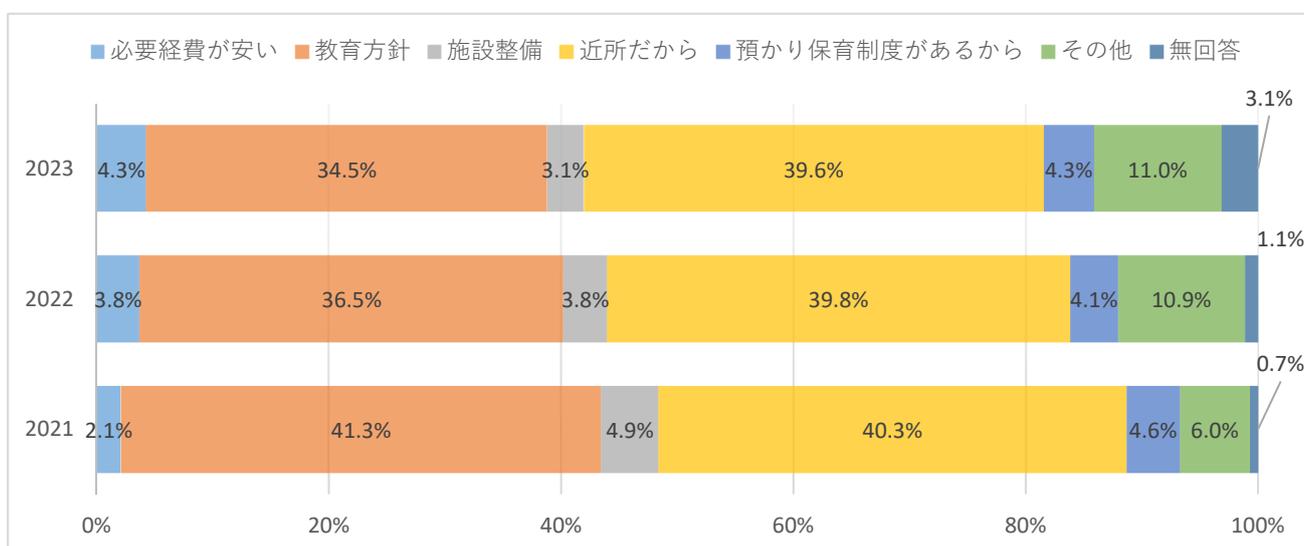
(3) 職員の対応



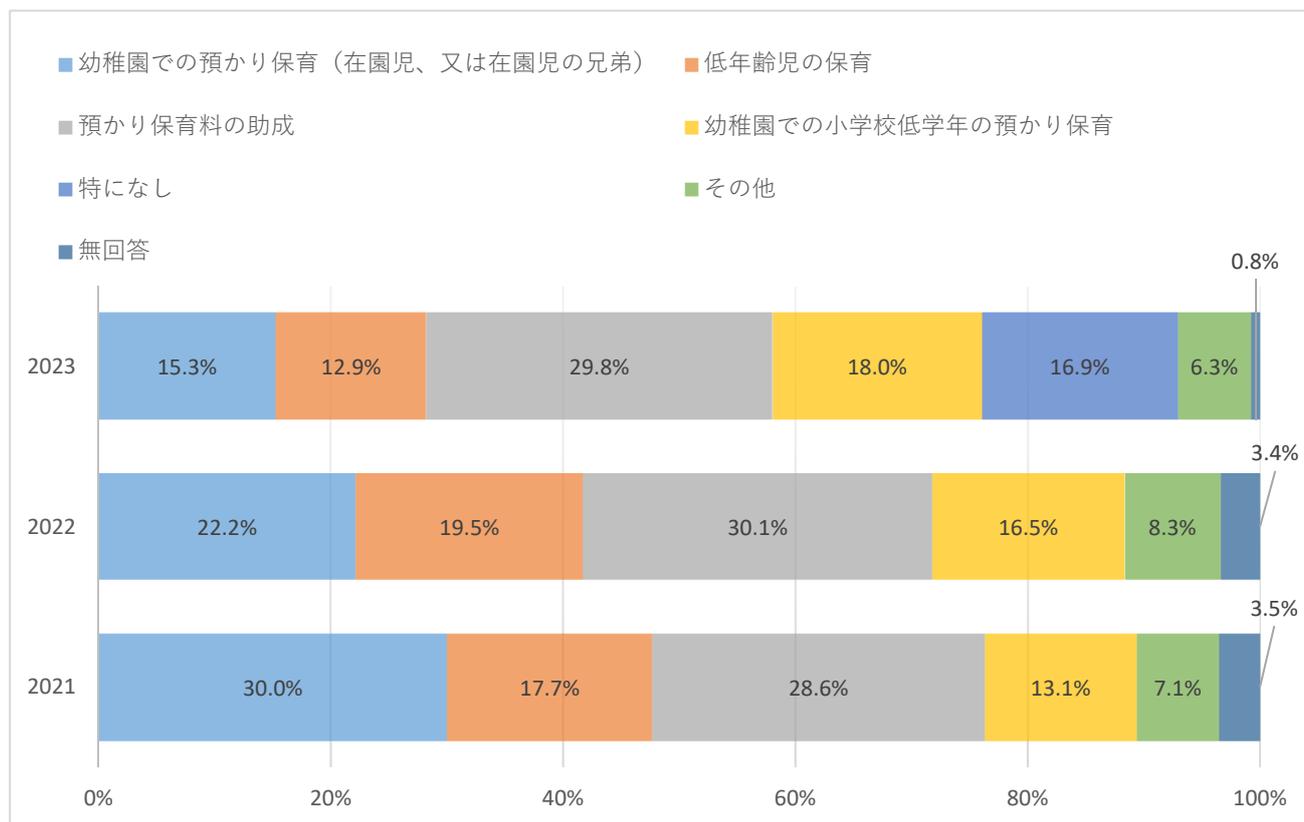
(4) 未就園児保育や園庭開放



(5) 現在通う園を選択した理由



(6) どのような子育て支援が必要か



※「特になし」の選択肢は、2023年度より追加。

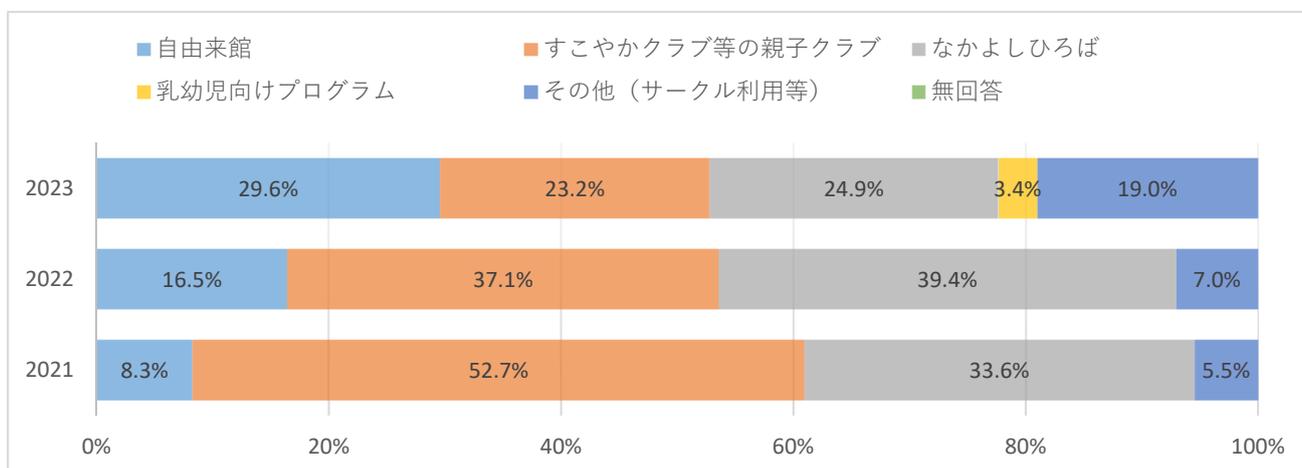
④児童館（こどもっとひろば）（午前中）

	【公立児童館 115 ヲ所】	【民設児童館 5 ヲ所】
1 調査方法	児童館を通じて、利用者に二次元コードを記載した調査票を配布、もしくは利用者にメール等で WEB サイトを案内し、WEB サイトから回答を収集	児童館を通じて、期間中に利用のあった 10 組の親子を対象に二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEB サイトから回答を収集
2 調査期間	2024 年 4 月	2024 年 7 月
3 回収率	回収数 358／配布数-（回収率-）	回収数 19／配布数 51（回収率 37.3%）

※公立児童館については、「児童館の指定管理者による管理運営状況の評価に関するアンケート」を活用

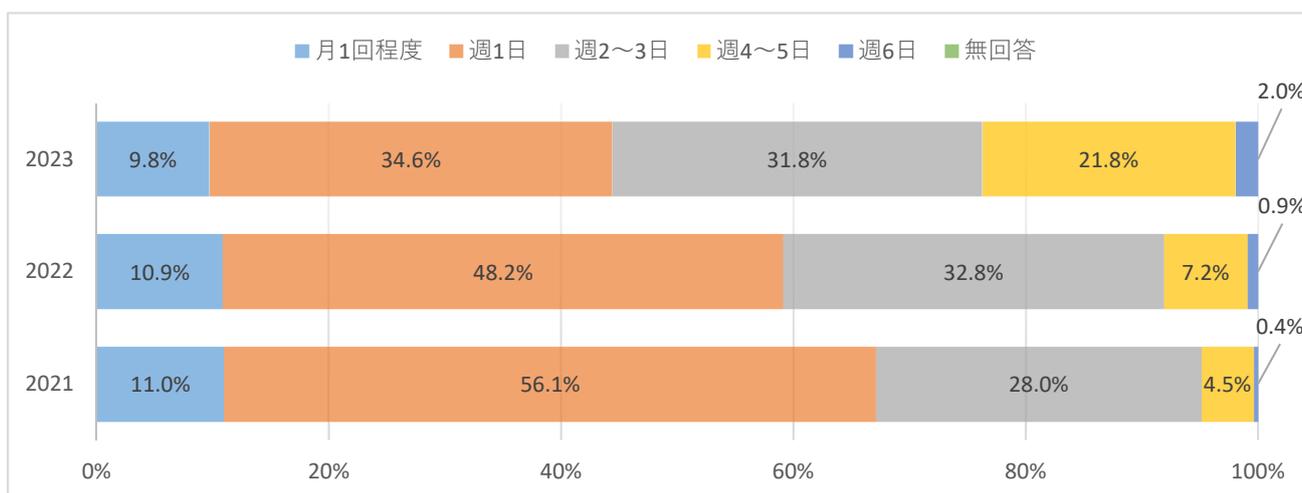
4 調査結果

（1）何を利用したか

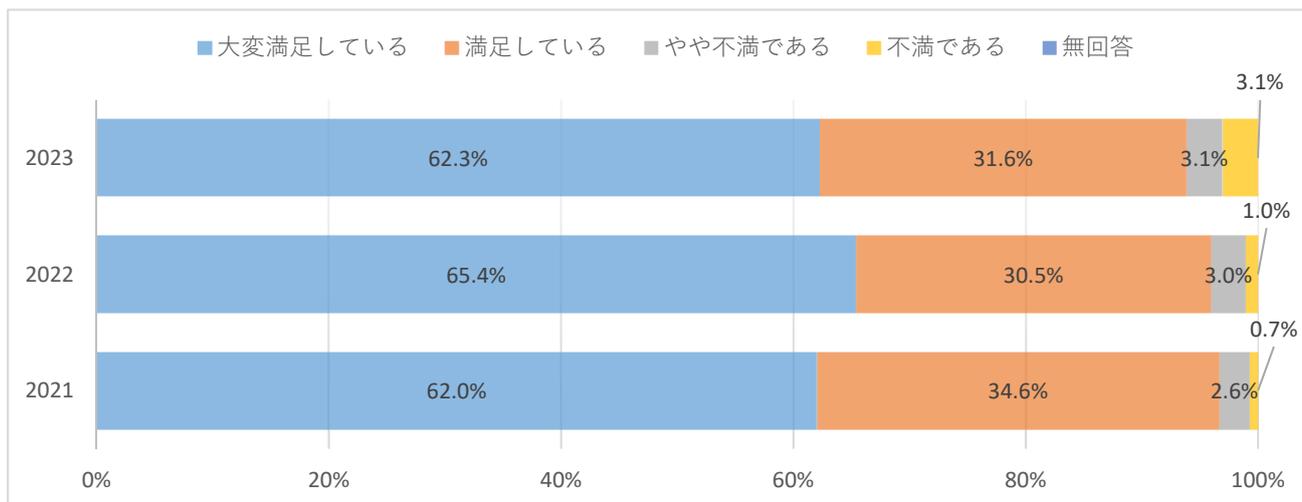


※「すこやかクラブ等の親子クラブ」（登録制）と「なかよしひろば」（自由参加）について、2024 年度より実施方法を柔軟にしたことから、2023 年度の民設児童館利用者へのアンケートでは「すこやかクラブ等の親子クラブ」と「なかよしひろば」の利用について、「乳幼児向けプログラム」とまとめている。

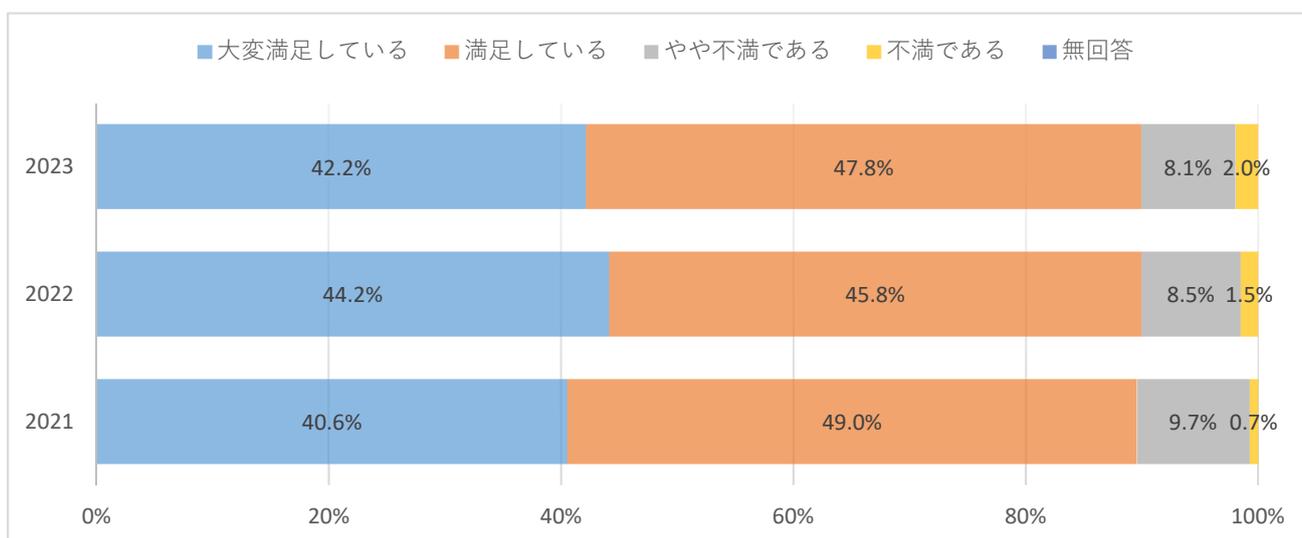
（2）利用の頻度



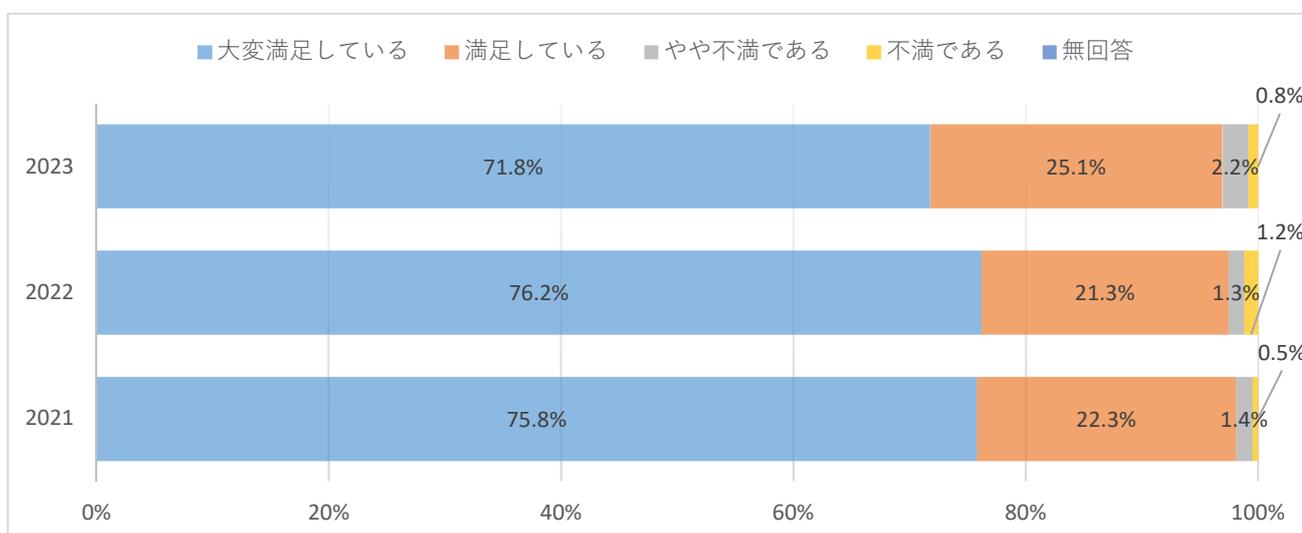
(3) サービス内容



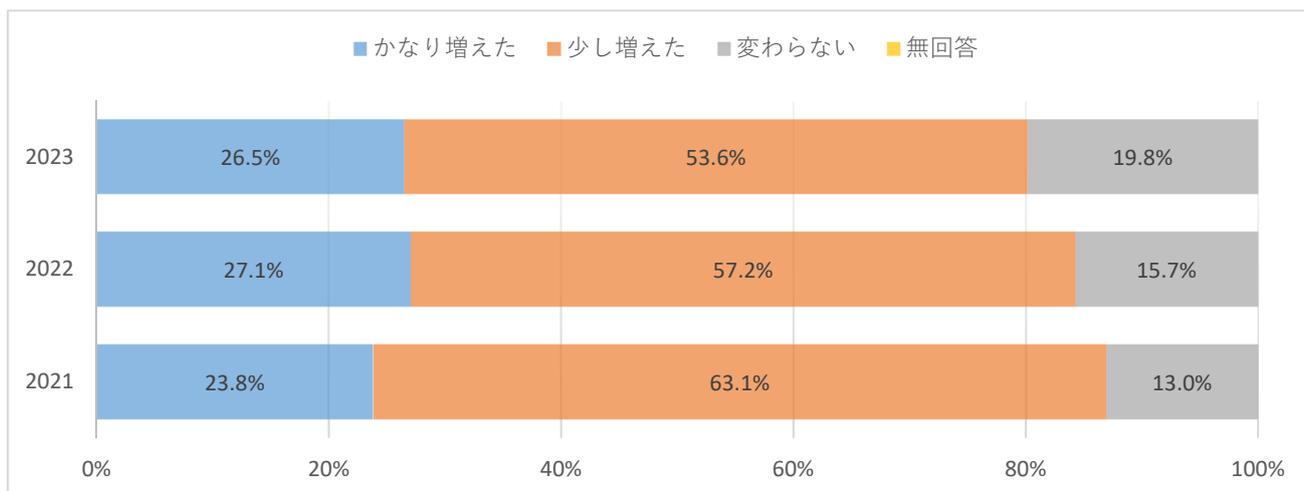
(4) 施設



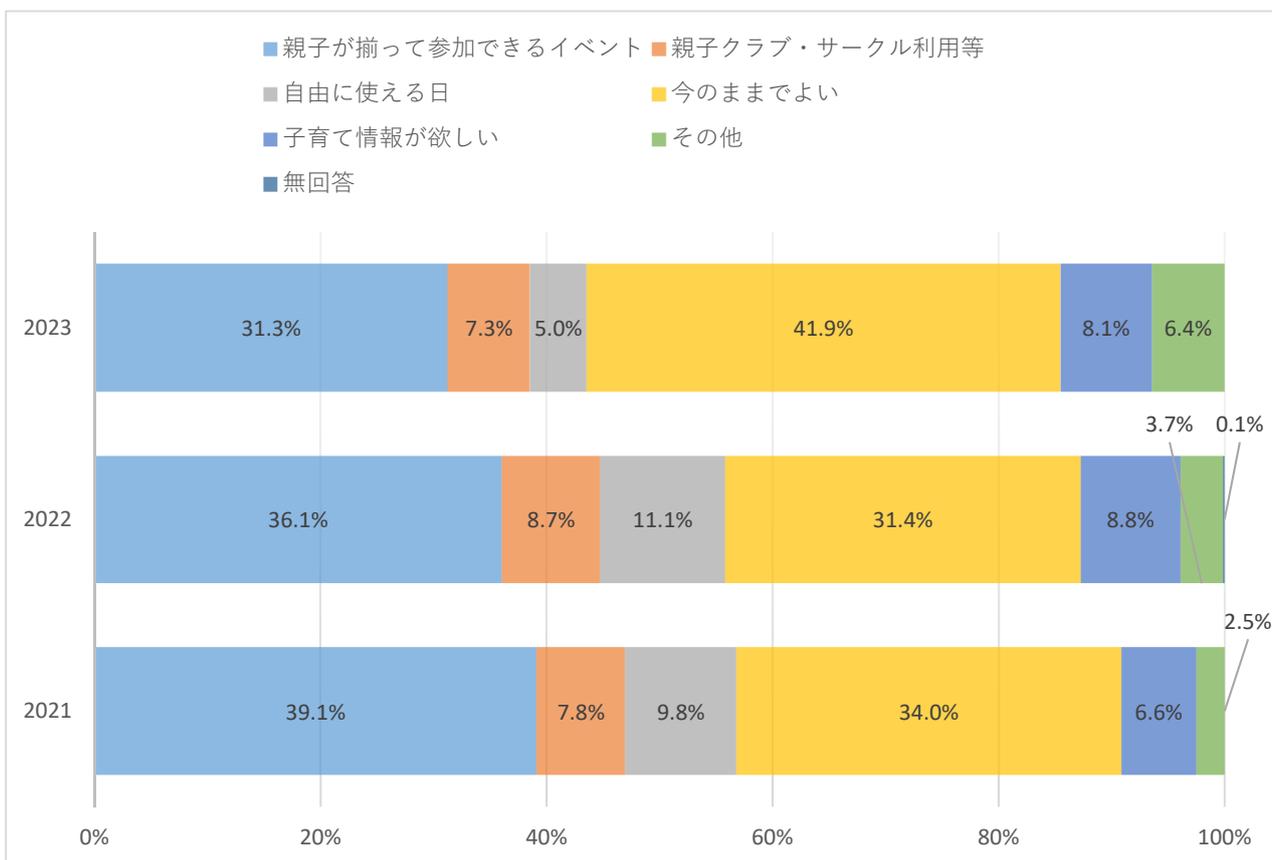
(5) 職員の対応



(6) 利用により新しい知人が増えたか



(7) 児童館で増やしてほしいサービス



⑤大学連携（大学と連携した子育て支援事業）

1 調査概要

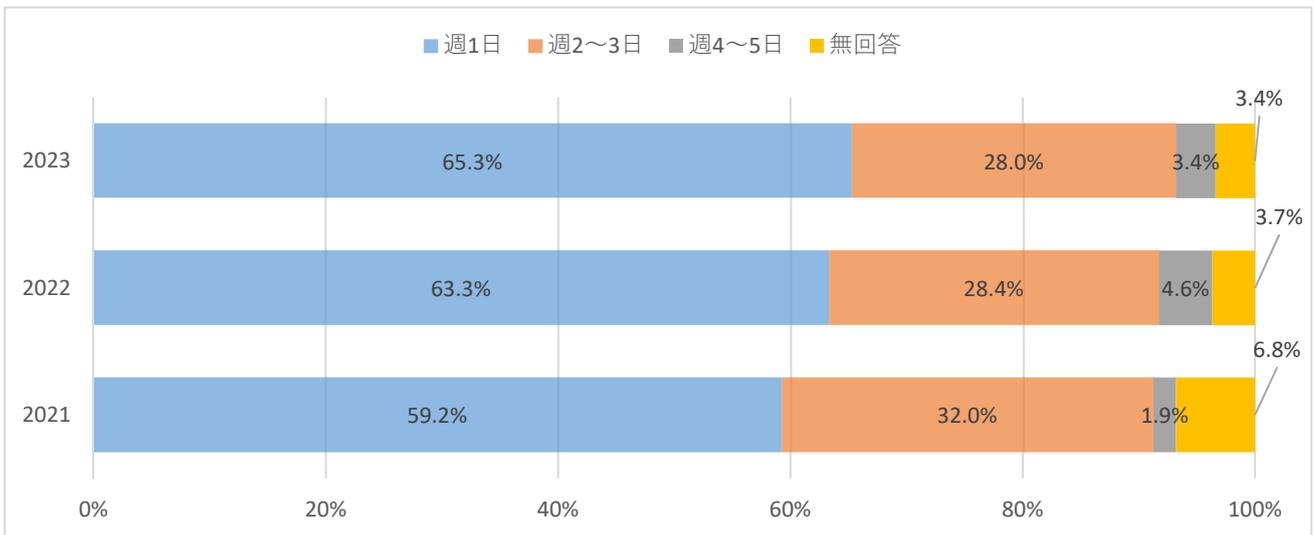
- ・2024年7月、大学と連携した子育て支援事業を実施している施設（8大学10か所）の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数118/配布数264（回収率44.7%）

2 回答者の基本情報

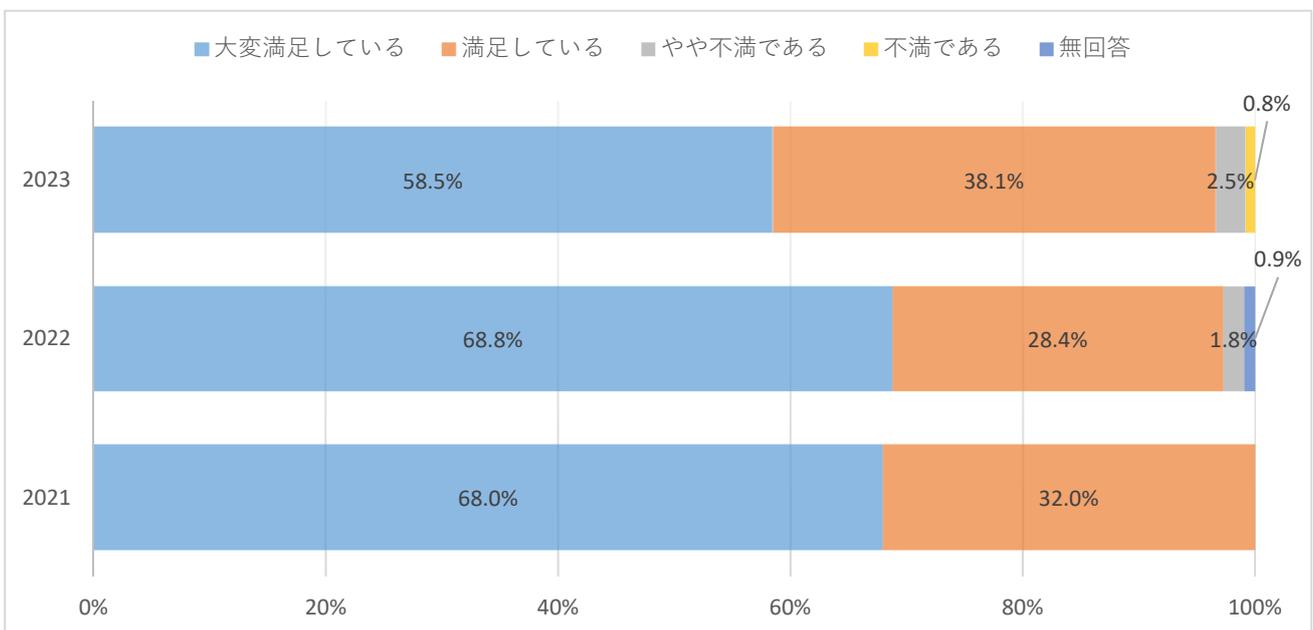
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「働いていない」が6割強、「フルタイム」が2割強となっている。

3 調査結果

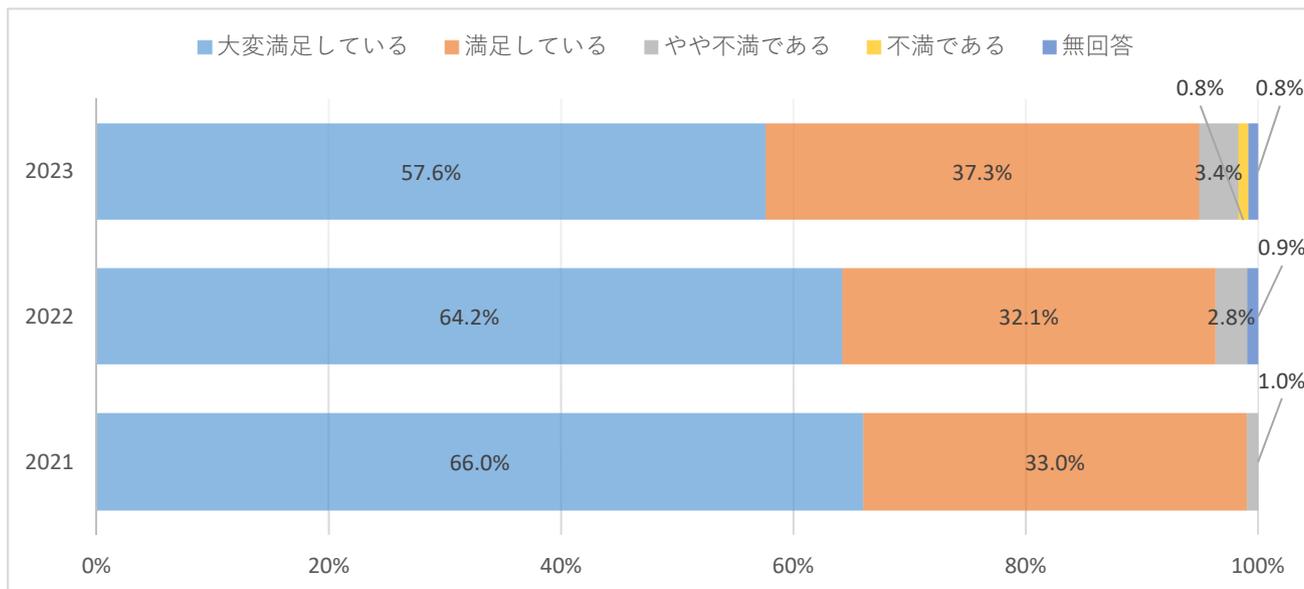
（1）利用の頻度



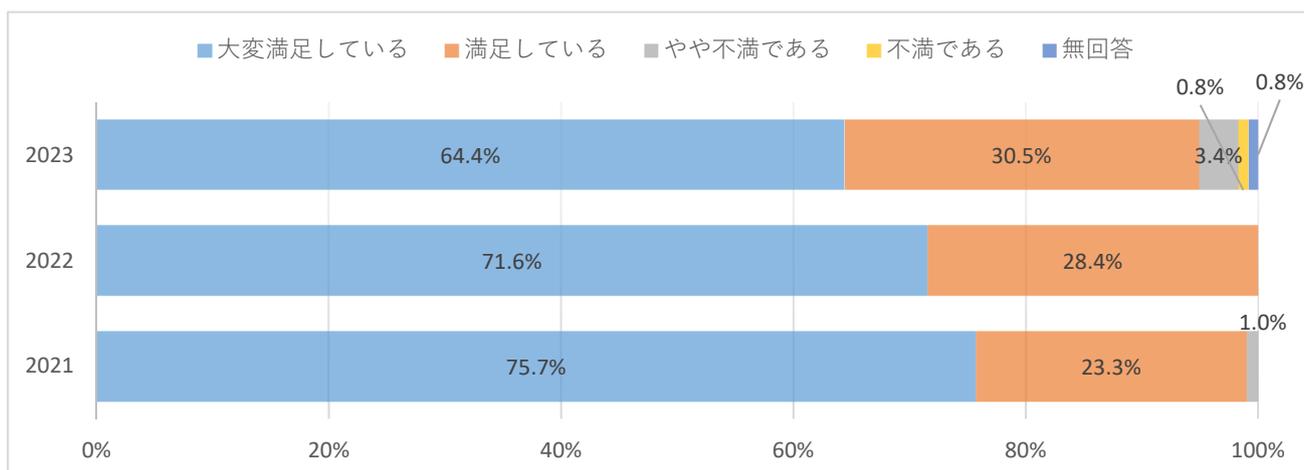
（2）サービス内容



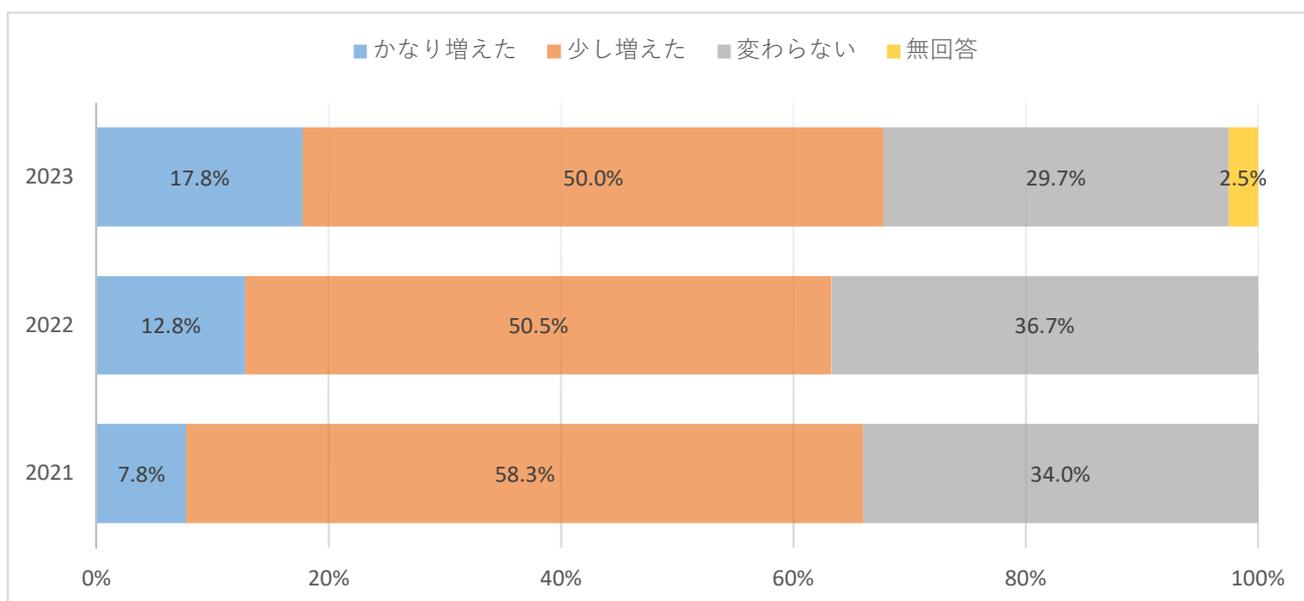
(3) 施設



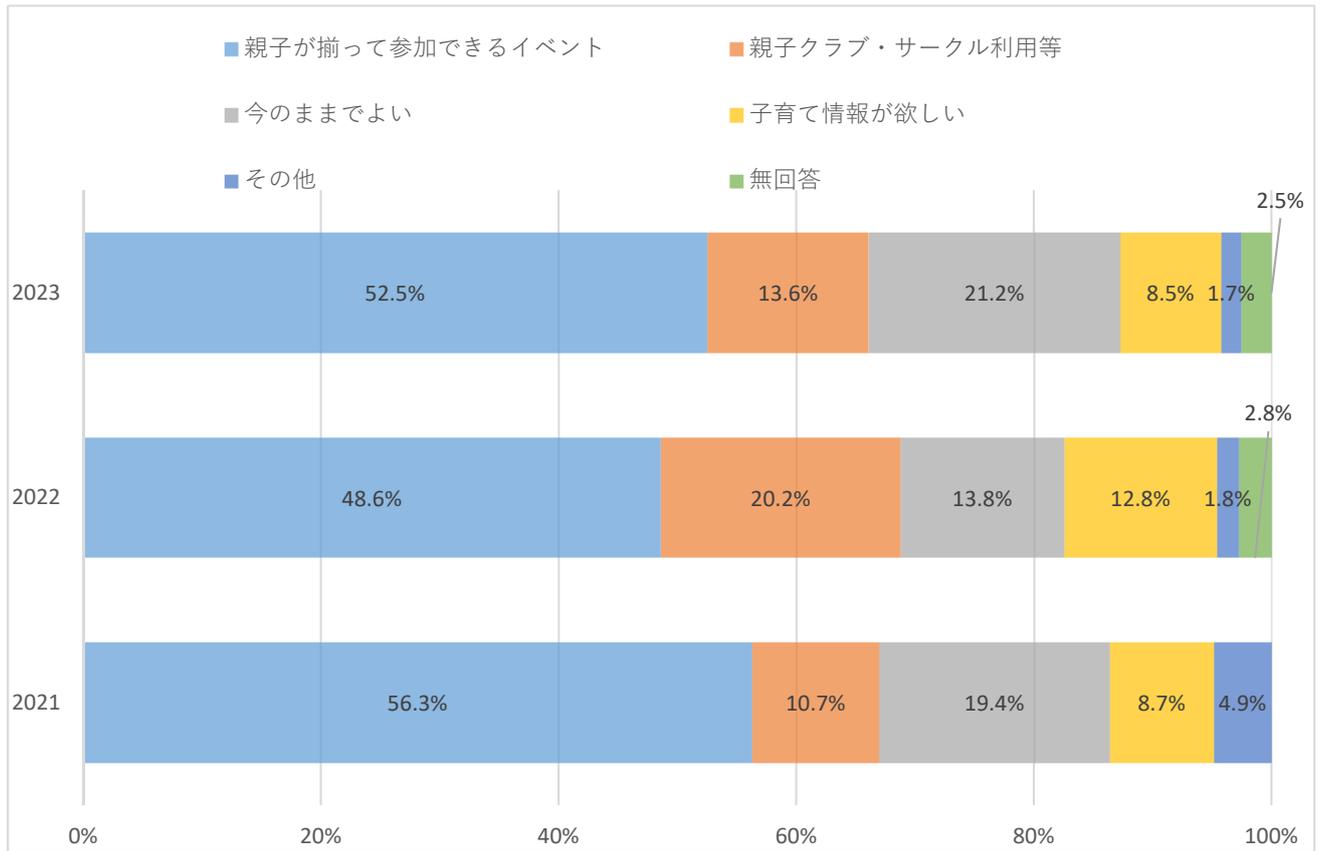
(4) 支援員の対応



(5) 利用により新しい知人が増えたか



(6) 増やしてほしいサービス



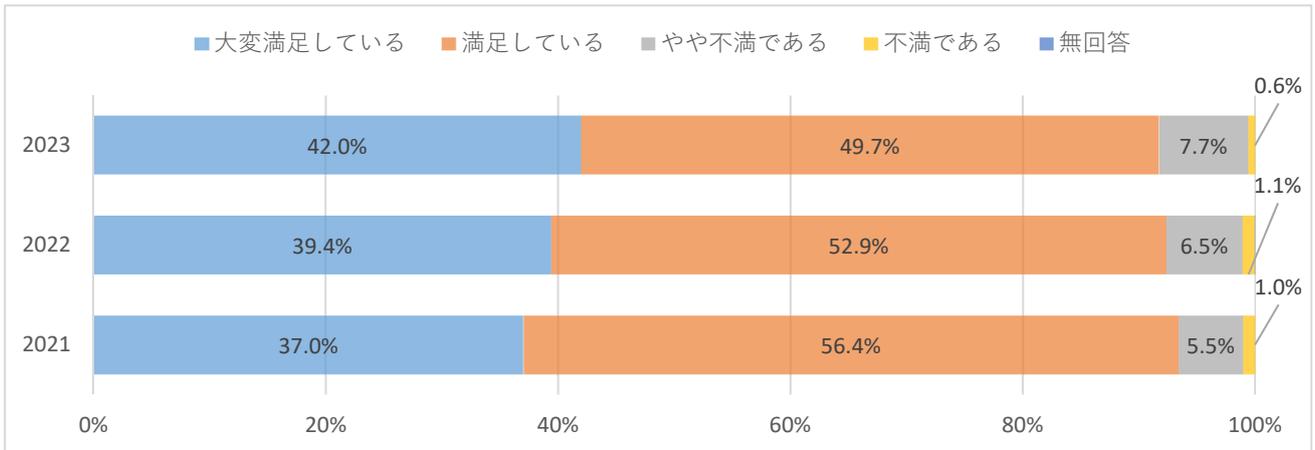
⑥学童保育

	【公設学童保育所 212 箇所】	【民設学童保育所 38 箇所】
1 調査方法	学童保育所を通じて、二次元コードを記載したこども用と保護者用の調査票を配布、もしくは利用者の保護者にメール等でWEBサイトを案内し、WEBサイトから回答を収集	学童保育所を通じて、期間中に利用のあった5組の親子を対象に二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集。
2 調査期間	2024年4月	2024年7月
3 回収率	(1) 保護者 回収数 277 / 配布数— (回収率—) (2) こども 回収数 277 / 配布数— (回収率—)	(1) 保護者 回収数 73 / 配布数 146 (回収率 50.0%) (2) こども 回収数 43 / 配布数 146 (回収率 29.5%)

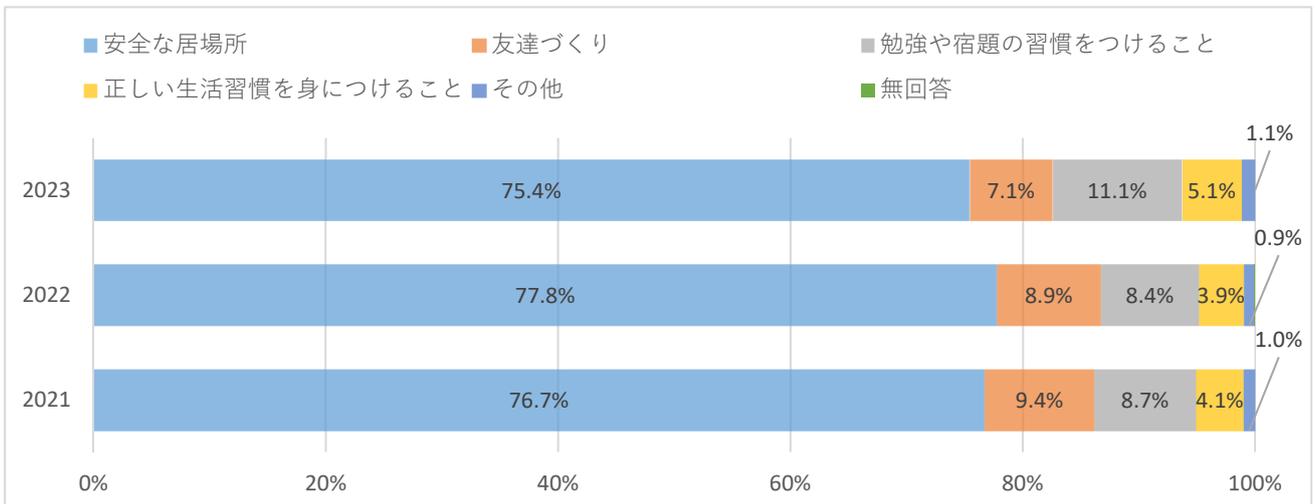
※公設学童保育所については「児童館の指定管理者による管理運営状況の評価に関するアンケート」を活用

4 調査結果（保護者用）

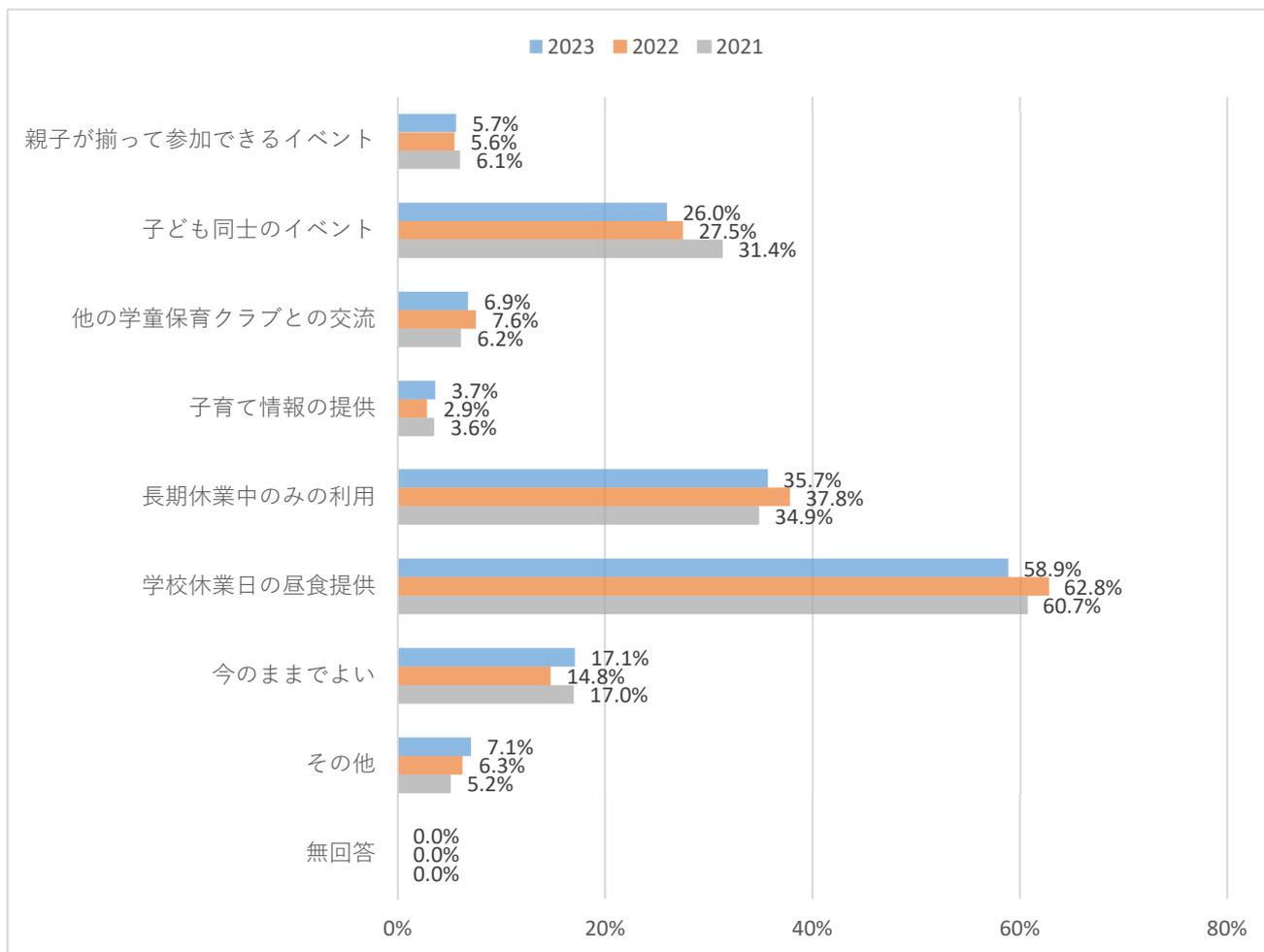
(1) サービス内容



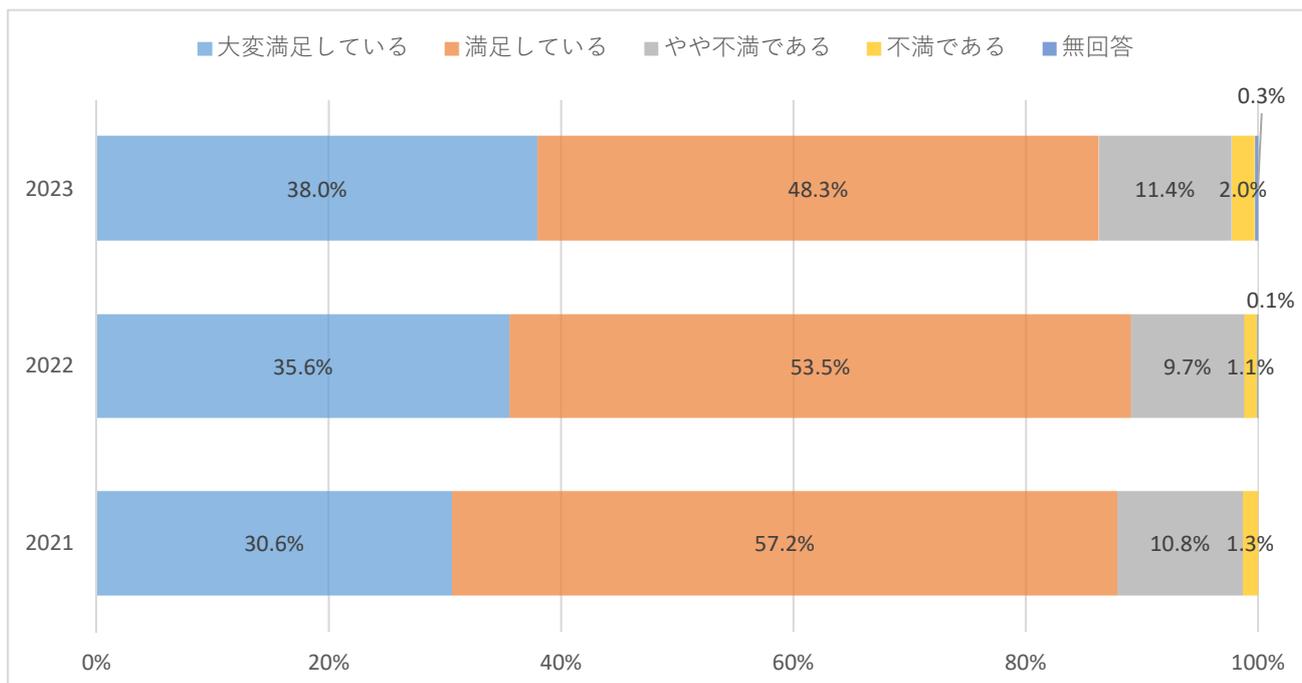
(2) 学童保育に期待していること



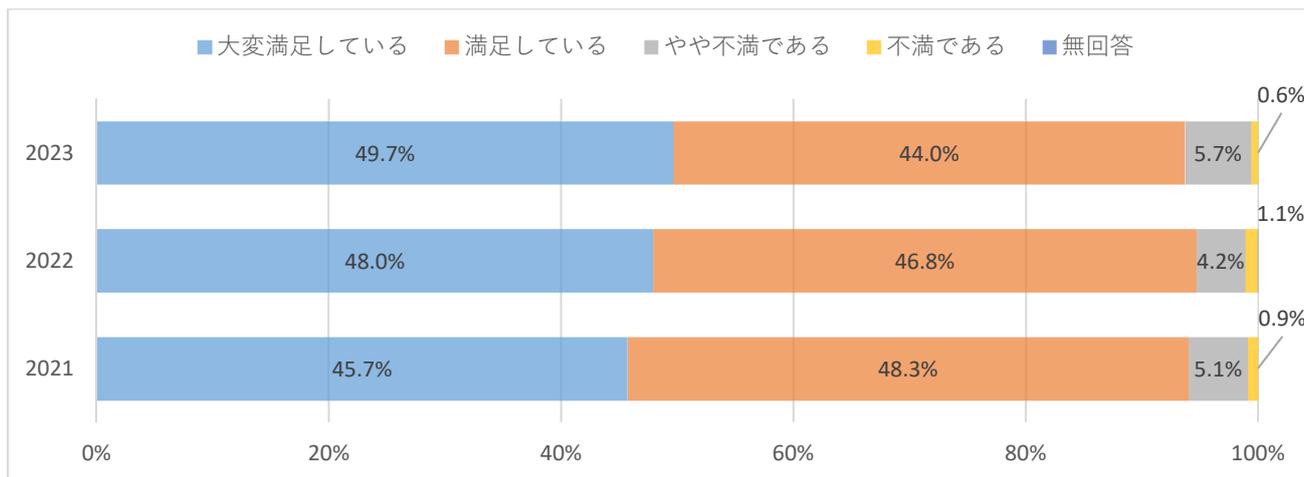
(3) 増やしてほしいサービス（複数回答）



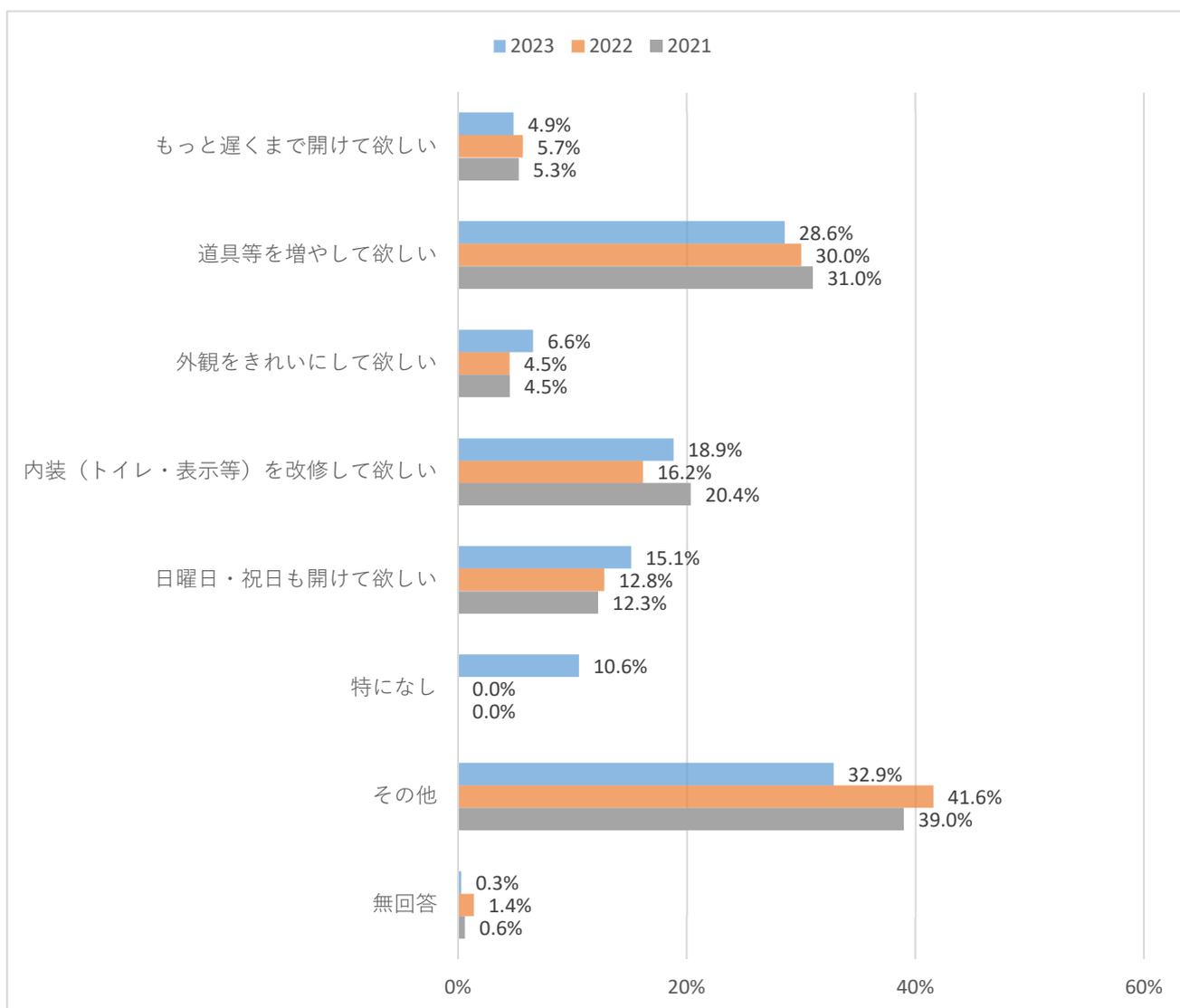
(4) 施設



(5) 職員の対応



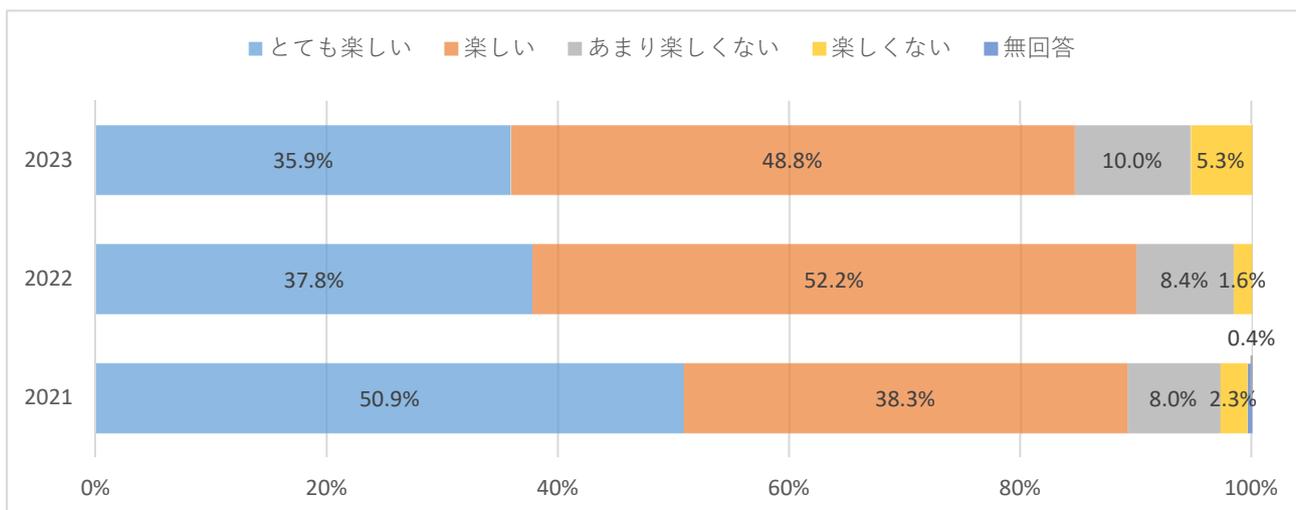
(6) 利用に関する要望（複数回答）



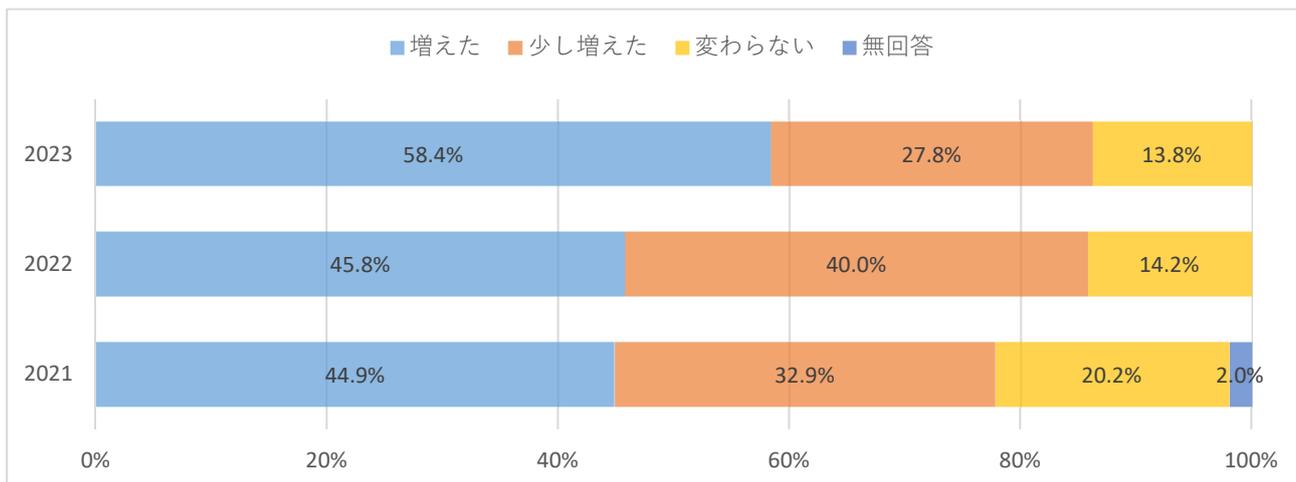
※「特になし」の選択肢は、2023 年度より民設学童保育利用者向けのアンケートに追加。

5 調査結果（こども用）

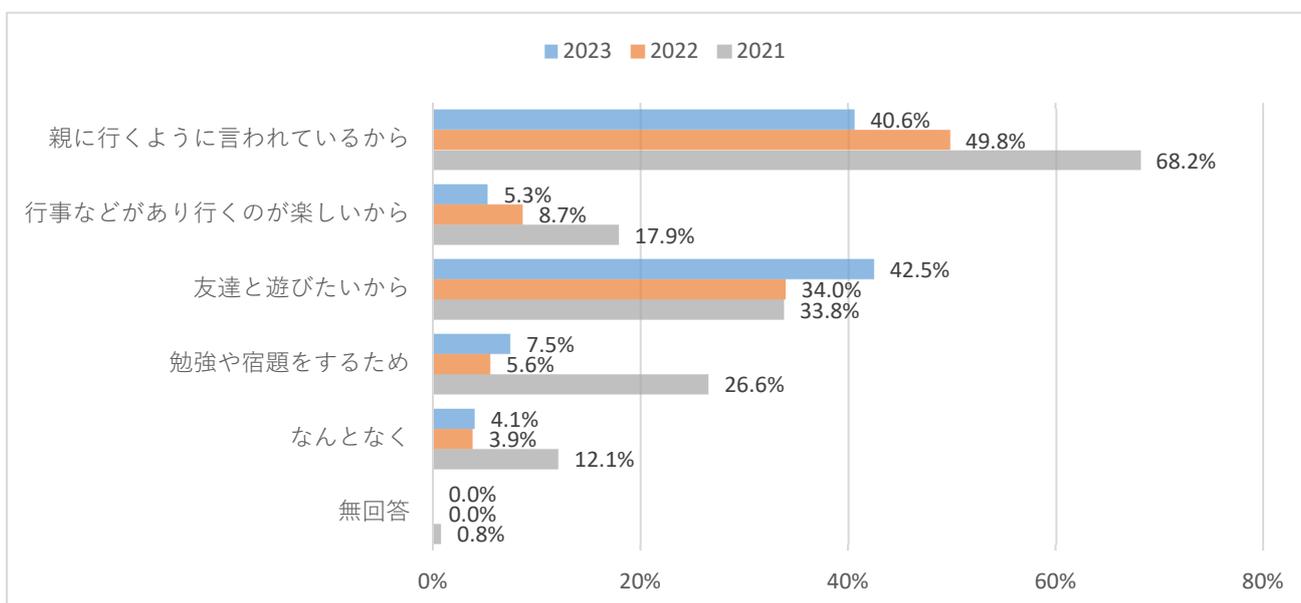
（1）学童に来るのは楽しいか



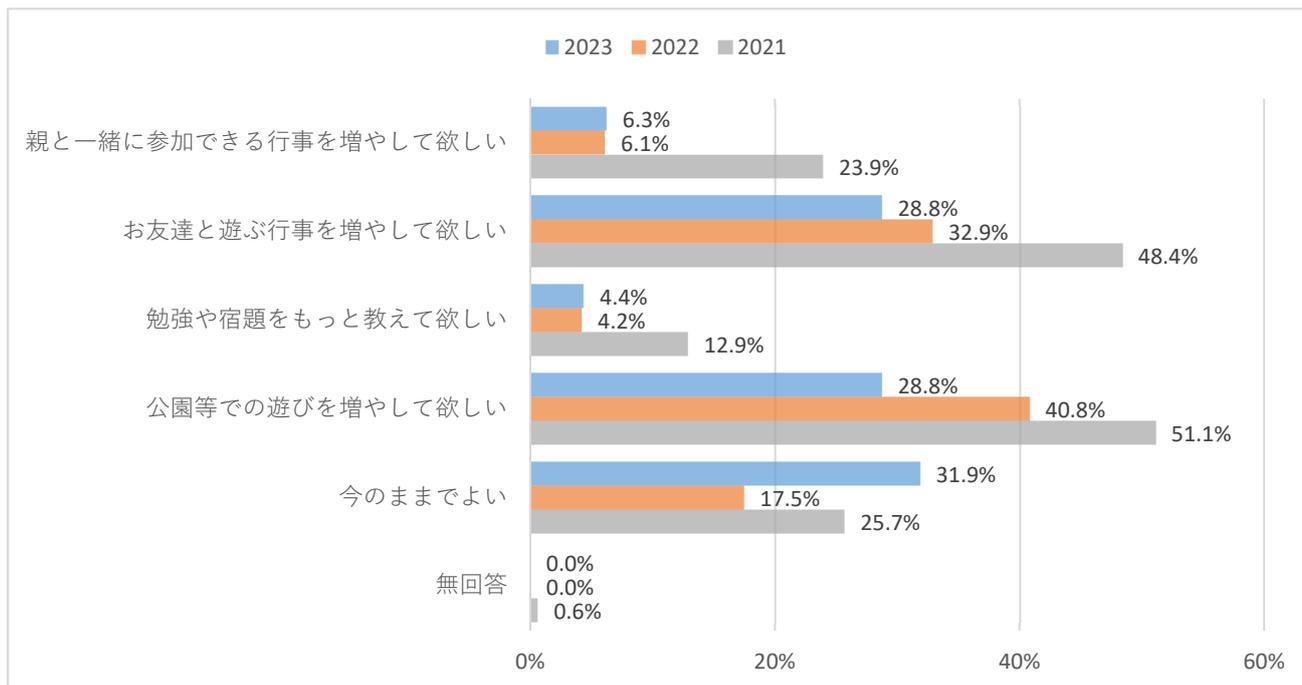
（2）学童で新しい友達は増えたか



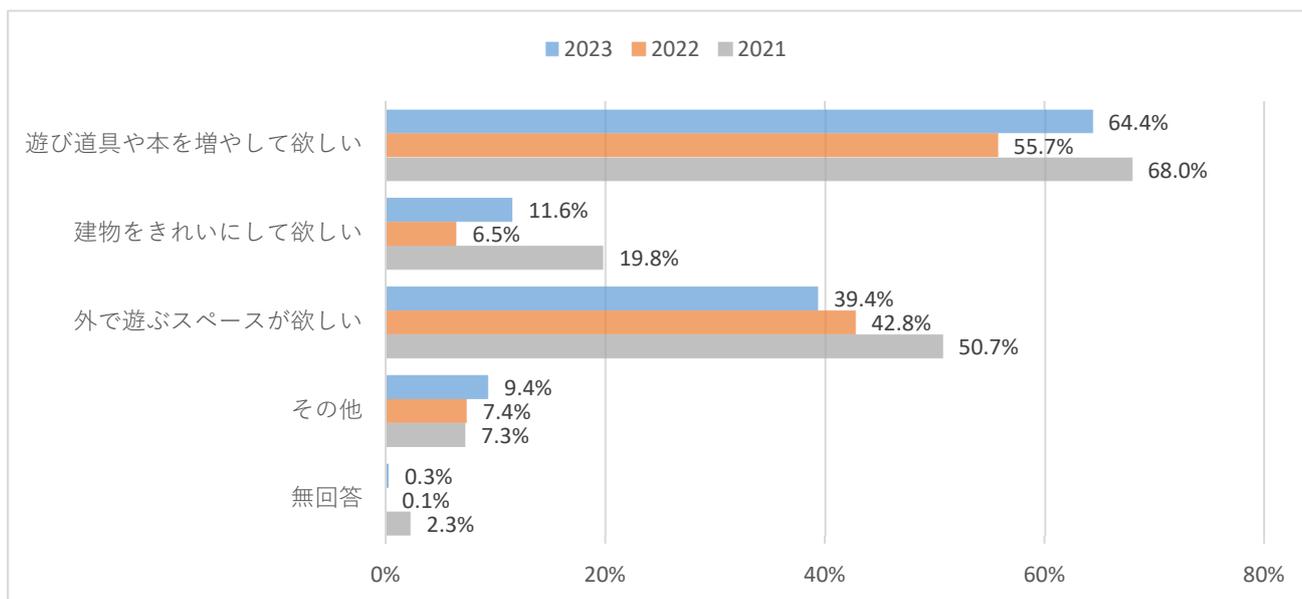
（3）学童に来る理由



(4) 学童にどんなことがあれば楽しいか



(5) 何をしてほしいか（複数回答）



※補足

- ・(3) (4) について

2021年度は複数回答にて調査。

2022年度は、公設学童保育所利用者に対しては単数回答、民設学童保育利用者に対しては複数回答で調査。

2023年度は、公設・民設ともに単数回答で調査。

- ・(5) について

2021年度～2023年度すべての年において複数回答で調査しているが、2022年度の公設学童保育所利用者に対する調査票上に複数回答である旨を記載していなかったため、単数のみ回答している方が9割程度を占めている。

⑦一時預かり（一時保育含む）

1 調査方法

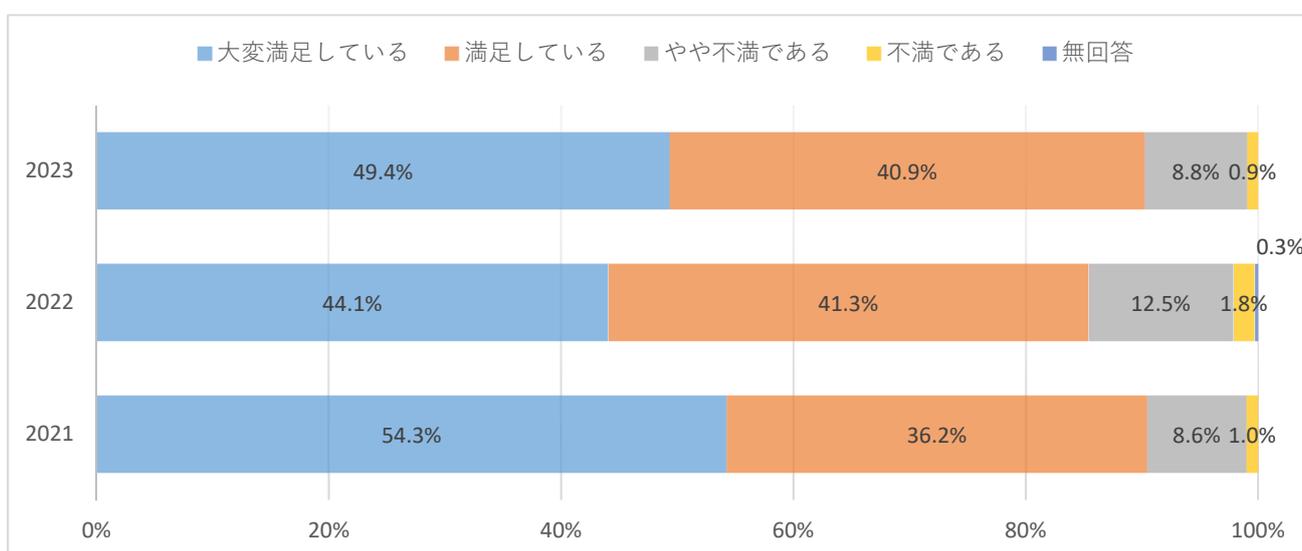
- ・2024年7月、一時預かり（一時保育含む）実施園（保育所（園）、認定こども園、小規模保育、事業所内保育）366園で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 318／配布数 562（回収率 56.6%）

2 回答者の基本情報

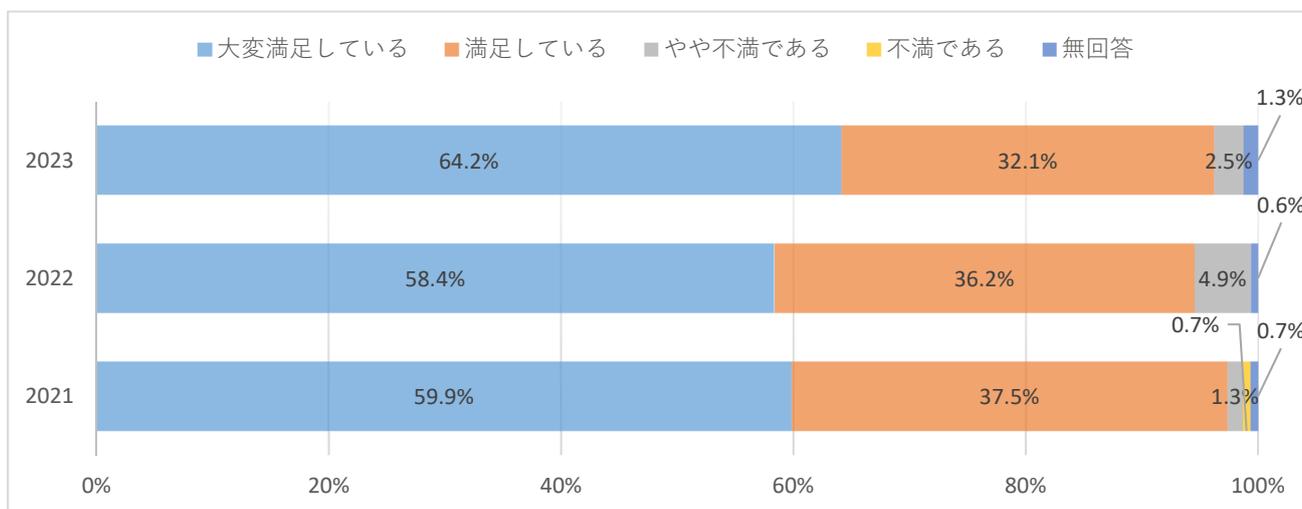
- ・利用者の就業状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「パート」が4割弱、「働いていない」が4割強、「フルタイム」が2割弱となっている。

3 調査結果

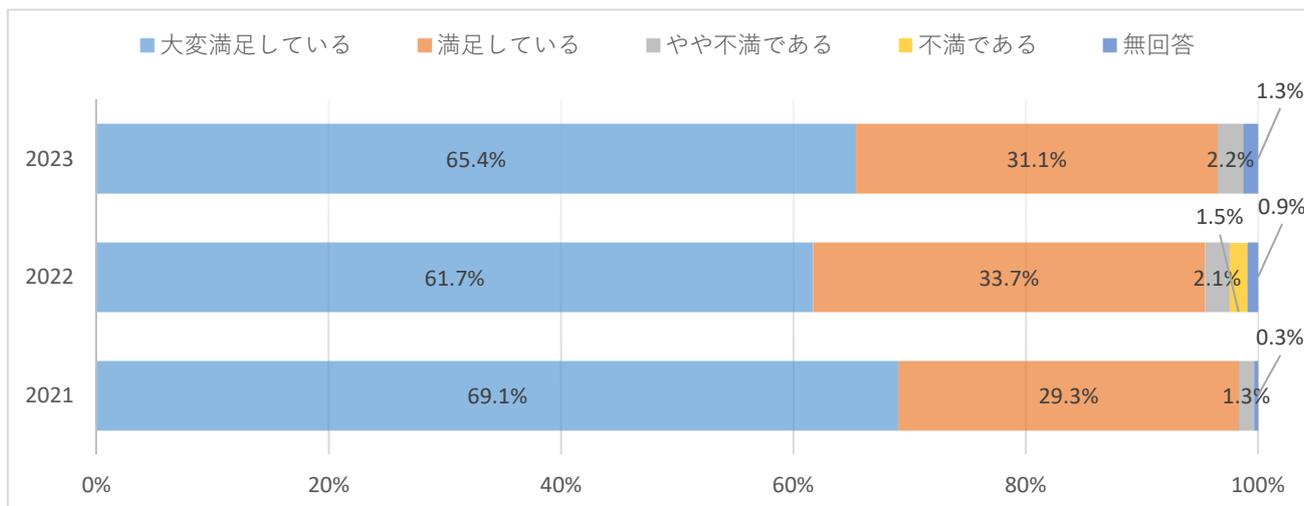
（1）サービス内容



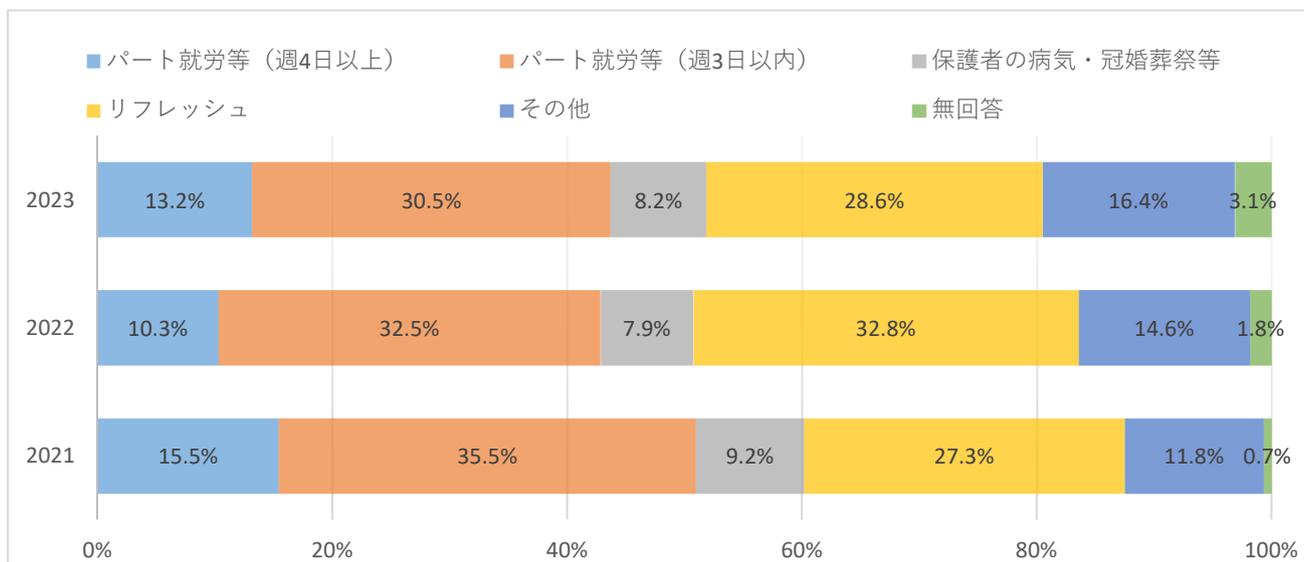
（2）施設



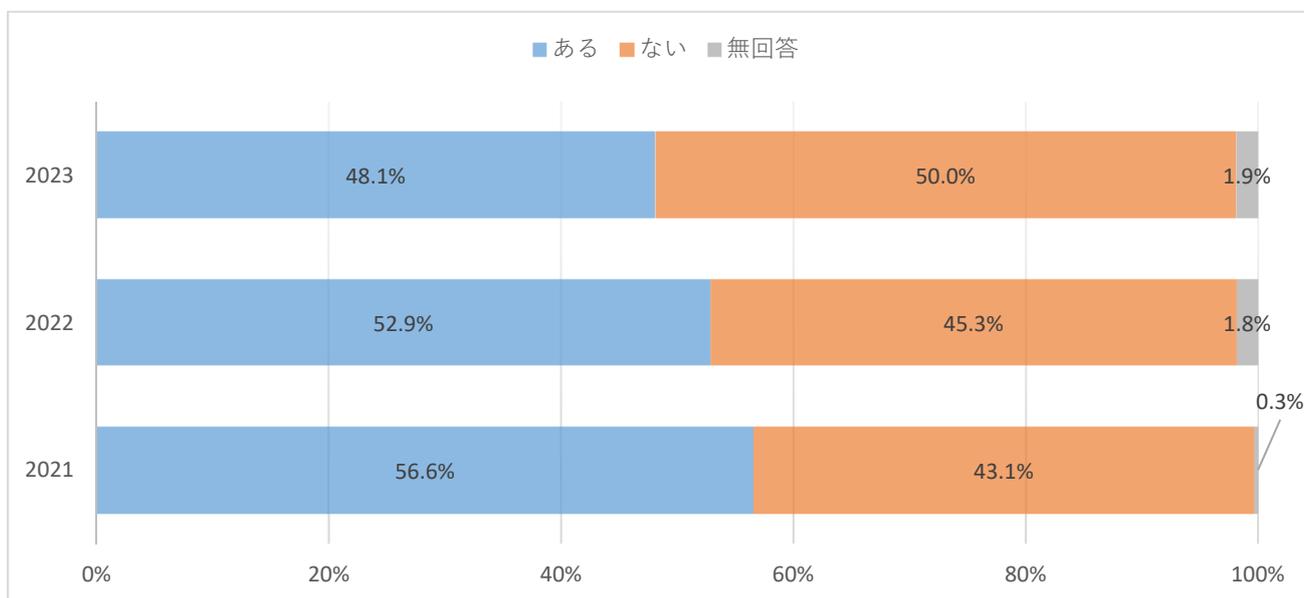
(3) 職員の対応



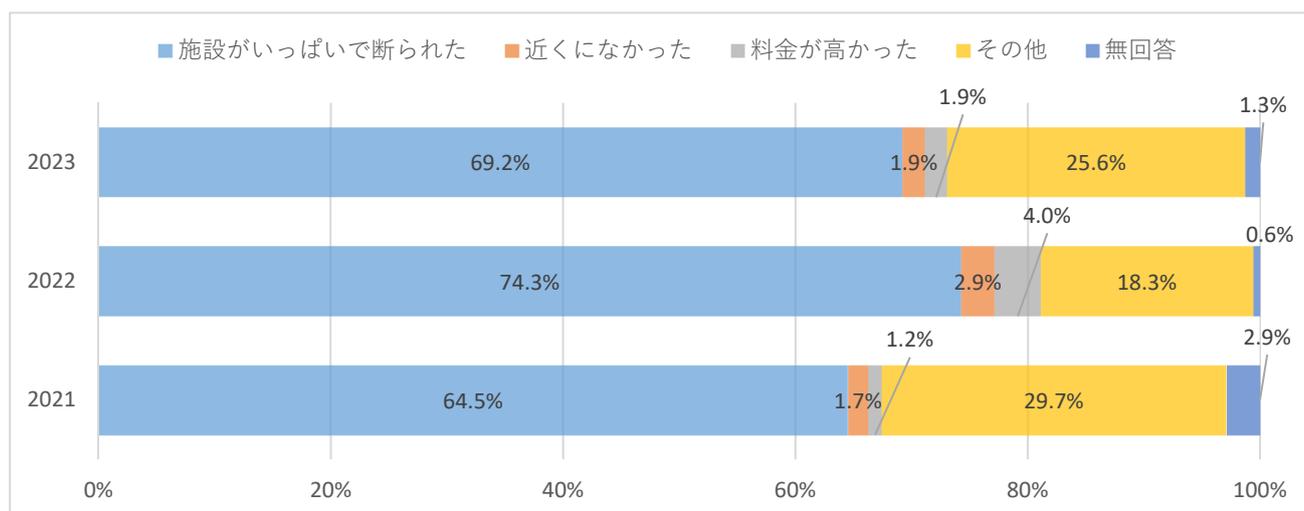
(4) 一時保育を利用した理由



(5) 一時保育を利用できず困ったこと



(5-2) 「ある」と回答した人のうち、利用できなくて困った理由



⑧子育てリフレッシュステイ

1 調査方法

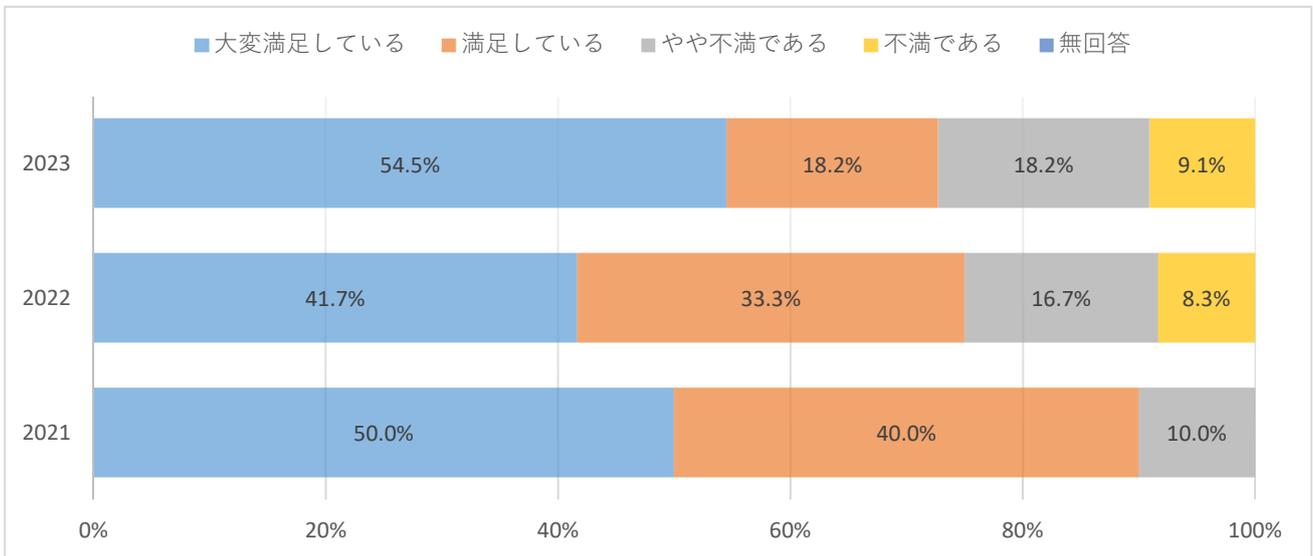
- ・2024年7月、子育てリフレッシュステイを実施している施設（児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設）24箇所、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数11／配布数33（回収率33.3%）

2 回答者の基本情報

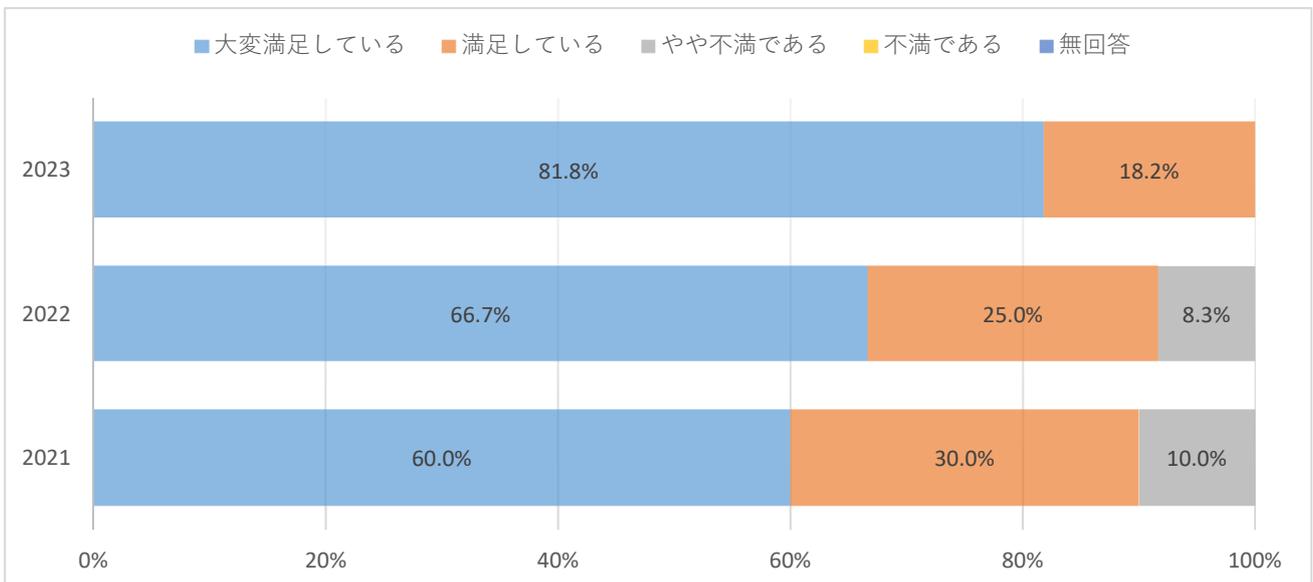
- ・利用者の就業状況について、父親は「フルタイム」が5割強、「いない」が3割弱であり、母親は「フルタイム」が3割弱、「働いていない」が4割強、「パート」が3割弱となっている。

3 調査結果

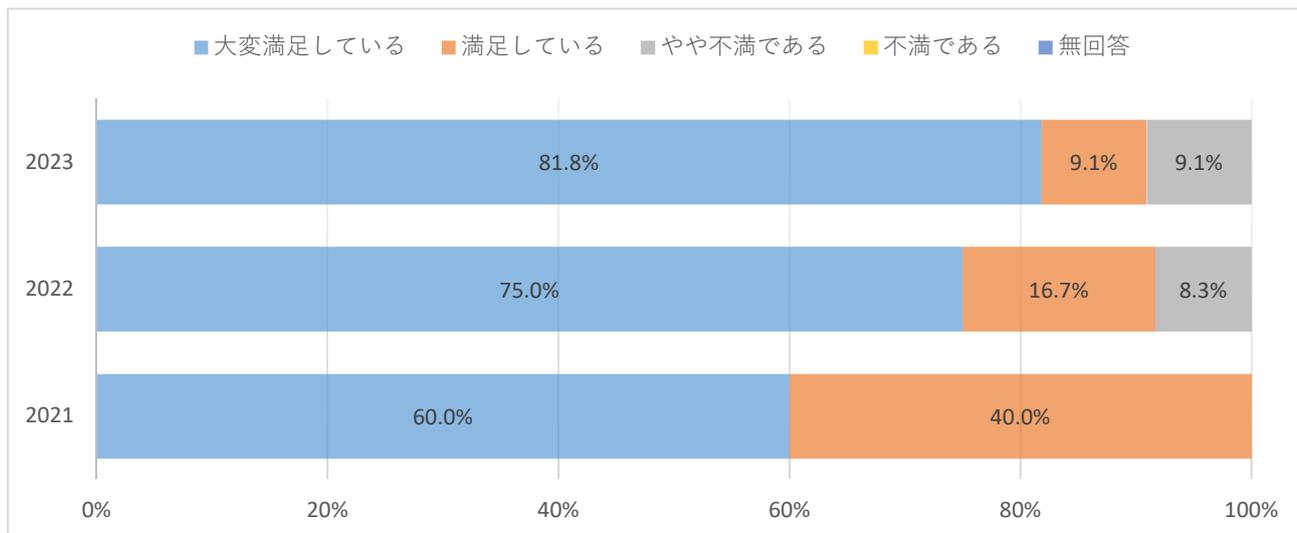
（1）サービス内容



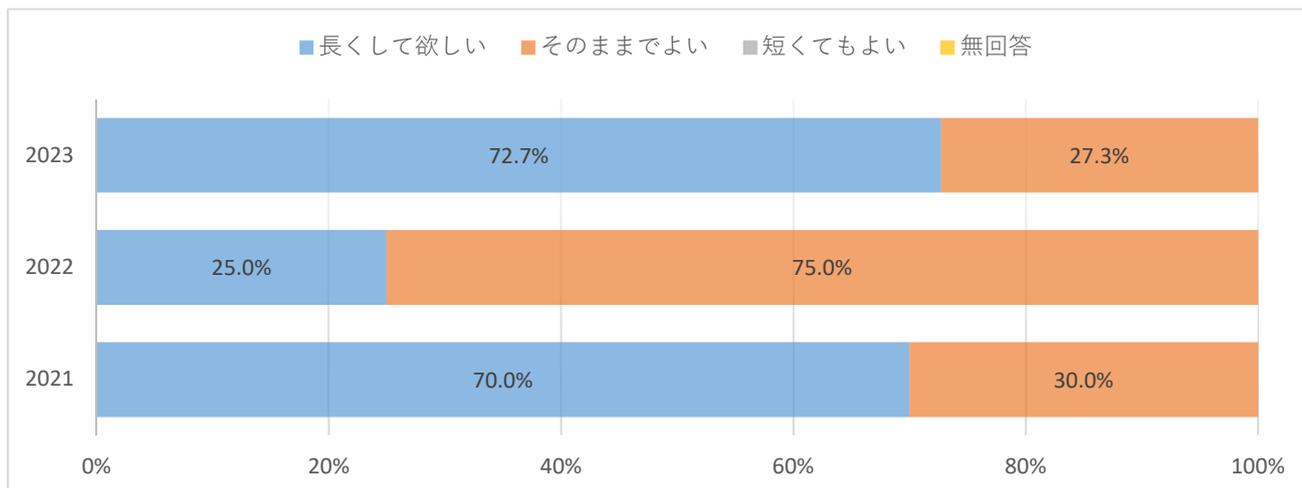
（2）施設



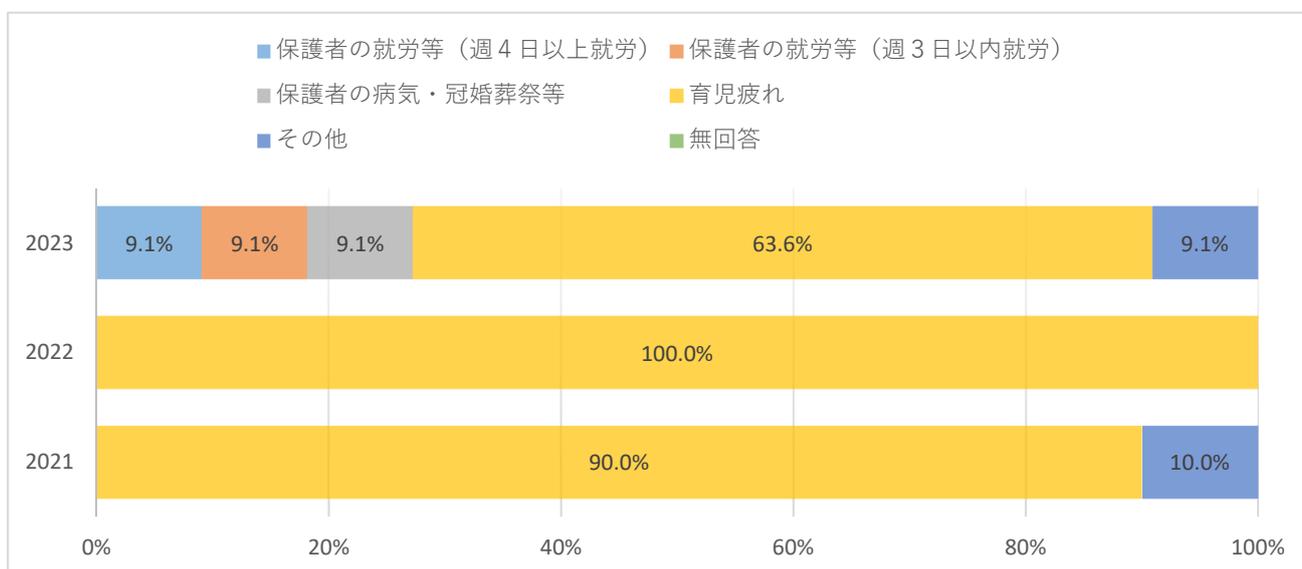
(3) 職員の対応



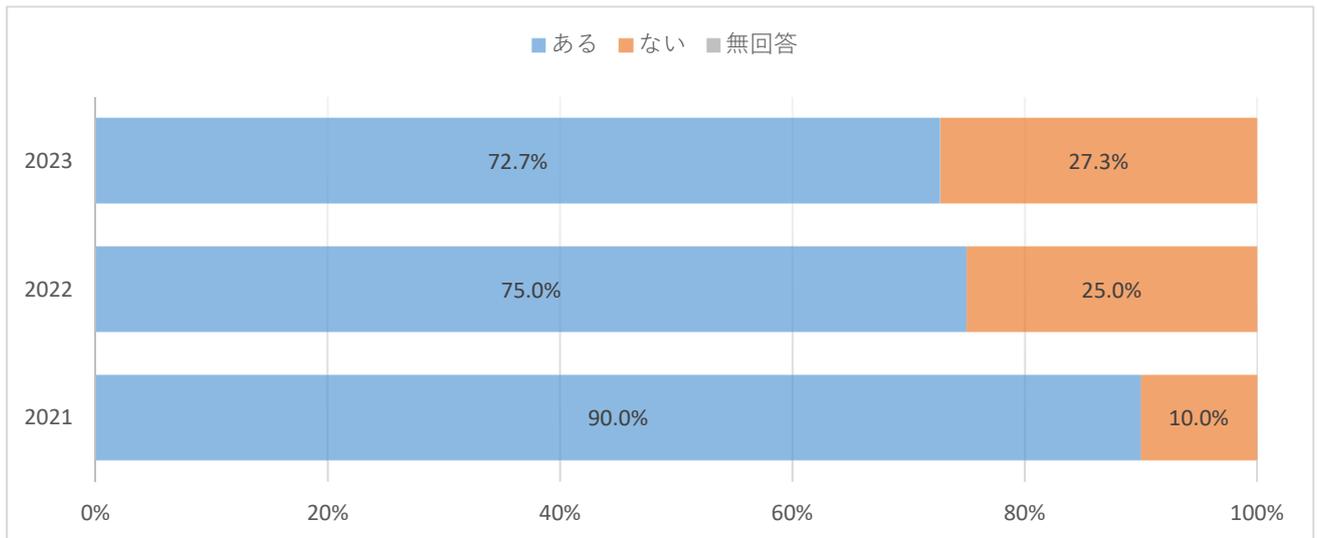
(4) 月10日間の利用上限



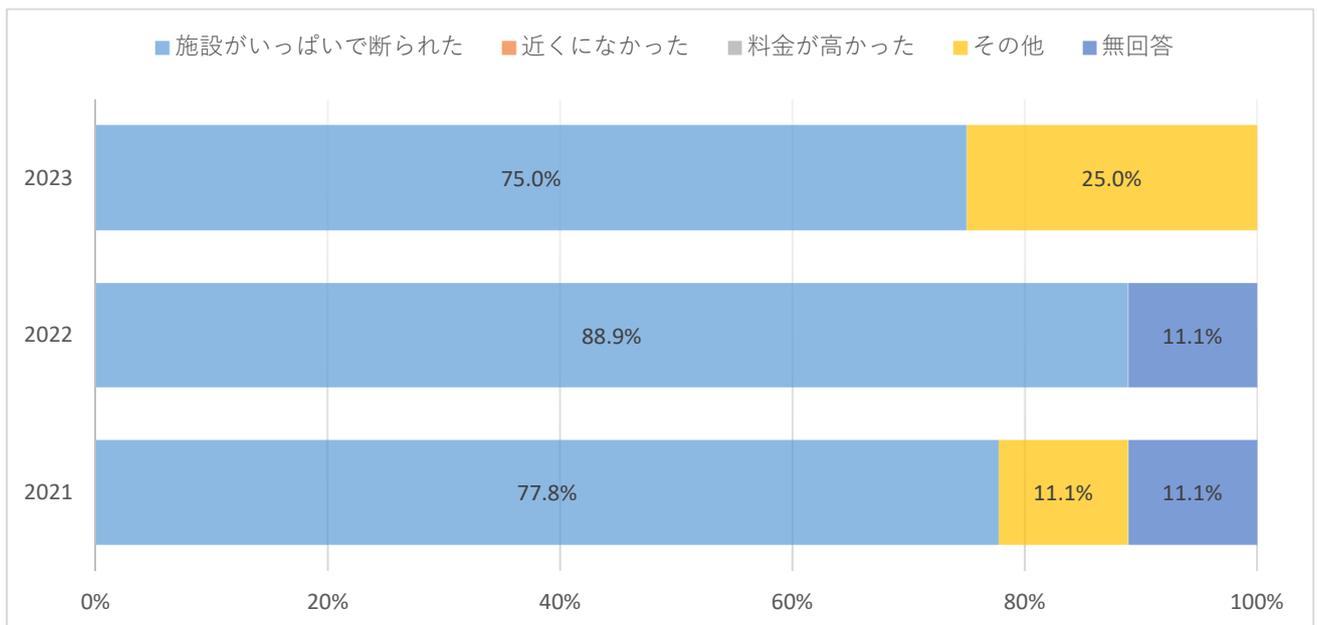
(5) 子育てリフレッシュステイを利用した理由



(6) 利用できなくて困ったこと



(6-2) 「ある」と回答した人のうち、利用できなくて困った理由



⑨病児保育

1 調査方法

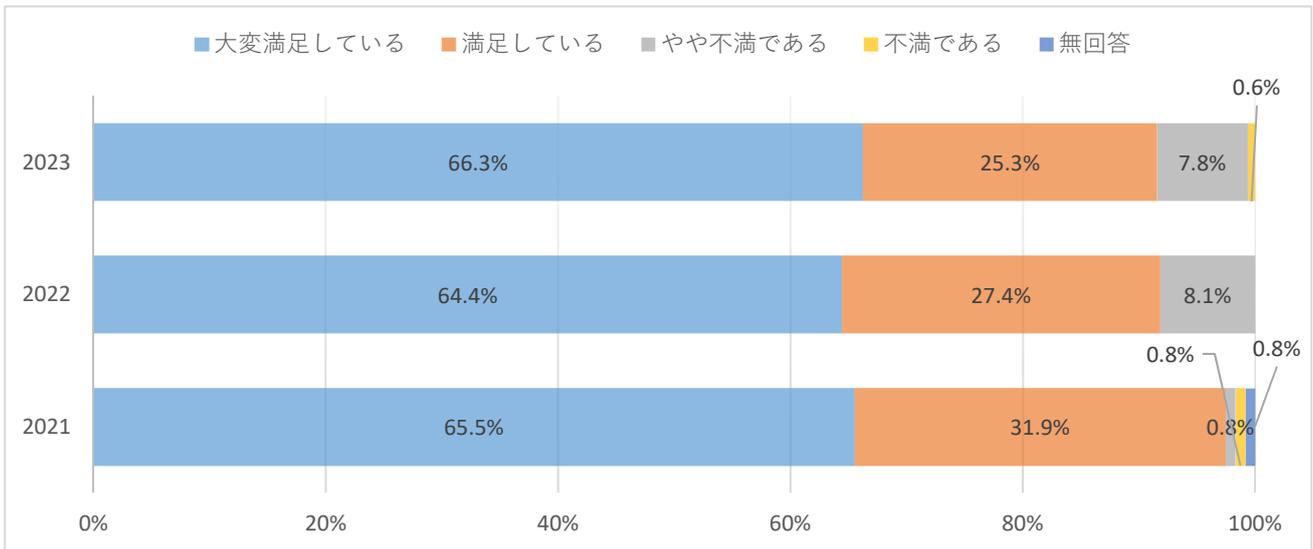
- ・2024年7月、病児保育を実施している全施設（22箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 166／配布数 414（回収率 40.1%）

2 回答者の基本情報

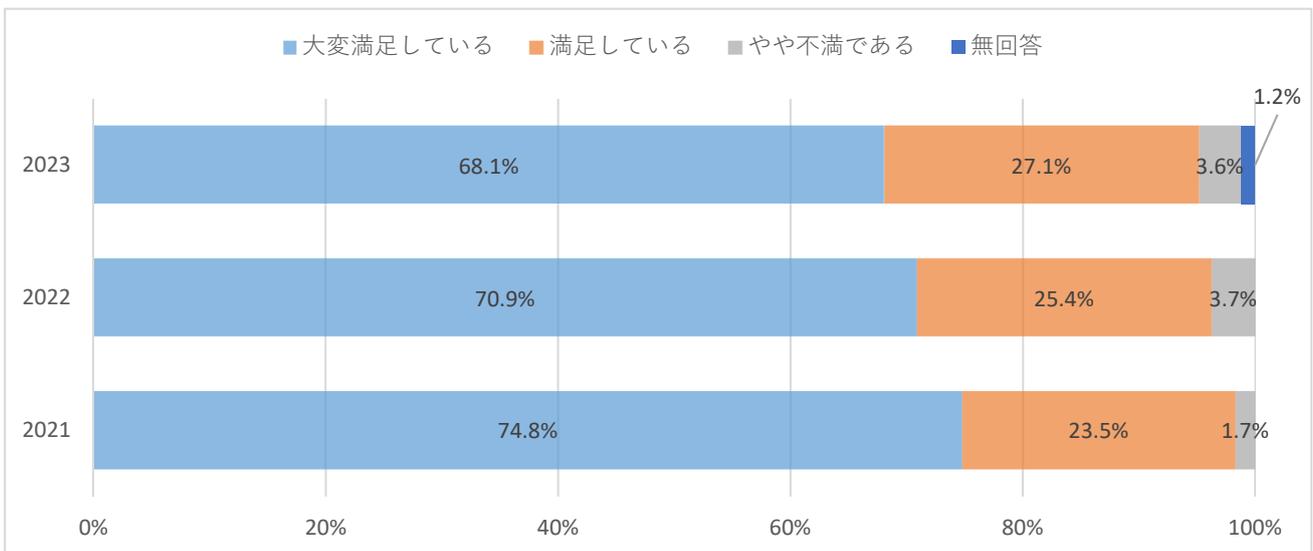
- ・利用者の就業状況は、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親も「フルタイム」が大半であり、「パート」が約2割となっている。

3 調査結果

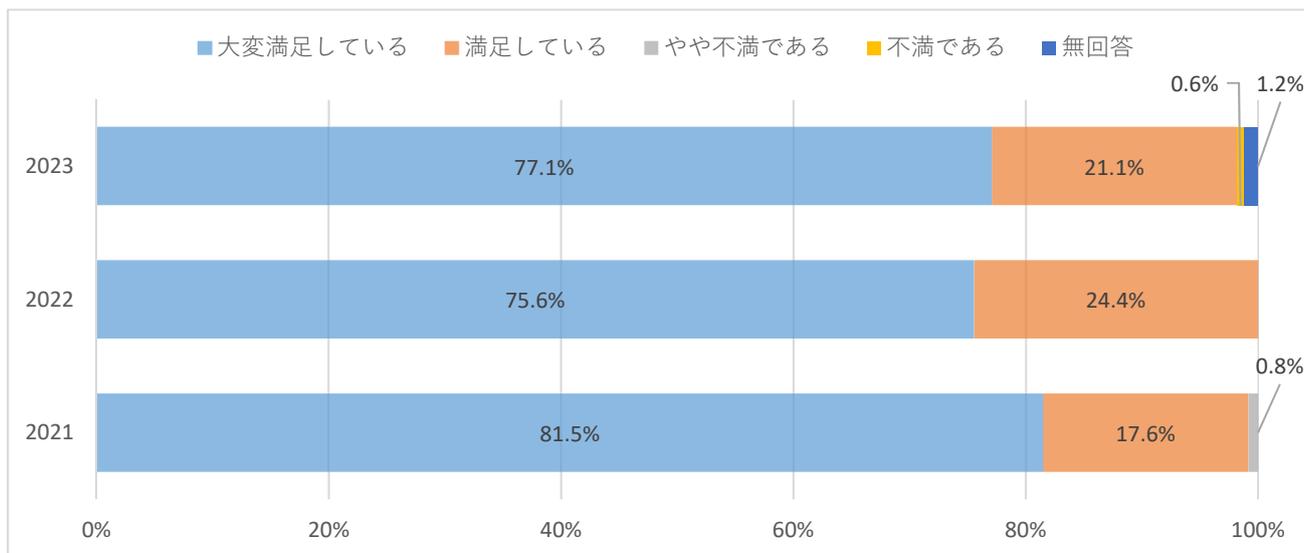
（1）サービス内容



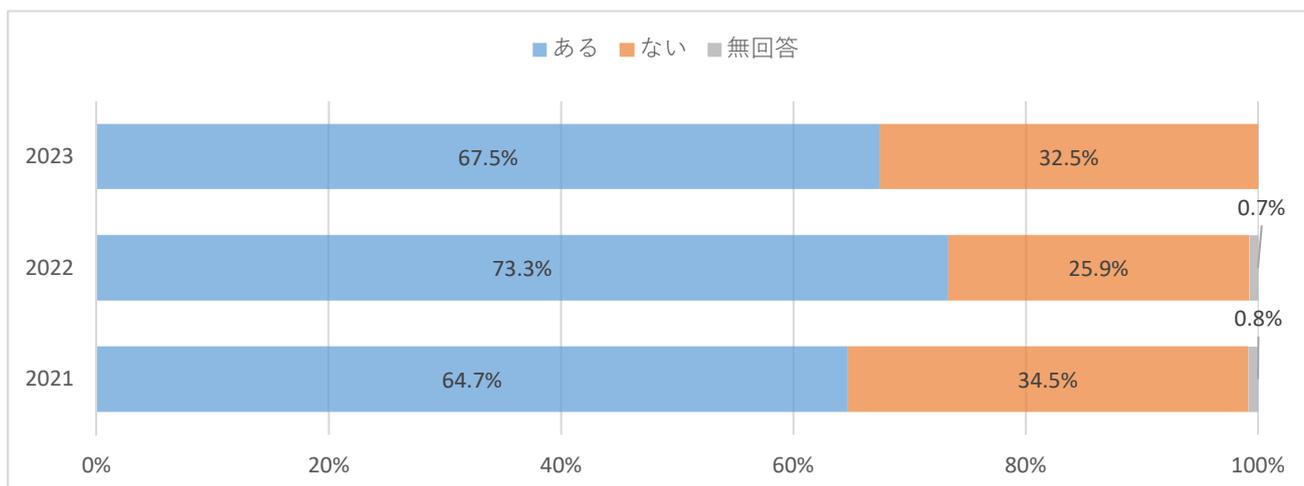
（2）施設



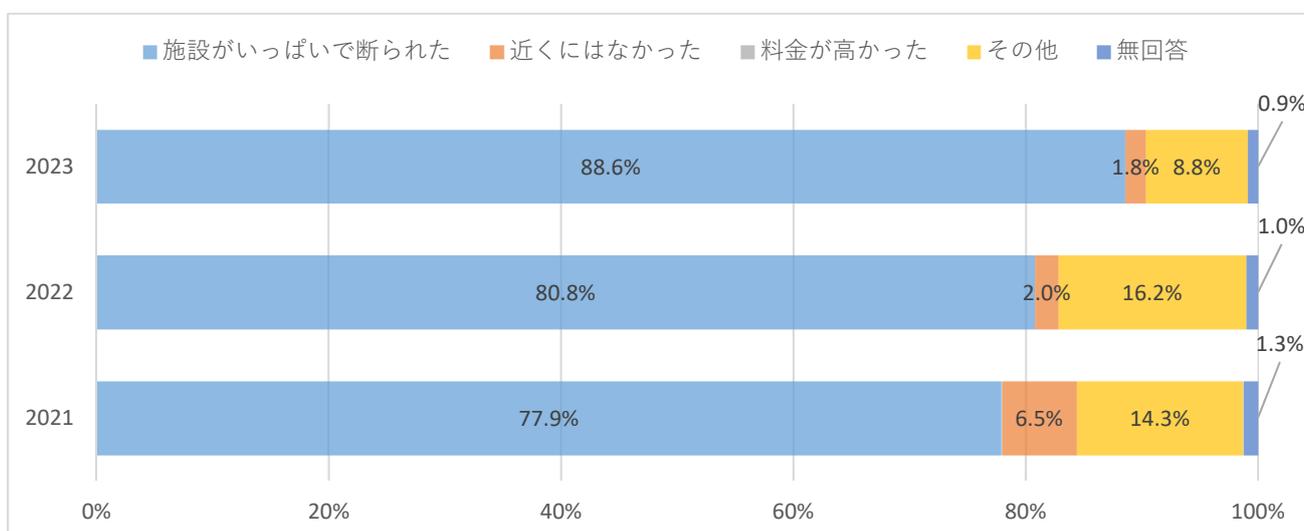
(3) 職員の対応



(4) 病児保育を利用できなくて困ったことはあるか



(4-2) 「ある」と回答した人のうち、利用できなくて困った理由



⑩ファミリー・サポート・センター

1 調査方法

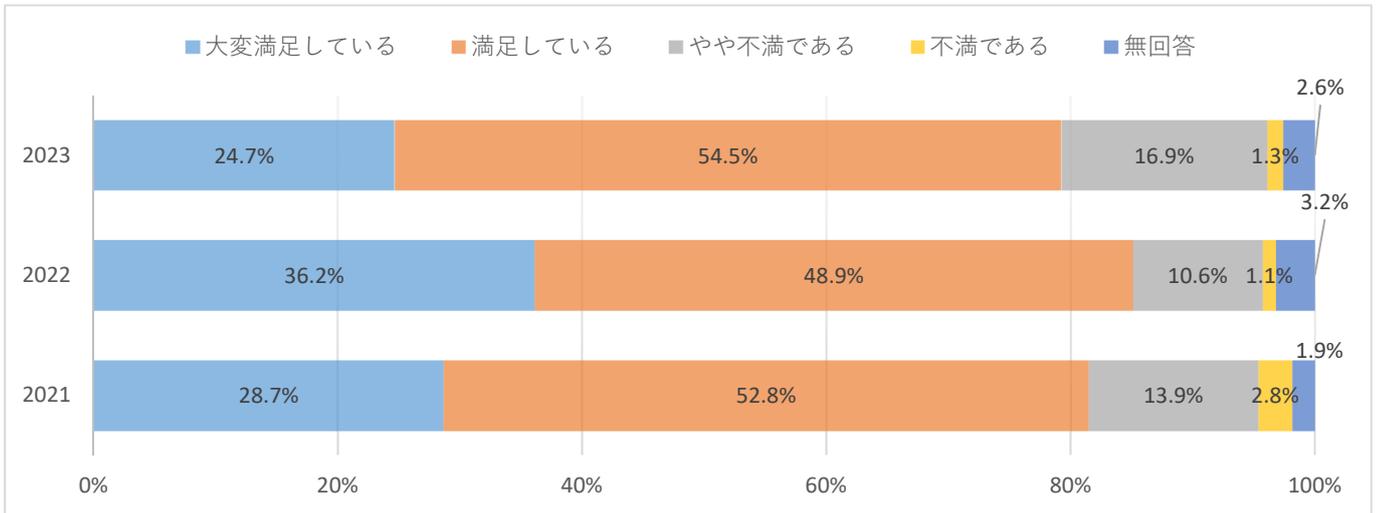
- ・2024年7月、ファミリー・サポート・センター依頼会員(協力会員を兼ねる人を含む)から300名を無作為抽出し、施設を通じて調査期間中の利用者を対象に実施
- ・二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数77/配布数300(回収率25.7%)

2 回答者の基本情報

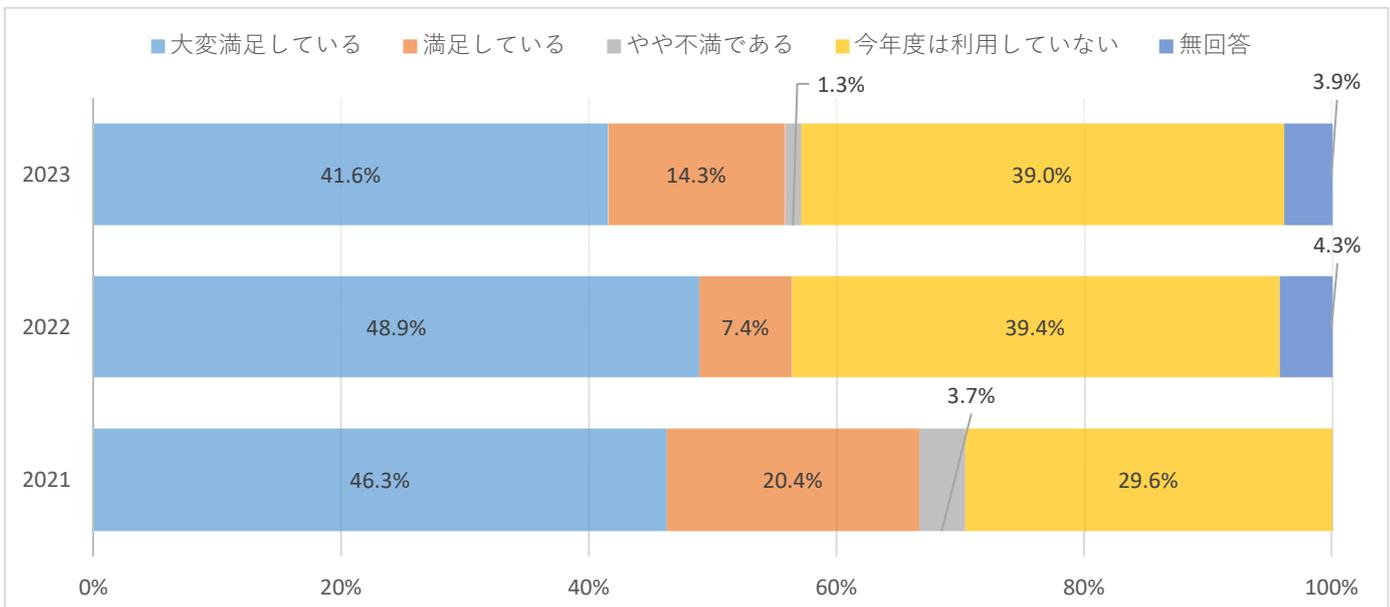
- ・就業状況は、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が約6割、「パート」が2割強、「働いていない」が2割弱となっている。

3 調査結果

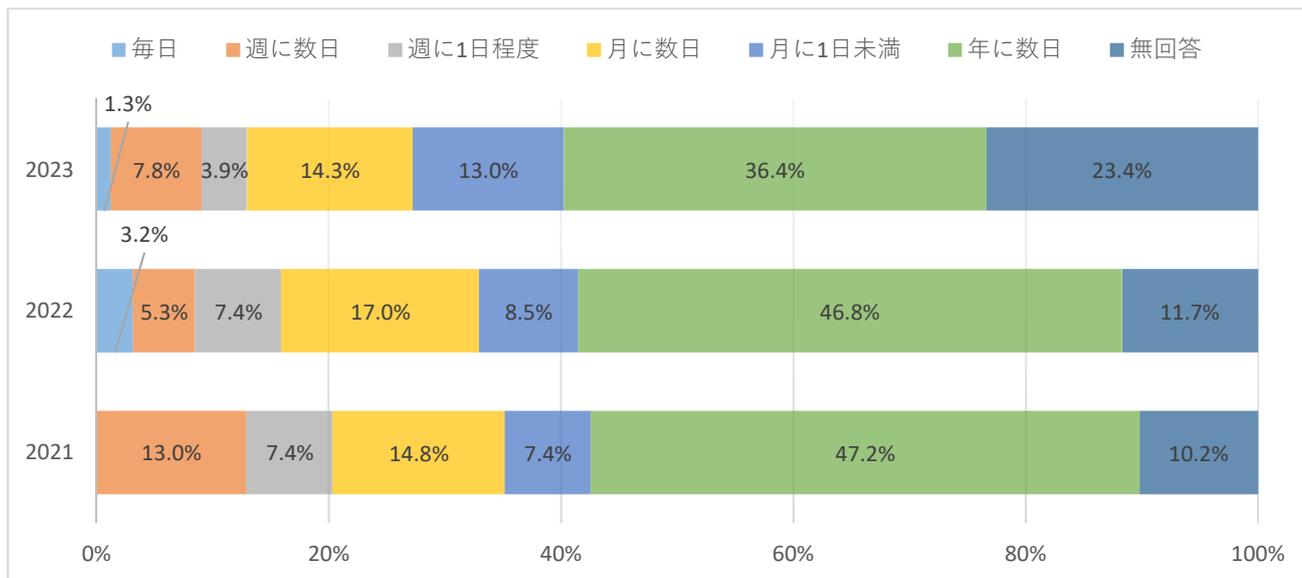
(1) サービス内容



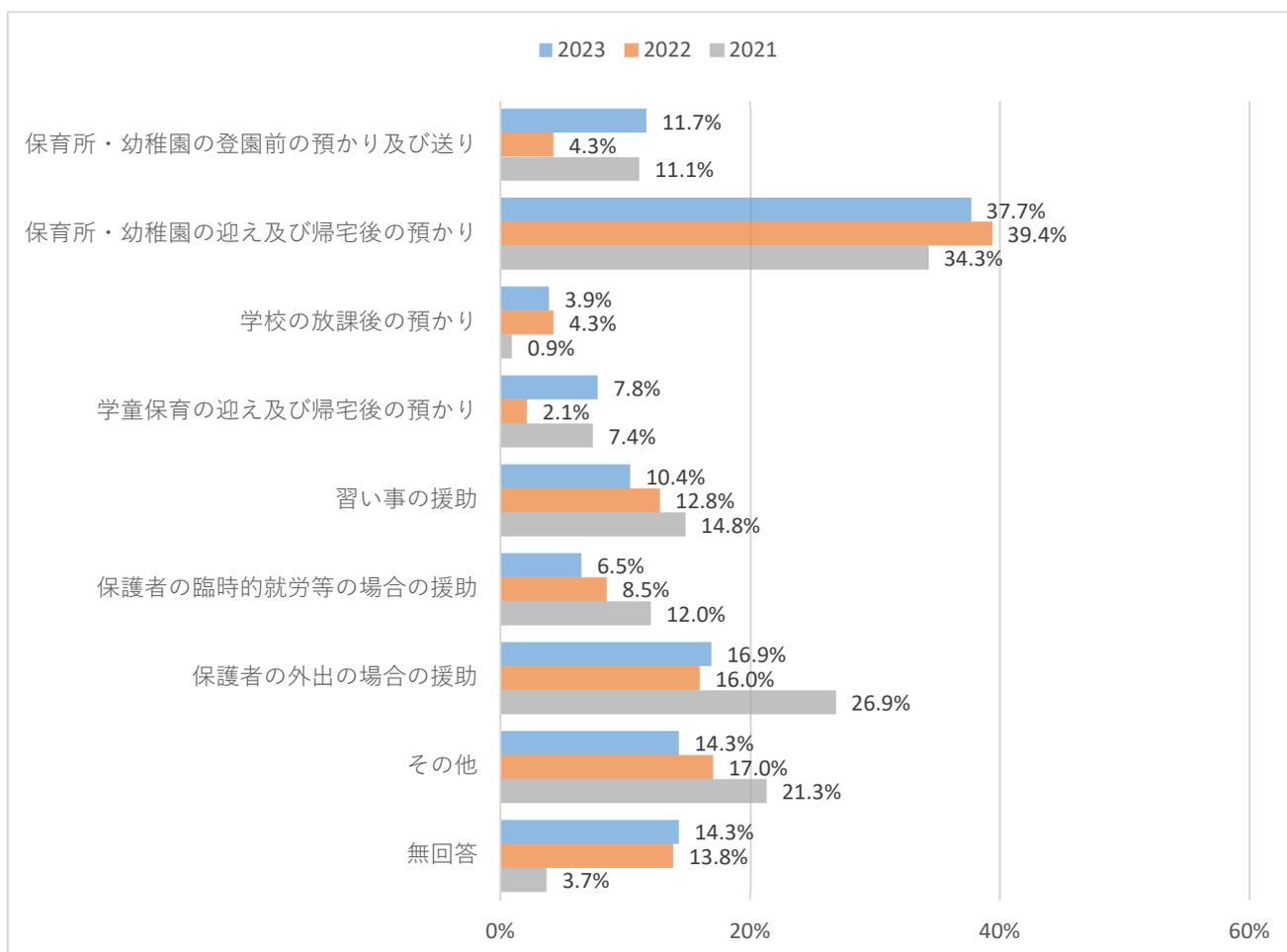
(2) サポートをお願いした協力会員の対応



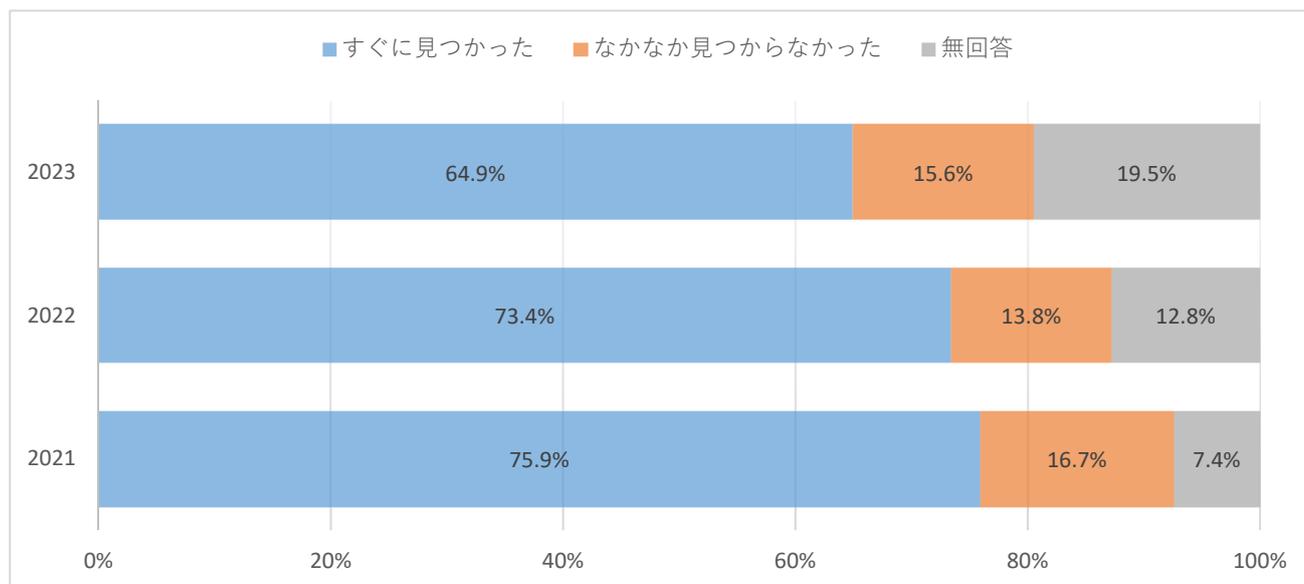
(3) 利用の頻度



(4) 協力会員に依頼した内容



(5) 当初、依頼に合致する協力会員が見つかったか



⑪小規模保育

1 調査方法

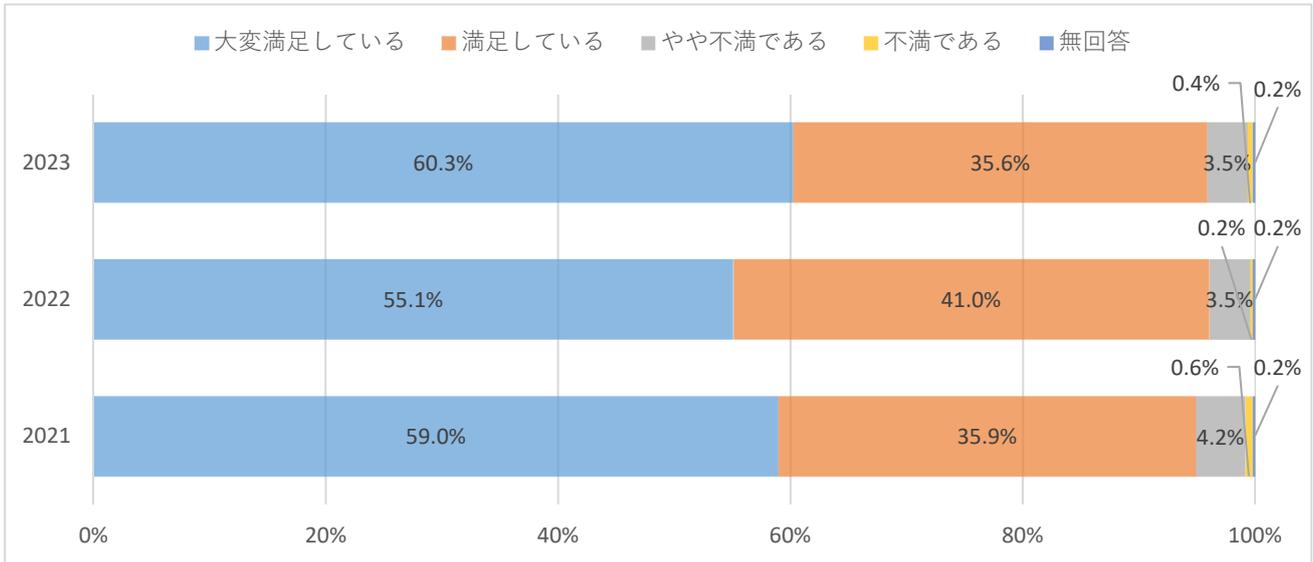
- ・2024年7月、小規模保育を実施している施設（135箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 463／配布数 722（回収率 64.1%）

2 回答者の基本情報

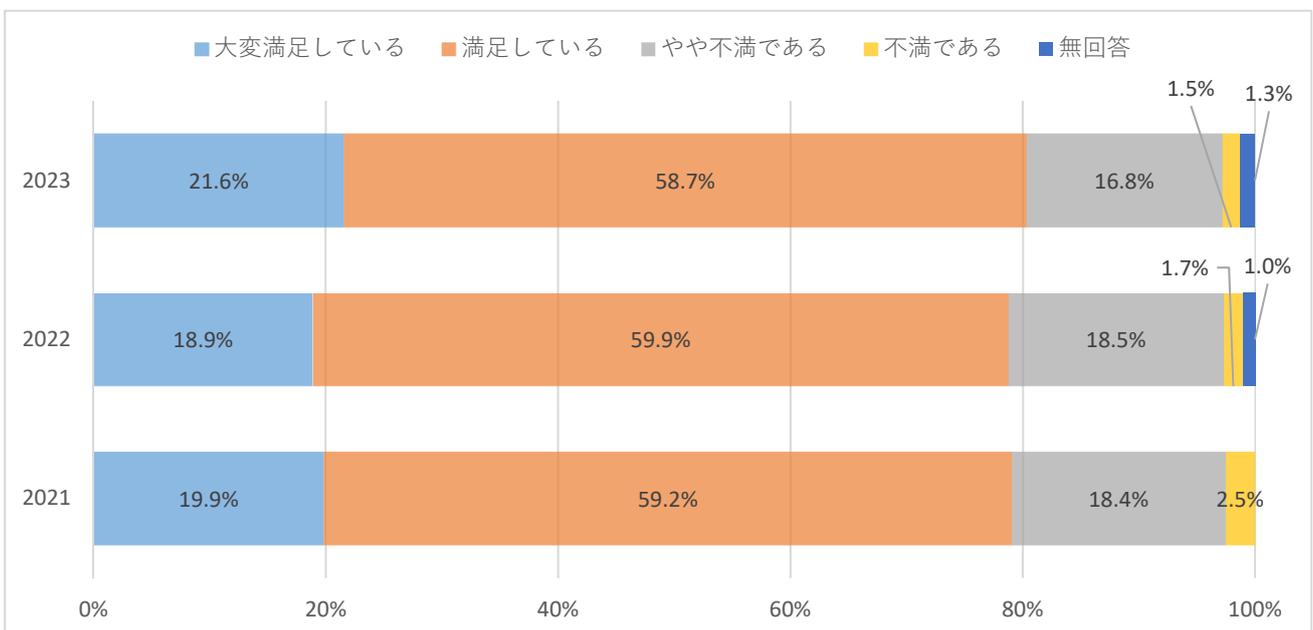
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が6割弱、「パート」が4割弱となっている。

3 調査結果

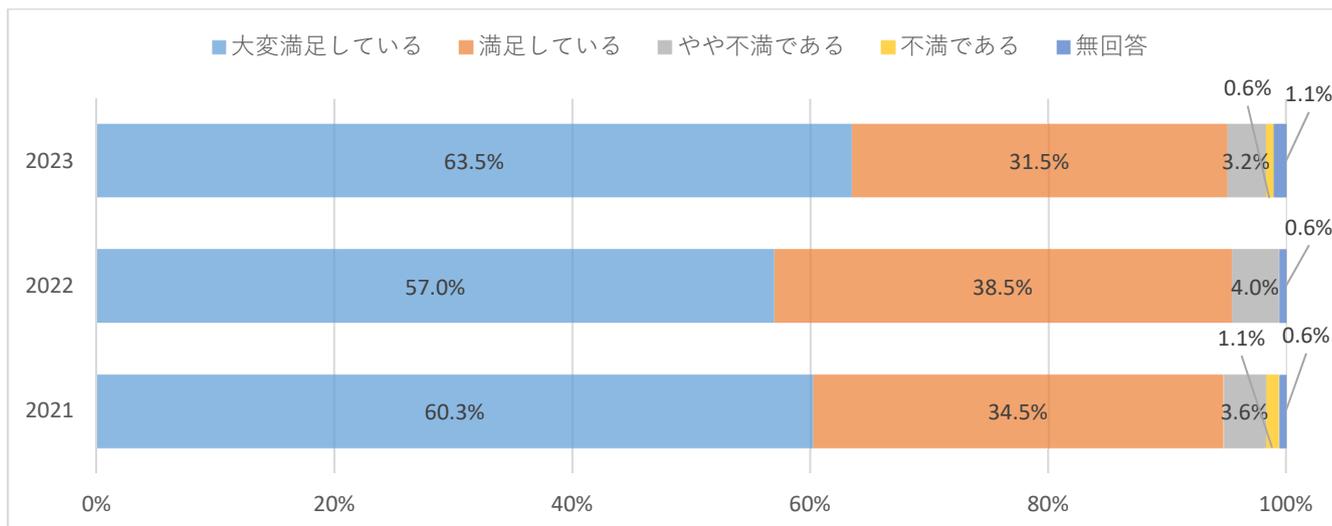
（1）保育内容全般



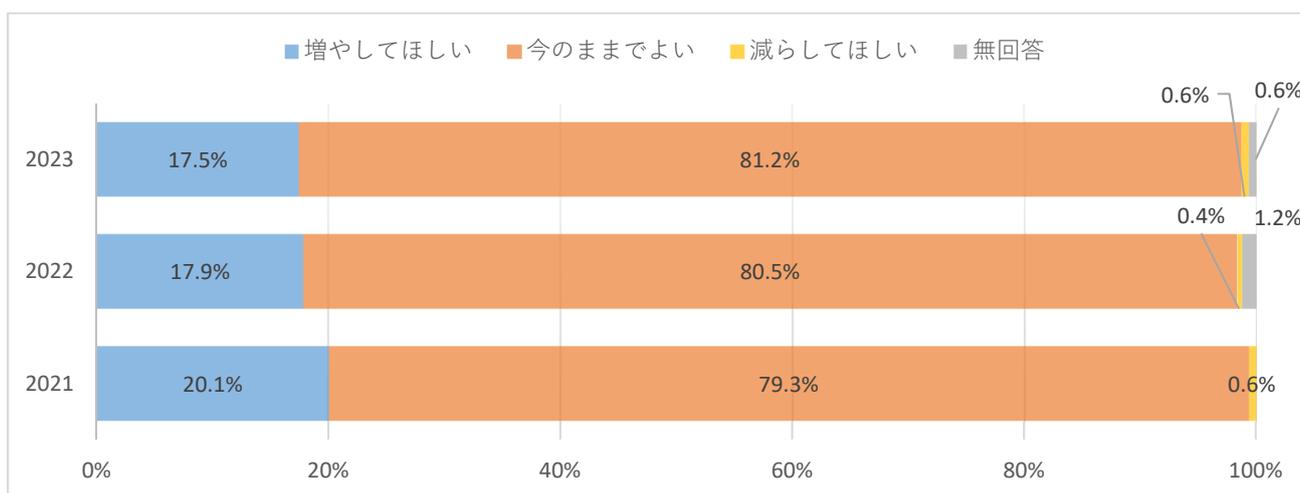
（2）建物や園庭などの施設



(3) 職員の対応

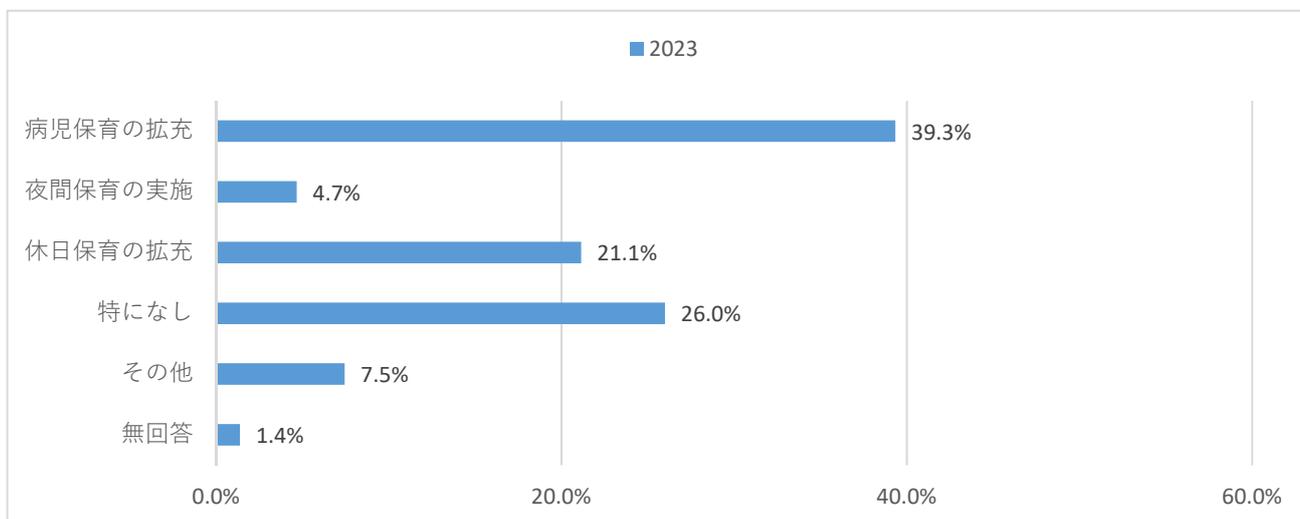


(4) 地域の親子との交流



(5) 今後、特に充実してほしい支援策について（複数回答）

※2023年度より追加



⑫事業所内保育

1 調査方法

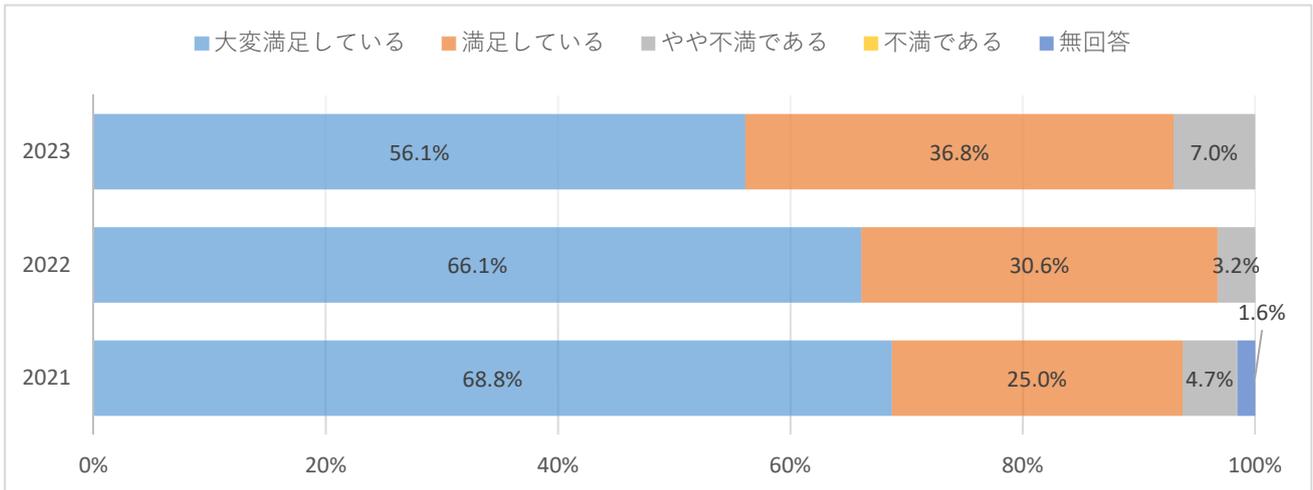
- ・2024年7月、事業所内保育を実施している施設（20箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・施設を通じて二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 57／配布数 111（回収率 51.4%）

2 回答者の基本情報

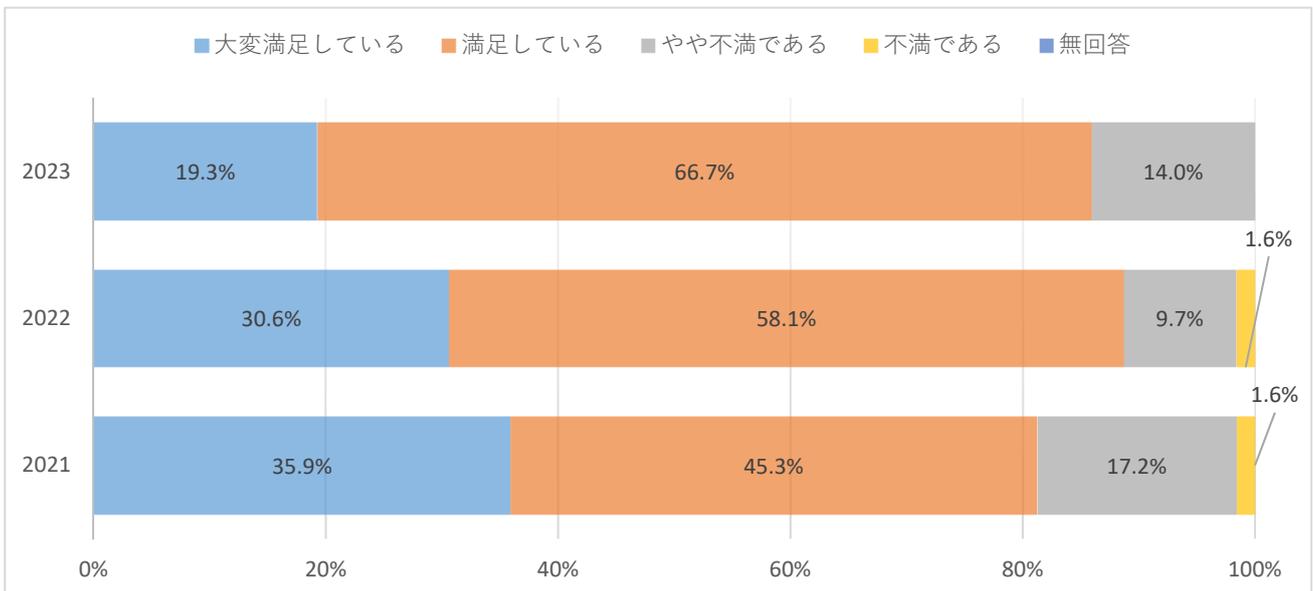
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「パート」が約5割、「フルタイム」が5割弱となっている。

3 調査結果

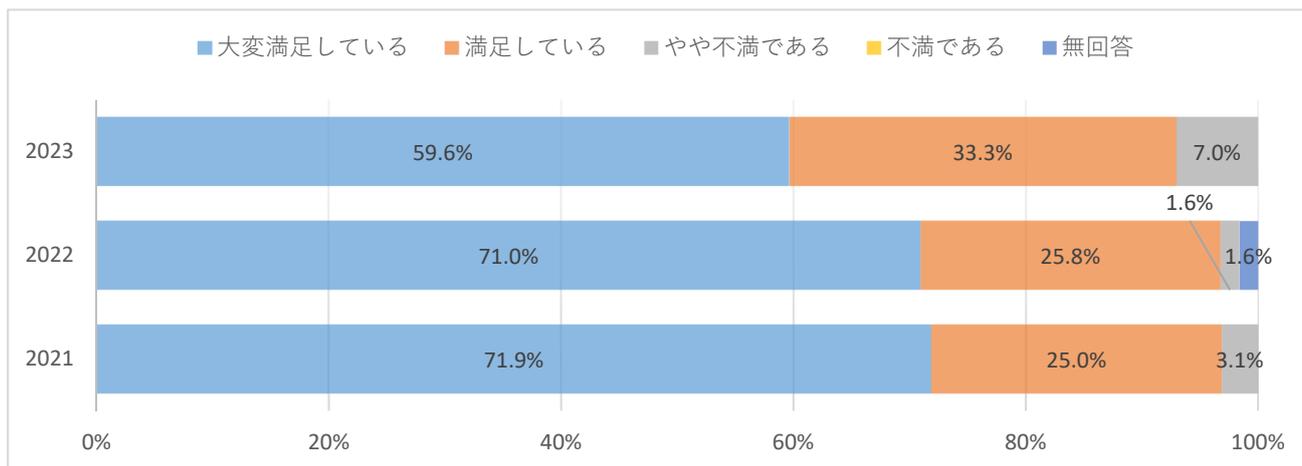
（1）保育内容全般



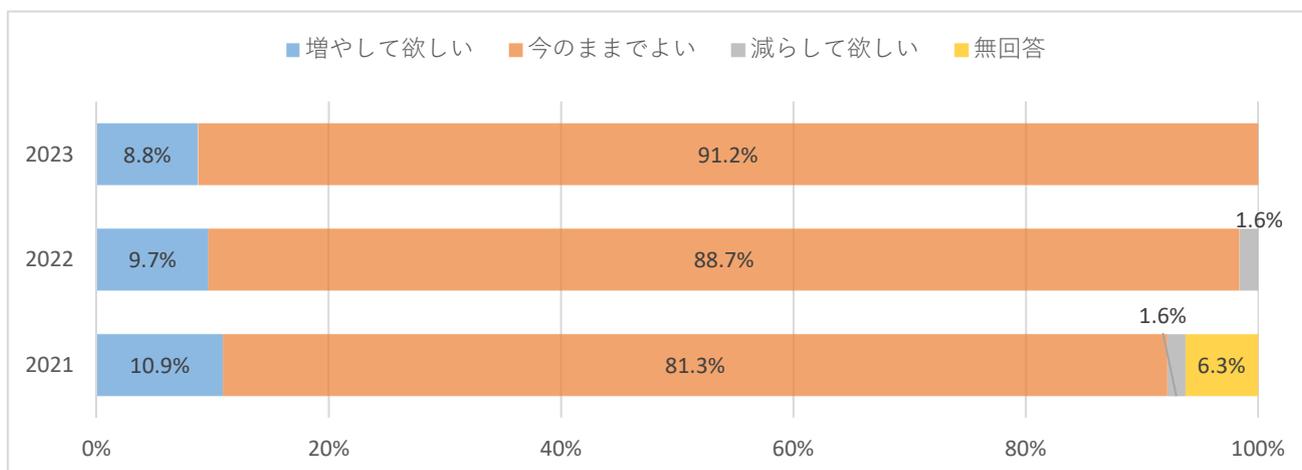
（2）建物や園庭などの施設



(3) 職員の対応

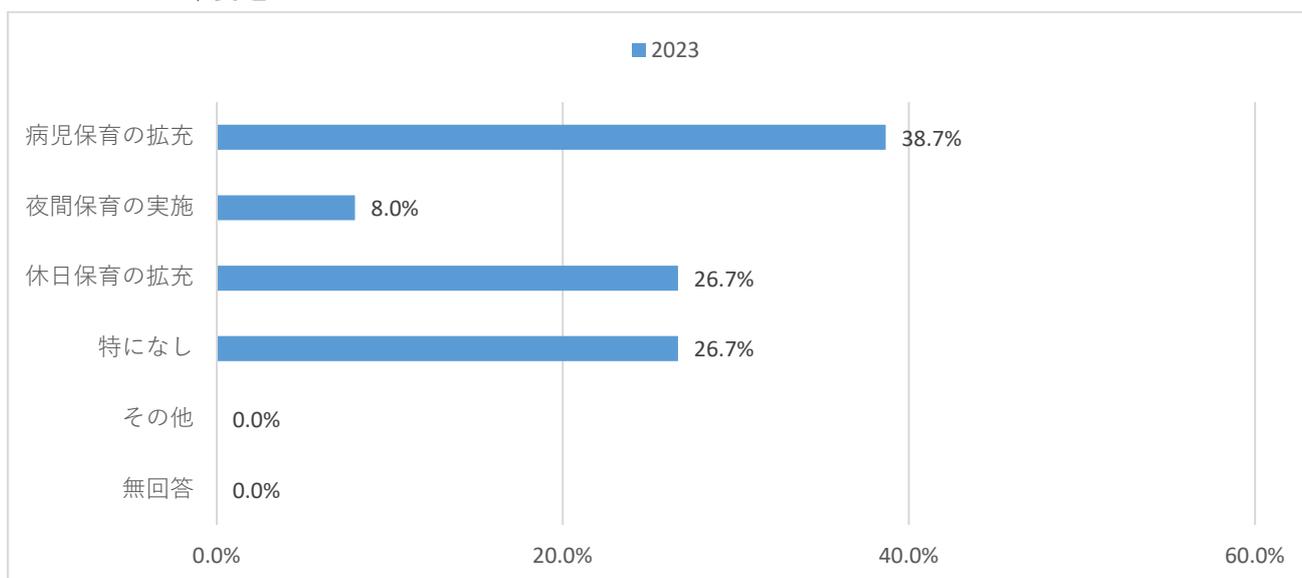


(4) 地域の親子との交流



(5) 今後、特に充実してほしい支援策について (複数回答)

※2023 年度追加



⑬家庭的保育

1 調査概要

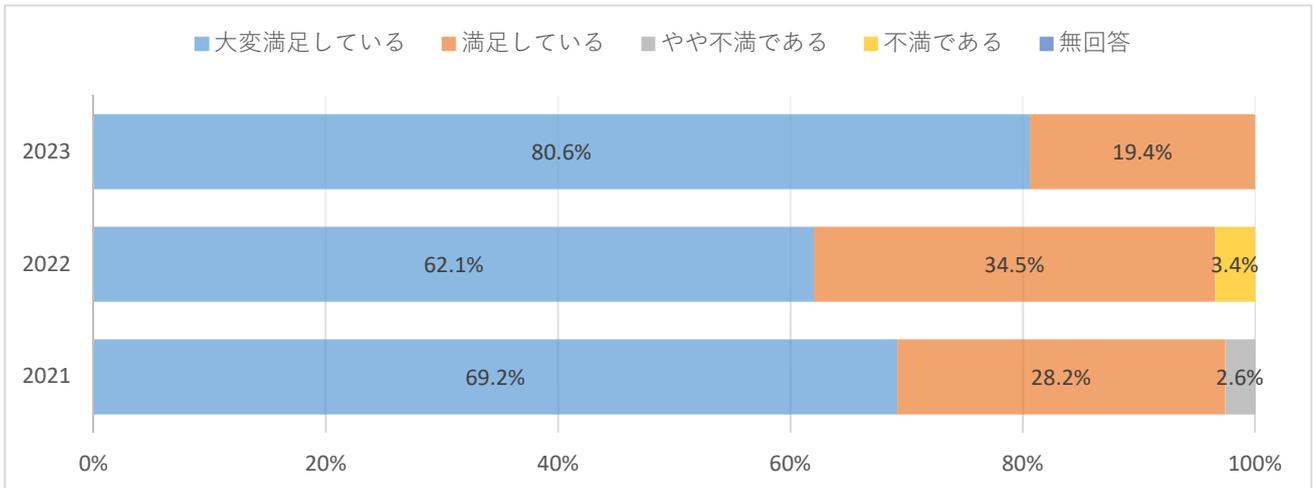
- ・2024年7月、家庭的保育を実施している施設（20箇所）で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 31 / 配布数 67（回収率 46.3%）

2 回答者の基本情報

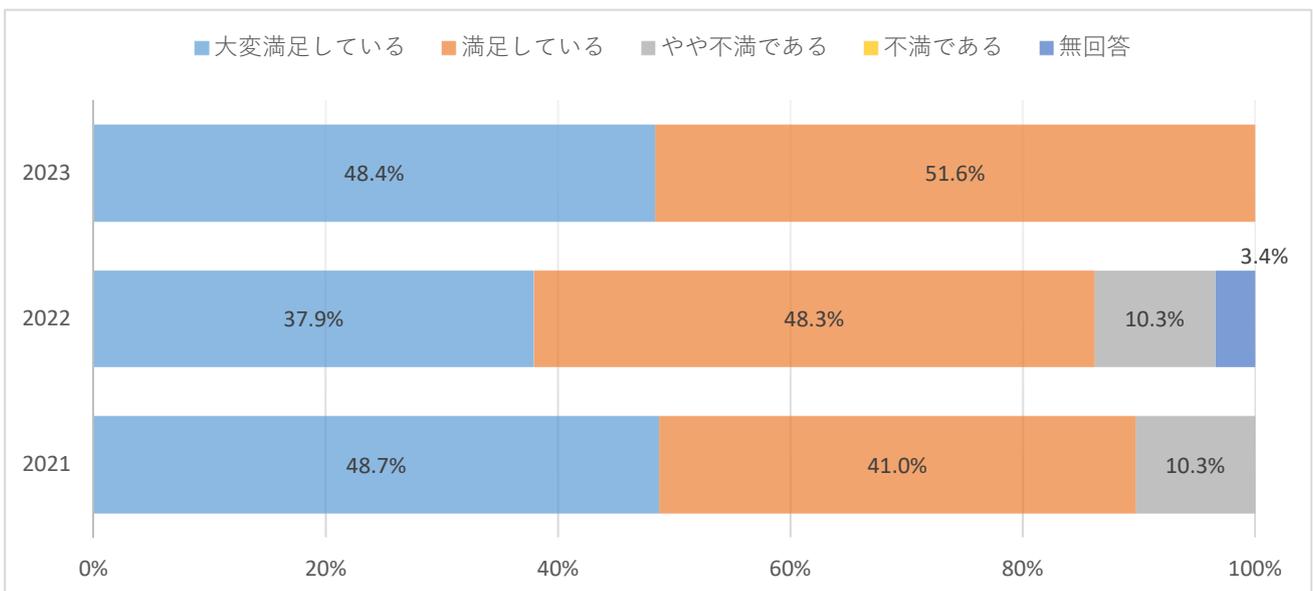
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「フルタイム」が約3割、「パート」が5割弱となっている。

3 調査結果

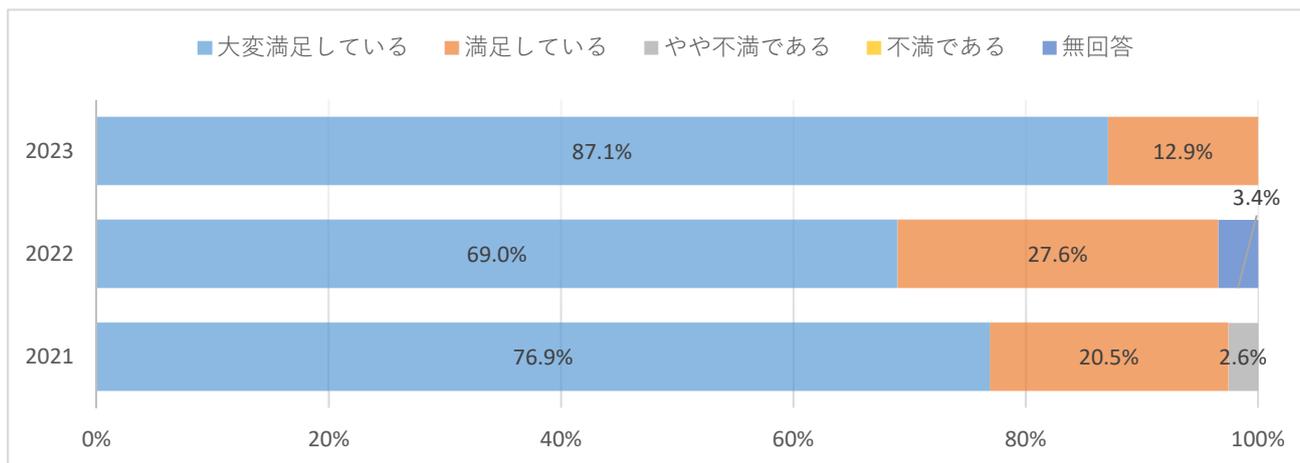
（1）保育内容全般



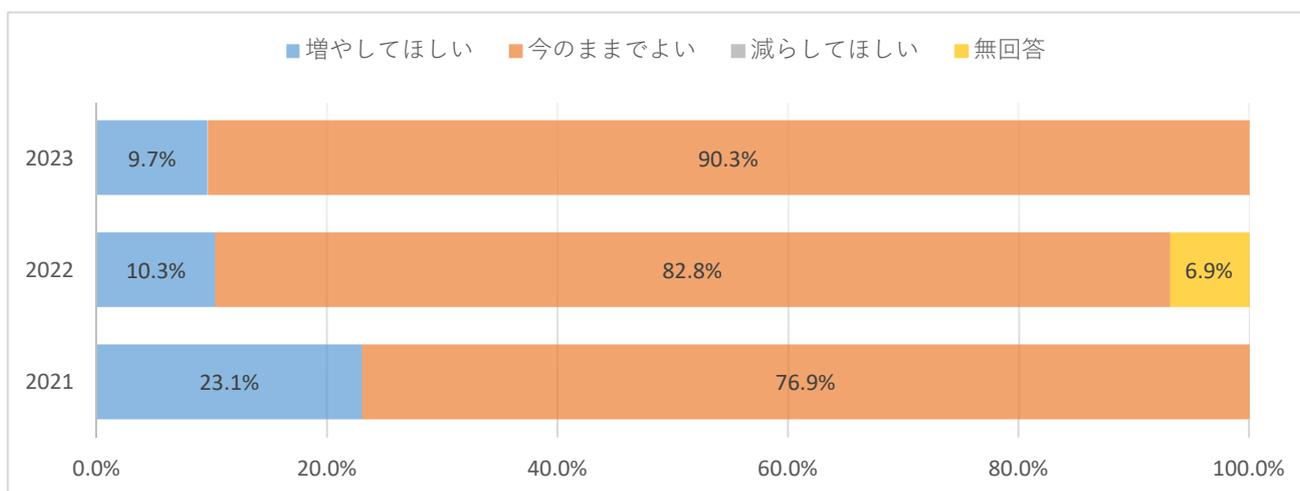
（2）建物や園庭などの施設



(3) 職員の対応

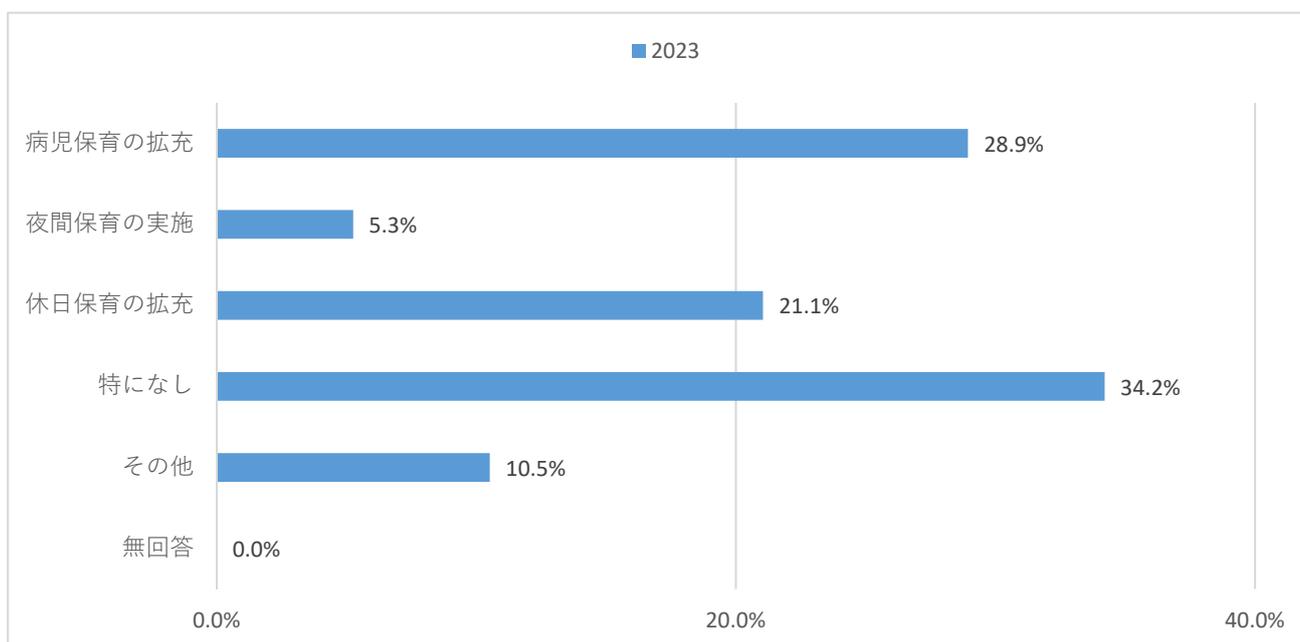


(4) 地域の親子との交流



(5) 今後、特に充実してほしい支援策について（複数回答）

※2023 年度追加



⑭おやこふらっとひろば

1 調査概要

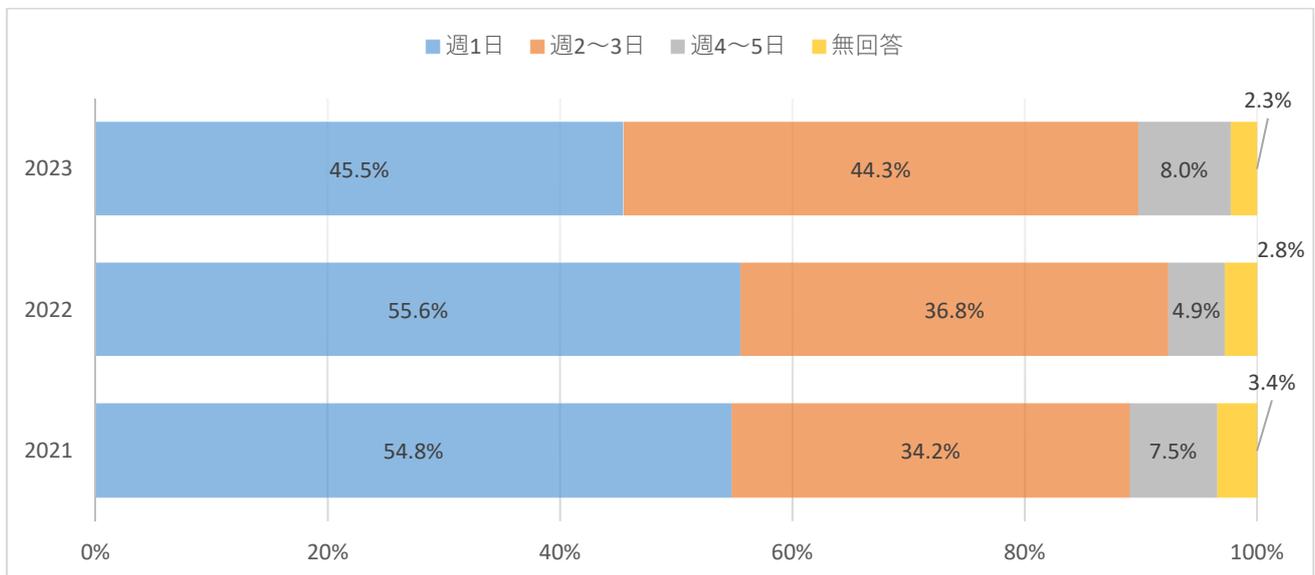
- ・2024年7月、親子が気軽に立ち寄れる場所を提供している施設(9箇所)で、調査期間中の利用者を対象に実施
- ・二次元コードを記載したアンケート依頼文を配布し、WEBサイトから回答を収集
- ・回収数 176/配布数 270 (回収率 65.2%)

2 回答者の基本情報

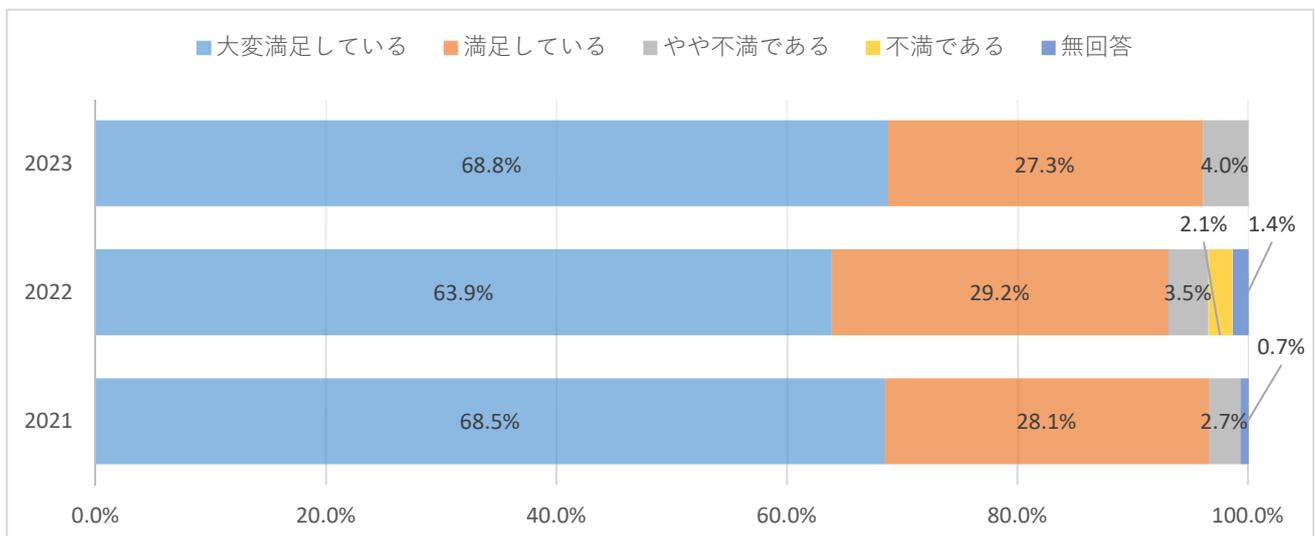
- ・就労状況について、父親は「フルタイム」が大半を占め、母親は「働いていない」が6割弱、「フルタイム」は約3割となっている。

3 調査結果

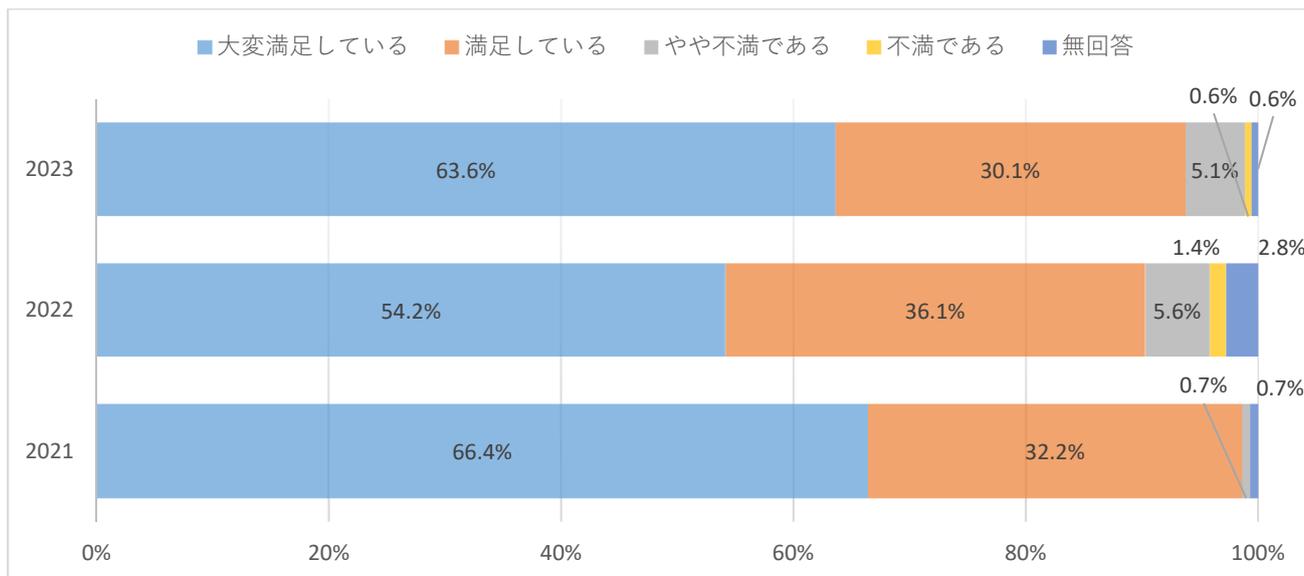
(1) 利用の頻度



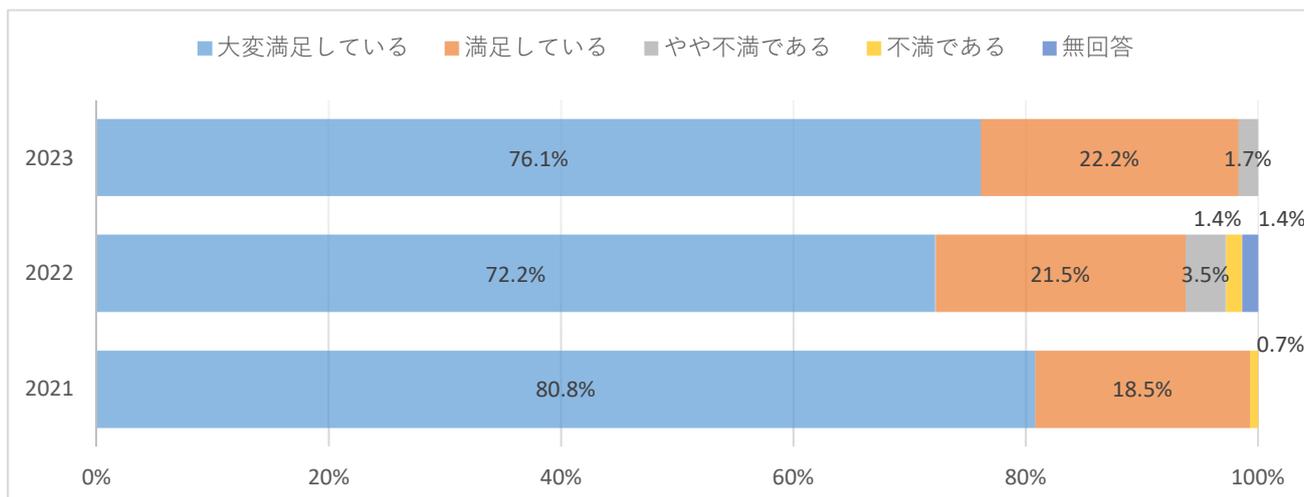
(2) サービス内容



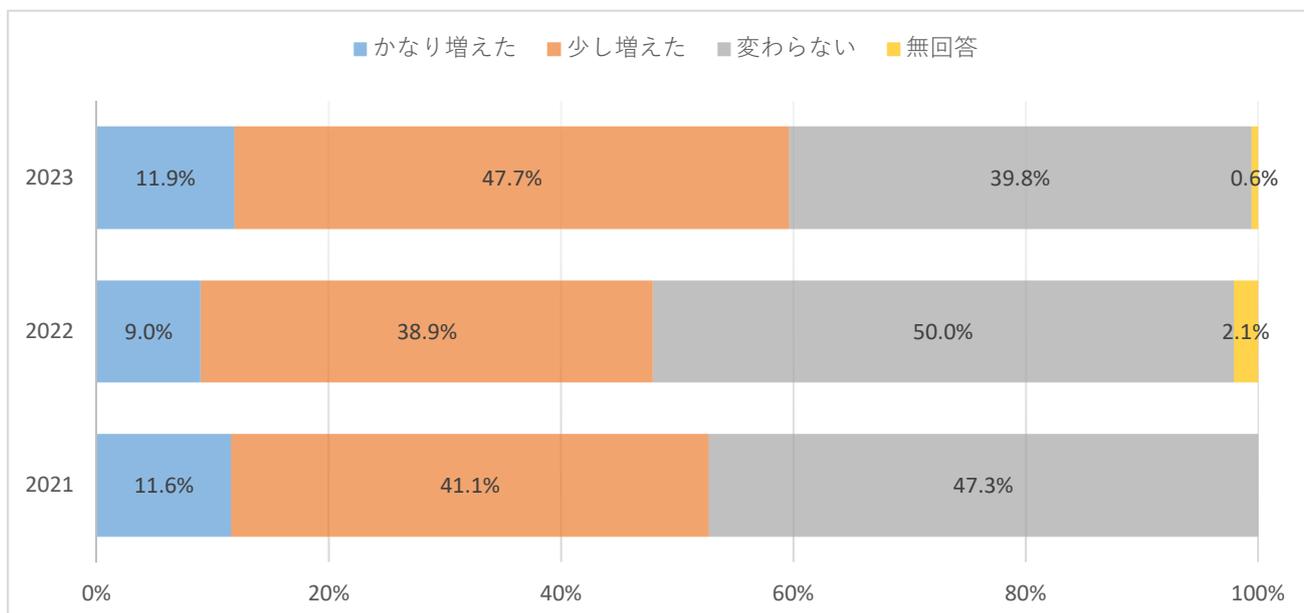
(3) 施設



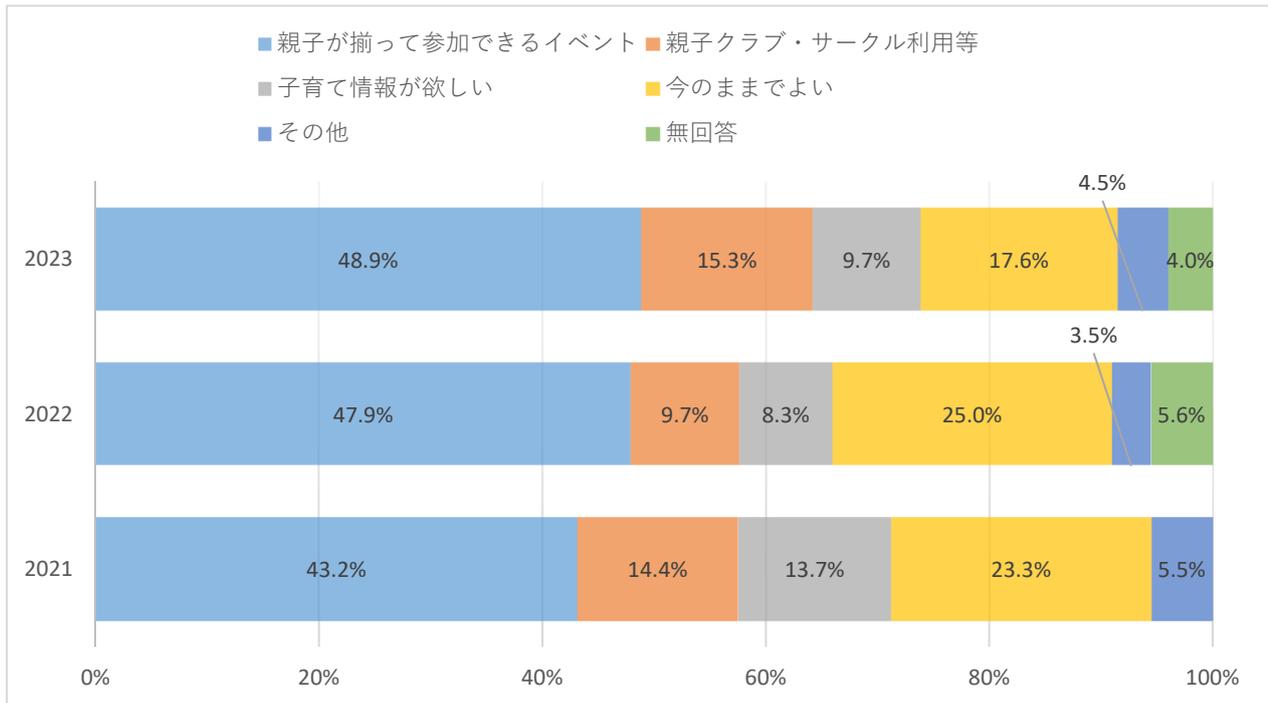
(4) 職員の対応



(5) 利用により新しい知人が増えたか



(6) 「おやこふらっとひろば」で増やしてほしいサービス



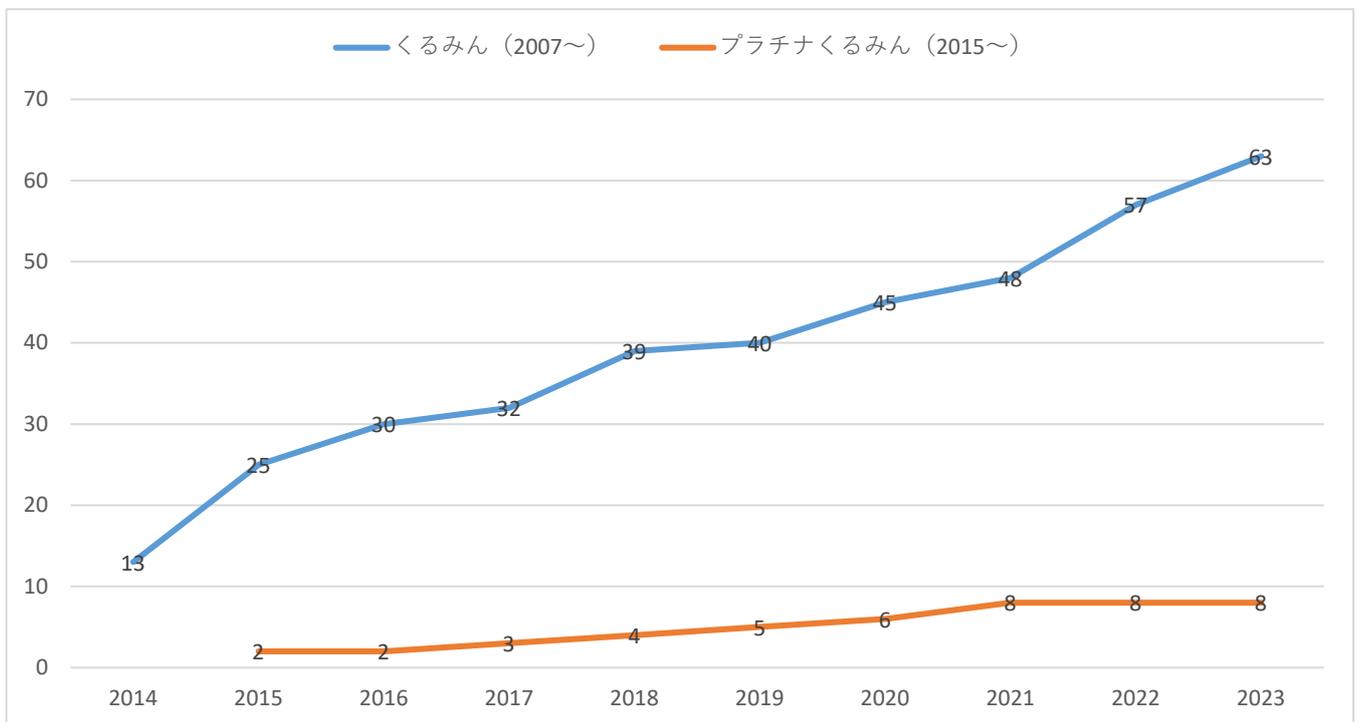
(5) 「子育てしやすく働きやすい職場環境づくり」の状況

1 企業の認定制度

(1) 次世代育成支援対策推進法に基づく認定・特例認定制度（兵庫労働局）

認定制度名	開始年度	概要
くるみん	2007	行動計画を策定し、一定の育児休業等取得率や、所定労働時間の短縮措置または始業時刻変更等の措置を講じているなどの認定基準を満たす企業が、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定を受ける制度。
プラチナくるみん	2015	「くるみん認定」を受けた企業のうち、男性労働者の育児休業等取得率や子どもを出産した女性労働者が継続して在籍している割合など、より高い基準を満たし、仕事と子育ての両立支援を継続的に行っている企業が特例認定を受ける制度。
トライくるみん	2022	2022年4月に「くるみん」の男性の育児休業等・育児目的休暇取得率の認定基準の引き上げに伴い、旧来の「くるみん」認定基準を満たす企業を対象に2022年度から新たに創設された制度。
くるみんプラス	2022	くるみん等の認定基準を満たしたうえで、不妊治療と仕事を両立しやすい職場環境整備に取り組む企業が認定を受ける制度。

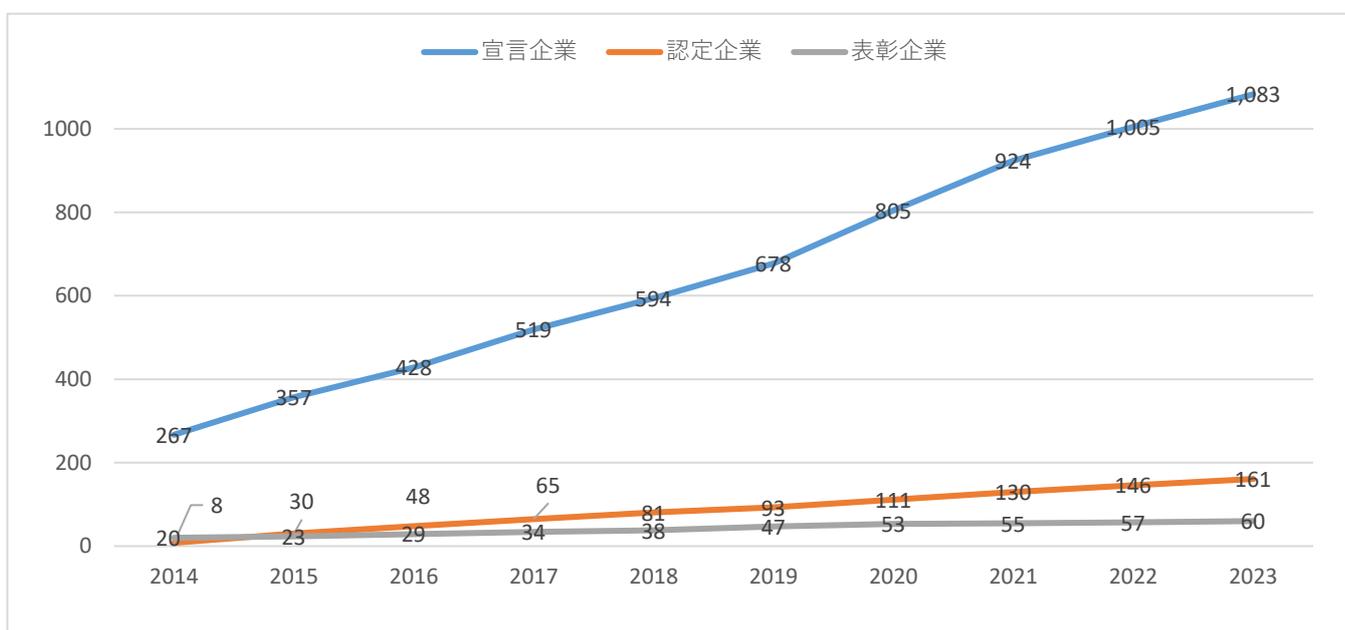
(参考) 市内企業における過去10年間の推移



(2) ひょうご仕事と生活の調和推進企業認定制度（ひょうご仕事と生活センター）

認定制度名	開始年度	概要
宣言企業	2013	ワーク・ライフ・バランスに取り組み、推進することを、経営トップ自らが広く内外に意思表示した企業。
認定企業	2014	上記「宣言企業」のうち、仕事と育児の両立を支援する制度が整備されているか、年次有給休暇取得率の実績の状況等を踏まえた「ひょうご仕事と生活の調和推進企業自己診断」の総合評価が、センターが定める認定基準を満たし、センターから認定を受けた企業。
表彰企業	2009	多様な働き方の導入や、仕事と家庭生活の両立の促進など、「仕事と生活のバランス」の実現のために先進的な取組を実施している企業。

(参考) 市内企業における過去10年間の推移



(3) ひょうご・こうべ女性活躍推進企業認定制度（兵庫県・神戸市）

職場における女性活躍の推進に向け、女性の登用・定着促進や多様な働き方の支援等に積極的に取り組む企業等を認定・公表する制度。

認定制度名	開始年度	概要
ミモザ企業	2022	女性活躍や多様な働き方に関する評価項目（20項目）のうち、7割（14項目）以上達成している企業。2022年度は市内企業39社、2023年度は25社を認定。
プラチナミモザ企業	2022	上記「ミモザ企業」のうち、上記評価項目を全項目達成し、かつ他社の手本になる女性活躍や先導的な取組を実施している企業。2022年度は市内企業1社を認定、2023年度は認定なし。
フレッシュミモザ企業	2024	上記評価項目のうち、4割（8項目）以上達成している企業。挑戦しやすい認定区分として2024年度に新設。

2 企業への支援制度（助成金・専門家派遣等）

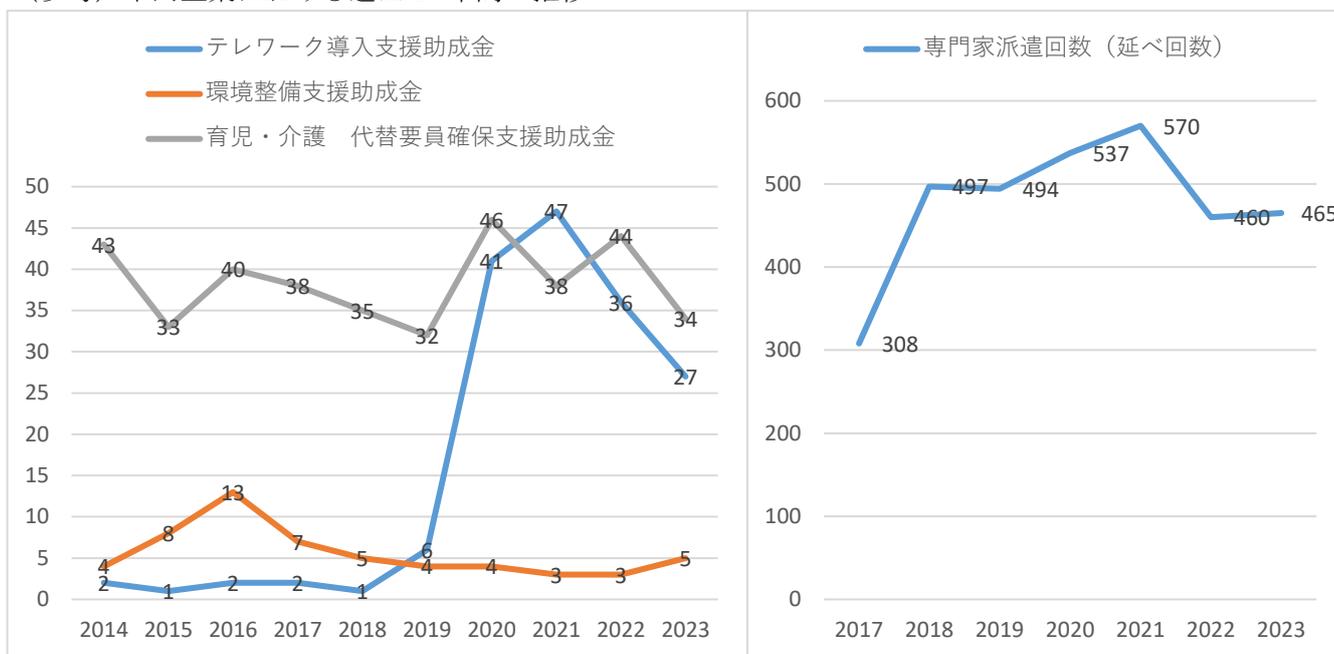
（1）兵庫労働局

	制度名称	開始年度	概要
両立支援等助成金	①出生時両立支援	2016	男性労働者が育児休業を取得しやすい雇用環境整備や業務体制整備を行い、男性労働者に子の出生後8週間以内に開始する一定日数以上の育児休業を取得させた事業主に対して助成。
	②育児休業等支援 (育休取得時・職場復帰時)	2013	「育休復帰支援プラン」を作成し、プランに沿って労働者に育児休業を取得、職場復帰させた中小企業事業主に対して助成。
	③育休中等業務代替支援	2024	育児休業取得者や育児短時間勤務を利用する労働者の業務を代替する周囲の労働者への手当支給等の取組や、育児休業取得者の代替要員の新規雇用を実施した中小企業事業主に対して助成。
	④柔軟な働き方選択制度等支援	2024	育児期の柔軟な働き方に関する制度（柔軟な働き方選択制度等）を複数導入した上で、「育児に係る柔軟な働き方支援プラン」に基づき、制度利用者を支援した中小企業事業主に対して助成。
	⑤不妊治療両立支援	2021	不妊治療と仕事との両立に資する職場環境の整備に取り組み、不妊治療のために利用可能な休暇制度や両立支援制度を労働者に利用させた中小企業事業主に対して助成。

(2) ひょうご仕事と生活センター

制度名称	開始年度	概要
テレワーク導入支援助成金	2013	働く人々の多様で柔軟な働き方を促進するために、中小企業の事業主が行うテレワーク環境の整備に要する費用に対して助成。
環境整備支援助成金	2013	女性・高齢者等の職域拡大や従業員のコミュニケーションを活性化させるために、職場環境整備に要する費用に対して助成。
育児・介護 代替要員確保支援助成金	2010	育児・介護休業の取得及び短時間勤務制度の利用を促進するとともに、休業者が職場復帰しやすい環境の整備に要する費用に対して助成。
専門家派遣	2009	企業が研修を実施する場合に専門家を講師として派遣。また企業に対して、センターのスタッフや専門家を派遣し、「仕事と生活の両立」や「組織風土」等への実践的なアドバイス、継続的なフォローを実施。

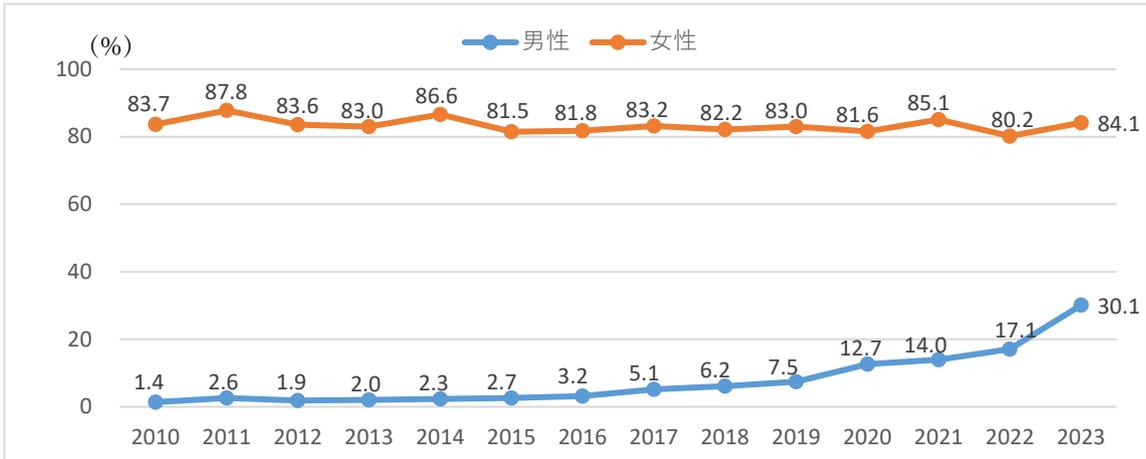
(参考) 市内企業における過去 10 年間の推移



※(1)兵庫労働局の両立支援等助成金は件数非公表

3 育児休業取得率等

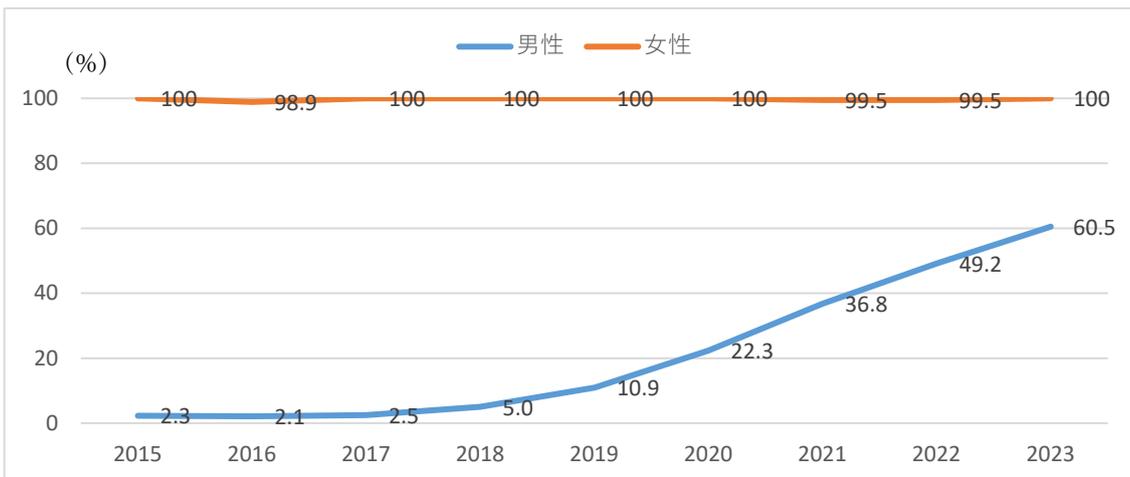
(1) 全国の企業と事業所における育休取得者の割合（雇用均等基本調査）



(参考) 2023 年度の数値算出方法

- ・ 2021 年 10 月 1 日から 2022 年 9 月 30 日までの 1 年間に在職中に出産した女性
または、同期間に配偶者が出産した男性のうち、
- ・ 2023 年 10 月 1 日までに育児休業を開始した者（育児休業の申出をしている者を含む。）の割合

(2) 神戸市職員（※）における育児休業取得率

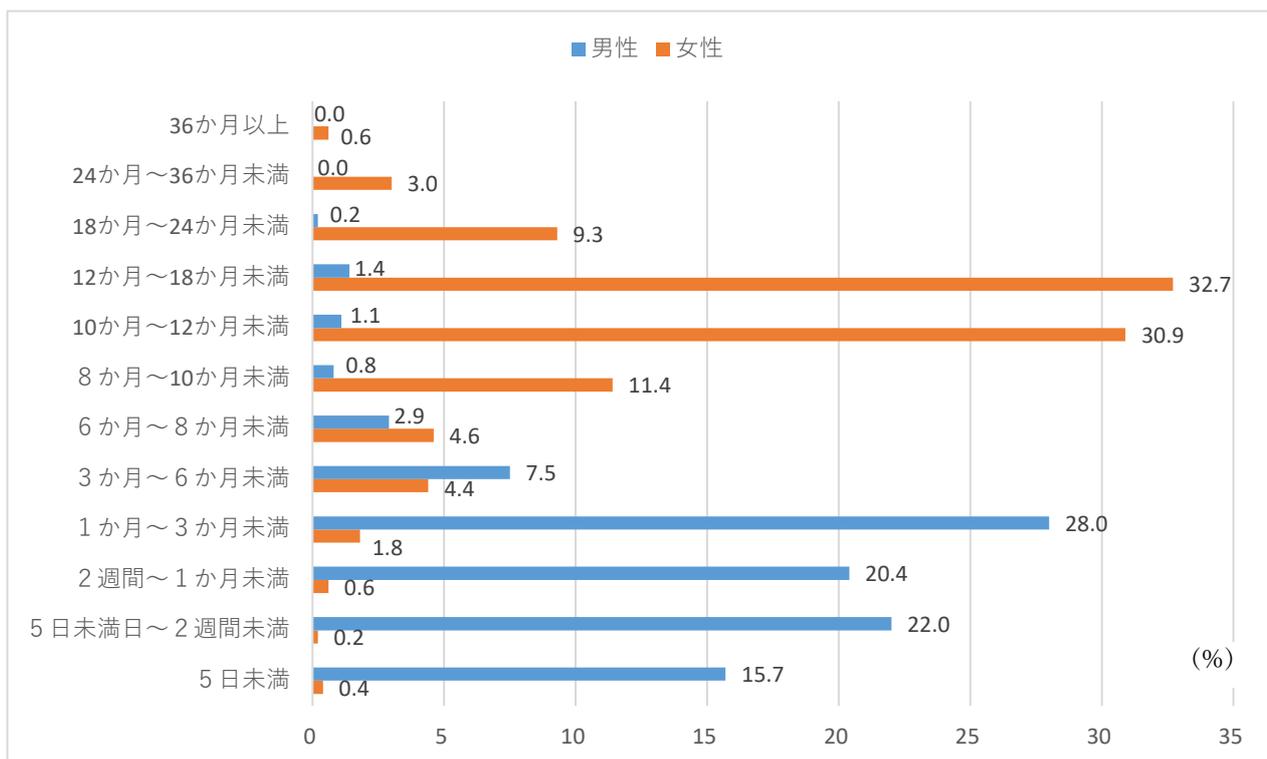


(参考) 2023 年度の数値算出方法

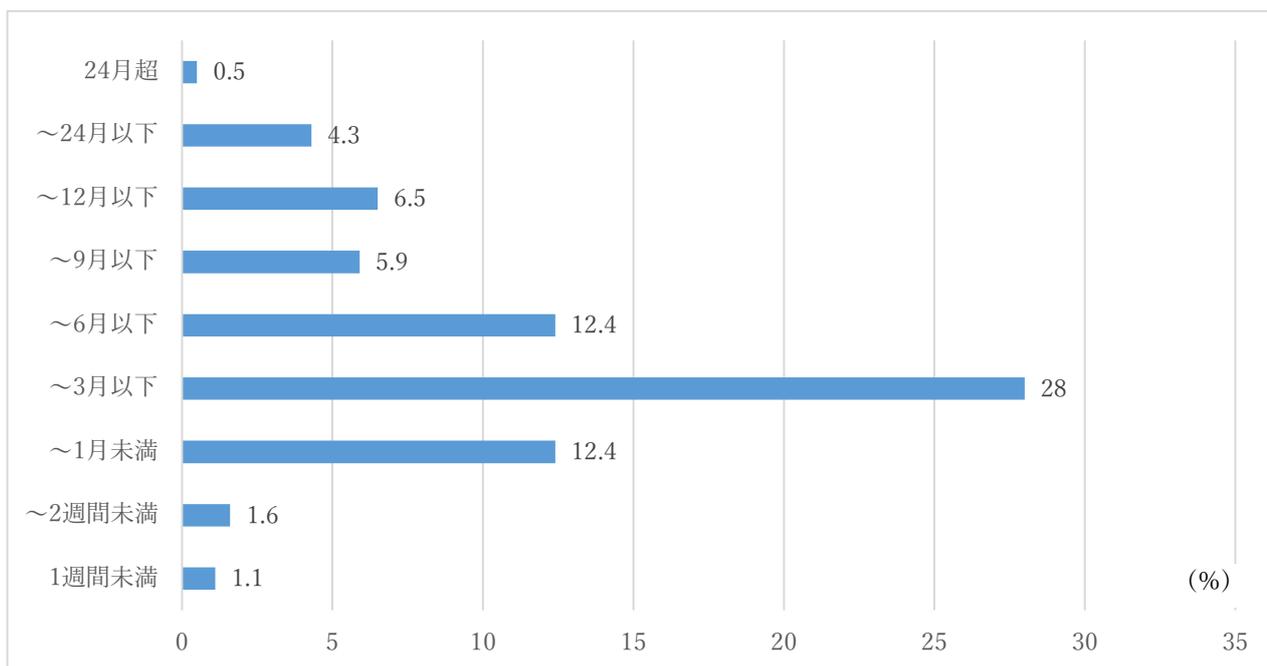
- ・ 2023 年 2 月 3 日から 2024 年 2 月 3 日までに子が生まれた女性
または、2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに配偶者が出産した男性のうち、
- ・ 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日の間に育児休業を開始した職員の割合

※学校園職員を含まない。

(3) 全国の企業と事業所における育児休業取得期間内訳



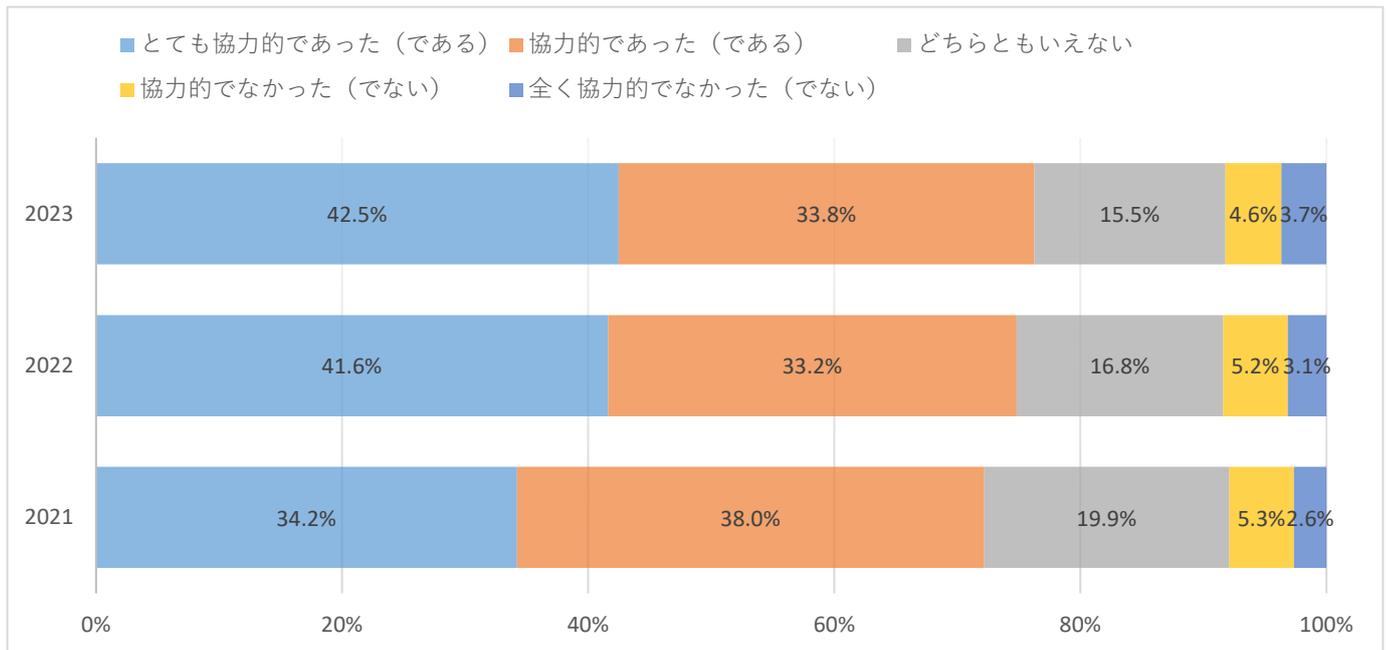
(4) 神戸市男性職員(※)における育児休業取得期間内訳



※市長部局所属の職員のみ

(5) 育児休業等の利用に関する職場の状況（市民（保護者）調査より引用）

育児休暇制度・短時間勤務制度の利用について、職場は協力的か。（2023年度 n=219）



3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

本市事業名		指標 (単位)	2023年度		2024年度		
			計画値	実績値	計画値	実績値	
延長保育事業	量の見込み	実人数 (人)	3,704	3,201	3,696		
	確保方策		3,704	3,201	3,696		
幼稚園預かり保育事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	866,537	791,877	854,451		
	確保方策		866,537	791,877	854,451		
一時保育事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	70,982	53,684	69,846		
	確保方策		70,982	53,684	69,846		
病児保育事業	量の見込み	延べ人数 (人日)	20,754	14,542	20,704		
	確保方策		25,680	34,080	25,680		
保育サービスコーディネーター	量の見込み	箇所数 (箇所)	12(16人)	12(15人)	12(16人)		
	確保方策		12(16人)	12(15人)	12(16人)		
子育てリフレッシュステイ事業	量の見込み	延べ人数 (人)	ショートステイ	1,516	1,648	1,355	
			デイサービス	1,632	1,352	1,484	
	確保方策		ショートステイ	1,516	1,648	1,355	
			デイサービス	1,632	1,352	1,484	
地域子育て支援拠点事業 (地域子育て支援センター事業・大学と連携した子育て支援事業・児童館における親子館事業等)	量の見込み	延べ人数 (人日)	50,020	-	49,118		
	確保方策	箇所数 (箇所)	141	149	141		
ファミリー・サポート・センター事業	量の見込み	週あたり延べ人数 (人)	536	205	519		
	確保方策		451	205	519		
新生児訪問指導事業	量の見込み	実人数 (人)	9,782	8,447	9,589		
	確保方策	実施体制 (人)	160	257	160		
保健師による相談・指導	量の見込み	延べ回数 (回)	2,139	2,310	2,168		
	確保方策	実施体制 (人)	58	171	58		
産前産後ホームヘルプサービス事業	量の見込み	延べ回数 (回)	3,062	2,155	3,368		
	確保方策	実施体制 (事業所)	17	12	17		

本市事業名		指標 (単位)	2023年度		2024年度	
			計画値	実績値	計画値	実績値
養育支援ヘルパー派遣事業	量の見込み	延べ回数 (回)	201	210	216	
	確保方策	実施体制 (事業所)	17	12	17	
妊婦健康診査事業	量の見込み	妊娠届出数 (人)	10,801	9,333	10,588	
		受診回数 (回)	136,093	111,757	133,409	
	確保方策	実施場所 実施体制	産科婦人科医療機関・助産所			
放課後児童クラブ	量の見込み	小学1年生	5,654	5,364	5,767	
		小学2年生	4,646	4,829	4,716	
		小学3年生	3,644	3,921	3,692	
		小学4年生	2,137	2,347	2,189	
		小学5年生	802	1,081	811	
		小学6年生	583	475	585	
		合計	17,466	18,017	17,760	
	確保方策		17,466	18,017	17,760	

4. 2023年度 主な事業進捗状況

1. 仕事と子育ての両立支援

保育所の待機児童ゼロの維持に向け、地域の保育ニーズに適切に対応するとともに、民間保育施設等の老朽化対策・耐震化を促進するため、支援の充実を図った。また、多様な保育ニーズに対応するため、医療的ケア児の受入れ体制を17施設から19施設へ拡充した。さらに、保育人材確保・定着支援として一時金給付や宿舍借り上げ支援等に引き続き取り組むとともに、学童保育の充実に向け施設を増設・拡張した。

2. 妊娠・出産・子育て期の支援

こども医療費助成（外来）の対象を高校生世代まで拡充するとともに、出産・子育て応援交付金を活用した伴走型相談支援・経済的支援を実施した。こべっこウェルカムプレゼントとしてカタログギフトを贈呈し、こどもが生まれたご家族を祝福した。また、プレコンセプションケアの普及・啓発や流産・死産に伴うグリーフケアの充実に新たにに取り組むとともに、産後ケア事業や産前・産後ホームヘルプサービス事業に取り組んだ。

3. 特に支援が必要な子どもたち・家庭への支援

こども家庭センターの体制を強化するとともに、児童養護施設入所児童等に対する支援の充実を図った。また、障がいのあるこどもへの支援として、「こべっこ発達専門チーム」を新設し、療育センター・こども家庭センターの待機期間の短縮に取り組み、聴覚障害児とその家族に対する支援を目的としたモデル事業として総合聴覚センターにコーディネーターを配置した。

また、子育て世帯への食を通じたつながり支援として、新たに活動団体や支援企業等が情報収集やマッチングを行うことができるプラットフォームをWEB上に整備したほか、経済的な事情等により学習機会を十分に得られていない中学生を対象とした、学びへつなぐ地域型学習支援の実施場所を4か所から6か所に拡充した。

4. 地域における子育て支援・青少年の健全育成

西区に「こべっこあそびひろば」を、垂水区に「おやこふらっとひろば」を新たに開設し、地域の身近なところで親子が集える場所の提供に向けた支援等を行った。また、谷上駅前に中高生のためのフリースペースを開所するなど、青少年の居場所・活動拠点の整備・運営に取り組んだ。

5. 幼児期の教育・保育の質の向上・小学校教育との連携

市内の公立・私立の保育所（園）、認定こども園等の職員の合同研修を実施するとともに、神戸大学と神戸市で共同研究を行う乳幼児保育研究部会において、市内の公立・私立の保育所（園）、認定こども園、幼稚園等が参加し、保育の様子の共有、意見交換を行う公開保育等による実践研究を実施した。

また、幼児期と小学校以降の学びをつなぐため、幼児教育の理解を生かした小学校での学級運営について、幼児教育施設と小学校とで相互に協力し実践研究を実施するとともに教職員の合同研修を実施した。

6. 子育てしやすい社会環境づくりと啓発

神戸市子育て応援サイトについて、時代の変化に合わせ、より便利で使いやすい「こどもっとKOB E」としてリニューアルするとともに、子育て情報をプッシュ型で配信し、配信した情報への質問等にわかりやすく答え、悩みや相談に応じた支援制度等の利用支援を行う「ここならチャットKOB E」の開始や、SNS等を活用した親目線の市内の魅力的な子育て情報の提供などに取り組んだ。